

過去4年間の入札・発注データに基づく
川崎市発注公共工事分析報告書
(2005年度～2008年度)

2010年3月

特定非営利活動法人
建設政策研究所

目 次

はじめに.....	1
第1章 川崎市発注公共工事の発注側からみた推移と特徴	
（1） 工事規模からみる特徴.....	2
（2） 市発注工事の発注部署からみる特徴.....	7
（3） 市発注工事を地域別に工事場所からみた特徴.....	9
（4） 市発注工事の発注月別状況.....	10
第2章 2008年度川崎市発注公共工事の受注側からみた特徴	
（1） 入札参加申請業者と受注業者との関係.....	13
（2） 受注業者の資本金階層からみた特徴.....	14
（3） 受注業者の市内外別分類からみたいくつかの特徴.....	20
（4） 川崎市建設業協会の会員・非会員別にみた市発注工事受注の特徴.....	30
（5） J V受注工事の特徴.....	31
（6） 単独受注工事全体の特徴.....	36
第3章 2008年度川崎市発注工事の入札・契約面からみた特徴	
（1） 市発注工事のランク別競争入札への参加条件の仕組みについて.....	39
（2） 業種別、地域別、ランク別入札の実態の推移と特徴.....	42
（3） 工事契約の入札形態との関係からみた特徴.....	45
（4） 随意契約の推移と特徴.....	49
（5） 総合評価型入札の状況.....	54
（6） 落札率の実態について.....	56
（7） 単価契約の特徴.....	61
まとめ.....	68
別添資料.....	70

はじめに

この度、日本共産党川崎市議員団からの委託調査として 2005 年度から 2008 年度の「入札情報データ」にもとづく川崎市発注公共工事の分析を行った。

分析のために収集したデータは川崎市財政局および交通局、水道局、病院局の 2005 年度～2008 年度の入札契約情報データ、および川崎市入札参加申請者名簿、川崎建設業協会会員名簿、その他情報公開請求にもとづく各種データ、市ホームページからの資料である。入札契約情報データは市発注公共工事の一件ごとの工事件名、工事場所、業種名、予定価格、契約金額、契約方法、落札業者名、契約日、税込み契約金額、変更後税込み契約金額が記載された一覧表である。入札参加者名簿は各建設業者の業者コード、業者名、地域区分、資本金が記載された一覧表である。また、川崎建設業協会名簿は会社名、代表者名、所在地が記載された一覧表である。

情報公開請求ではランク別発注実績一覧表、随意契約工事理由別一覧表、総合評価方式の実施結果等入手した。また市ホームページからは業種格付一覧表、発注標準一覧表等入手した。本報告書はこれらのデータを加工、組み合わせることにより、三つの角度から 4 年間の推移をみながら経年変化の中で 2008 年度の川崎市の公共工事の分析を行った。

第1章 川崎市発注公共工事の発注側からみた推移と特徴

(1) 工事規模からみる特徴

1) 工事規模別発注金額の推移と特徴

表 1-1-1 は工事規模別に発注金額およびその構成比の4年間の推移をみたものである。契約総金額では08年度は617億1,020万円となり07年度より若干減少しているが05年度からみると増加傾向にある。この4年間だけをみると川崎市の公共工事は金額面で増加の方向といえるが、もう少し長いスパンで見ると全国の推移と同様に減少傾向にはある。普通建設事業費の推移について2002年度を基準に2008年度をみると、全国の地方自治体合計では約65%の水準にあるが、川崎市は75%の水準となっている（「川崎市における公共事業発注のあり方について最終報告書」第1部第2章第2節P-26参照）。08年度を契約金額ランクでみると、最も多いランクは1件1億～5億円の工事で247億円と発注金額全体（617億万円）の40.0%を占めている。過去4年間をみてもこのランクに工事量が集中しているが、次第に金額は大きくなり、05年度に比較し138億円も増加している。

表 1-1-1 工事規模別発注金額の推移

単位：百万円、%

契約金額ランク	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
全体	45,406	100.0	47,005	100.0	64,276	100.0	61,710	100.0
50万円未満	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0
50万～1百万円未満	11	0.0	16	0.0	14	0.0	16	0.0
1百万～5百万円未満	917	2.0	1,011	2.2	805	1.3	695	1.1
5百万～1千万円未満	1,591	3.5	1,593	3.4	1,698	2.6	1,668	2.7
1千万～5千万円未満	9,304	20.5	9,122	19.4	8,582	13.4	10,318	16.7
5千万～1億円未満	8,284	18.2	7,900	16.8	6,250	9.7	7,328	11.9
1億～5億円未満	10,993	24.2	15,440	32.8	21,429	33.3	24,743	40.1
5億～10億円未満	4,629	10.2	3,421	7.3	2,031	3.2	5,435	8.8
10億～50億円未満	9,675	21.3	8,501	18.1	10,057	15.6	6,216	10.1
50億円以上	-	-	-	-	13,409	20.9	5,292	8.6

2) 工事規模を4つのランク別に分類した場合の全国と横浜市との比較

この契約金額ランクを小規模工事（一件1千万円未満）、中規模工事（一件1千万円以上1億円未満）、大規模工事（一件1億円以上10億円未満）、超大規模工事（10億円以上）に分類したのが表 1-1-2 である。

小規模工事は05年度以降、一貫して少なく25億円前後で推移している。構成比で見ると08年度は3.9%と次第に減少している。中規模工事も07年度を除き170億円程度で横ばいとなっているが、構成比で見ると05年度の38.7%から08年度28.6%へと10ポイントほど減少している。これに対して大規模工事は08年度302億円と全体の48.9%、超大規模工事は115億円と同18.6%を占め、この両方で417億円と全体の67.5%を占めている。この大規模工事偏重の傾向は05年度55.7%、06年度58.2%、

07年度73.0%と徐々に拡大してきている。

この大規模工事偏重は全国の動向及びお隣の横浜市と比較しても顕著にその傾向が現れている。

全国の市区町村の発注工事と比較すると、小規模工事（1千万円未満）の構成比は08年度4.8%と川崎市とそれほど変わらないが、5百万円未満が調査対象から除外されていることを考慮すれば、川崎市より高い比率となる。また、中規模工事（1千万円以上1億円未満）は少しずつ減少してきているとはいえ、08年度では46.5%と川崎市の構成比より18ポイントも多く、全国の市区町村では中規模工事が5割近くを占めている。また大規模工事（1億円以上10億円未満）は31.5%と、川崎市より18ポイント少ない。川崎市では全国に比較し、中規模工事と大規模工事が金額比率で逆転しているといえる。

また横浜市の工事規模別推移と比較すると、川崎市の大規模工事偏重が一層顕著である。横浜市では1億円以上の大規模工事は05年度の883億円（59.0%）から、08年度では789億円（54.8%）へと減少傾向であるのに対して、川崎市では1億円以上の大規模工事は05年度の253億円（55.7%）から08年度には417億円（67.5%）へと大きく増加しており、川崎市が大規模工事中心になりつつあることを示している。

表 1-1-2 工事規模ランクによる発注金額の推移

単位：百万円、%

工事規模	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
1千万円未満	2,520	5.5	2,621	5.6	2,518	3.9	2,380	3.9
1千万円～1億円未満	17,589	38.7	17,023	36.2	14,832	23.1	17,646	28.6
1億円～10億円未満	15,622	34.4	18,861	40.1	23,460	36.5	30,176	48.9
10億円以上	9,675	21.3	8,501	18.1	23,466	36.5	11,508	18.6
合計	45,406	100.0	47,005	100.0	64,276	100.0	61,710	100.0

(参考) 全国の市区町村発注公共工事の工事規模ランクによる発注金額の推移

単位：百万円、%

工事規模	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
1千万円未満	171,594	5.5	139,161	5.1	130,814	5.4	117,780	4.8
1千万円～1億円未満	1,592,861	50.8	1,383,764	50.6	1,179,707	48.7	1,151,586	46.5
1億円～10億円未満	948,203	30.2	903,417	33.0	793,691	32.8	779,978	31.5
10億円以上	424,188	13.5	309,156	11.3	318,544	13.1	426,702	17.2
合計	3,136,846	100.0	2,735,498	100.0	2,422,756	100.0	2,476,046	100.0

出所：国土交通省「建設工事受注動態統計調査報告」

注：1件500万円以上の工事を対象としており、500万円未満工事の発注金額は含まれていない。

(参考) 横浜市発注公共工事の工事規模ランクによる発注金額の推移

単位: 百万円、%

工事規模	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
1千万円未満	10,121	6.8	8,720	5.9	8,279	6.6	8,378	5.9
1千万円～1億円未満	51,096	34.2	54,258	36.6	49,786	39.4	54,298	38.4
1億円～10億円未満	67,369	45.0	61,037	41.1	51,738	40.9	59,388	42.0
10億円以上	20,980	14.0	24,329	16.4	16,550	13.1	19,463	13.8
合計	149,566	100.0	148,344	100.0	126,353	100.0	141,527	100.0

3) 工事規模別契約件数の推移と特徴

次に工事規模別に契約件数をみたのが表 1-1-3 である。総件数では 08 年度 1,164 件と 05 年度から若干の変動があるがほぼ横ばいに推移している。件数で最も多い工事規模は 1 千万円～5 千万円のクラスで 446 件、次に 1 百万円～5 百万円が 232 件、5 百万円～1 千万円が 222 件とこの三つのランクで 7 割以上を占めている。さらに 1 億円を境に件数比較をしてみたのが表 1-1-4 である。もちろん 1 億円未満の工事件数が 2005 年度以来 1,000 件を超え圧倒的に多い。しかし、推移を見ると 1 億円以上の件数が次第に多くなり 08 年度は 141 件と 05 年度の 74 件より 2 倍に増加している。やはり件数でみても大規模工事が増加傾向にあることがわかる。

表 1-1-3 工事規模別発注件数の推移

単位: 件、%

契約金額ランク	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
全体	1158	100.0	1213	100.0	1120	100.0	1164	100.0
50万円未満	4	0.3	5	0.4	3	0.3	3	0.3
50万～1百万円未満	14	1.2	20	1.6	18	1.6	19	1.6
1百万～5百万円未満	304	26.3	351	28.9	269	24.0	232	19.9
5百万～1千万円未満	221	19.1	217	17.9	231	20.6	222	19.1
1千万～5千万円未満	426	36.8	416	34.3	401	35.8	446	38.3
5千万～1億円未満	115	9.9	112	9.2	86	7.7	101	8.7
1億～5億円未満	59	5.1	81	6.7	102	9.1	129	11.1
5億～10億円未満	8	0.7	5	0.4	3	0.3	7	0.6
10億～50億円未満	7	0.6	6	0.5	6	0.5	4	0.3
50億円以上	-	-	-	-	1	0.1	1	0.1

表 1-1-4 工事規模1億円を境に分類した件数の推移

単位: 件、%

工事規模	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
1億円未満	1084	93.6	1121	92.4	1008	90.0	1023	87.9
1億円以上	74	6.4	92	7.6	112	10.0	141	12.1
合計	1158	100.0	1213	100.0	1120	100.0	1164	100.0

4) 08年度の3億円以上の大規模工事の特徴

08年度の変更後契約金額が3億円以上の大規模工事だけを集め一覧表にしたのが表1-1-5である。

合計26件のうち変更後契約金額50億円以上の工事が1件、20億円以上の工事が1件、10億円以上の工事が3件、5億円以上の工事が7件、3億円以上の工事が14件となっている。そのうち、最大規模の工事は「浮島処理センター基幹改良工事」で、JFE環境ソリューションズが50億4千万円で受注している。2007年度では「仮称リサイクルパークあさお整備事業ごみ焼却処理施設建設工事」という発注金額127億7,000万円という突出した大規模工事があったが、川崎市ではこの間、廃棄物処理施設建設で大規模工事が続出している。08年度で目立つのは浮島における廃棄物処理に関わる事業である。「浮島処理センター工事」だけでなく、浮島2期廃棄物埋立護岸工事が5件、変更後契約金額合計で39億円にもなっている。その他大規模工事では水道施設関係が4件で24億円、下水道幹線工事が3件で19億円、道路関係工事が3件で12億円、住宅や学校などの新築、増改築、耐震補強工事が8件で68億円となっている。特に学校新設や耐震補強工事が多く発注されていることは注目される。一方、発注先を見ると全体的に電機・機械メーカよりもゼネコンに発注しているのが多い。そのうちJVに発注しているのが15件と6割近くにのぼる。この中で市内業者のみのJVは4件で、残り9件は全国規模のゼネコン同士またはゼネコンと市内業者とのJVである。

業者アンケートにおいても市内業者同士のJVを望む声が強い（下表「JVについての評価」参照）。建築関係は市内業者同士のJVが多いが、今後学校など公共施設の耐震改修などの事業を増やし、市内業者同士のJVが受注できるよう公共事業政策、入札改善を行なう必要がある。

また、市内業者アンケートにも示されているように大規模工事はできるだけ業種ごとに分離発注する必要がある。電気・機械・設備工事など大手メーカに発注されるが、施工は小規模な下請業者が行っていることが指摘されている。

表 1-1-5 変更契約金額 3 億円以上の大規模工事

単位:円

No.	件名	業種名	業者所在地	変更後契約金額(税込)
1	浮島処理センター基幹改良工事	清掃施設	市外	5,292,000,000
2	蟹ヶ谷槍ヶ崎住宅新築第5号工事	建築	JV	2,085,930,000
3	柿生中学校校舎改築工事	建築	JV	1,627,500,000
4	浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その14工事	土木	JV	1,255,275,000
5	川崎駅前東西連絡歩道橋上屋その他整備工事ほか	建築	JV	1,247,400,000
6	施設再構築長沢浄水場沈でん池等築造工事	水道施設	JV	959,700,000
7	浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その13工事	土木	JV	883,428,000
8	江川1号雨水幹線その5工事	下水管	JV	813,750,000
9	浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その17工事	土木	JV	811,839,000
10	入江崎水処理センター改築機械その3工事	機械	市外	794,850,000
11	大師河原7号雨水幹線その2工事	下水管	JV	617,400,000
12	浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その15工事	土木	準市	554,011,500
13	登戸1号雨水幹線その4工事	下水管	JV	491,400,000

14	王禅寺小学校校舎増築その他工事	建築	JV	470,400,000
15	川崎港海底トンネル本体改良その3工事	土木	JV	468,300,000
16	浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その18工事	土木	準市	424,830,000
17	新川崎地区都市基盤整備(道路)その6工事ほか	土木	JV	399,000,000
18	幸消防署改築工事	建築	市内	391,979,700
19	高津高等学校ほか3か所耐震補強工事	建築	市内	378,000,000
20	新川崎地区都市基盤整備(道路)その5工事ほか	土木	JV	340,200,000
21	入江崎水処理センター改築電気その2工事	電気	市外	332,850,000
22	仮称有馬・野川地区生涯学習拠点施設新築工事	建築	市内	316,802,850
23	浮島処理センタークレーン設備基幹改良工事	機械	市外	315,000,000
24	蟹ヶ谷槍ヶ崎住宅新築第5号衛生その他設備工事	空調・衛生	JV	306,600,000
25	入江崎水処理センター建設機械その105工事	機械	市外	301,350,000
26	川崎縦貫道路関連施設整備川縦共同溝 1000mm配水管製作及び現場接合その3工事	鋼 構造物	市外	300,825,000

(参考) JV についての評価(市内業者アンケートより)

項目	回答数	構成比
市内業者同士のJVを増やすべき	32	54.2%
JV方式による入札はなくすべき	9	15.3%
JVと単独企業との混合入札を増やすべき	6	10.2%
市外業者と市内業者のJVを増やすべき	3	5.1%
無回答	9	15.3%
合計	59	100.0%

(参考) 大規模工事の分離・分割発注についての評価 (市内業者アンケートより)

項目	回答数	構成比
大規模工事は業種ごとに分離できるものは分離発注すべき	32	54.2%
大規模工事はできるだけ分割して発注すべき	16	27.1%
従来どおり、大規模工事を総価契約で元請業者に発注する方式が良い	4	6.8%
大規模工事は分離・分割発注でなくJV方式にすべき	1	1.7%
無回答	6	10.2%
合計	59	100.0%

(2) 市発注工事の発注部署からみる特徴

1) 発注部署別にみた発注金額の推移と特徴

市発注工事を発注部署別に発注金額の推移をみたのが表1-2-1である。08年度の発注総額617億円に対して最も多く発注している部署はまちづくり局の163億円(発注総額の26.5%)である。この部署は05年度では83億円(同18.3%)であるから4年間で2倍に増加したことになる。この局は再開発などのインフラ整備を担う局であることから言えば市街地再開発事業が大幅に増加していることを意味する。次いで多いのが建設局で08年度143億円(同23.2%)である。06年151億円、07年173億円と増加したが、08年度は05年度142億円と同水準に戻った。建設局は道路や下水道、公園等を整備する部署であるが、主要な投資が都市部に集中しているため、08年度はまちづくり局と事業量が逆転してしまった。次いで多いのが水道局の90億円(同14.6%)である。

表1-2-1 発注部署別発注金額の推移

単位: 百万円、%

発注部署	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
全体	45,406	100.0	47,005	100.0	64,276	100.0	61,710	100.0
財政局	-	-	18	0.0	7	0.0	-	-
環境局	5,614	12.4	2,078	4.4	15,197	23.6	7,477	12.1
まちづくり局	8,304	18.3	10,724	22.8	11,710	18.2	16,337	26.5
建設局	14,218	31.3	15,111	32.1	17,302	26.9	14,346	23.2
港湾局	4,666	10.3	5,533	11.8	5,683	8.8	6,102	9.9
水道局	5,092	11.2	5,663	12.0	7,070	11.0	9,034	14.6
交通局	23	0.0	41	0.1	33	0.1	43	0.1
病院局	255	0.6	10	0.0	31	0.0	39	0.1
区役所(川崎区)	1,538	3.4	959	2.0	951	1.5	1,165	1.9
区役所(幸区)	1,073	2.4	1,029	2.2	778	1.2	2,081	3.4
区役所(中原区)	823	1.8	474	1.0	491	0.8	961	1.6
区役所(高津区)	624	1.4	759	1.6	1,111	1.7	595	1.0
区役所(宮前区)	1,149	2.5	941	2.0	741	1.2	890	1.4
区役所(多摩区)	895	2.0	1,081	2.3	1,301	2.0	1,309	2.1
区役所(麻生区)	1,133	2.5	2,584	5.5	1,871	2.9	1,332	2.2

05年度からの推移をみると少しずつ増加の傾向にある。次いで多いのが環境局の75億円(同12.1%)で07年度に1件128億円の超大型ごみ処理施設が発注されたため急増し、08年度も1件50億円の廃棄物処理センターが発注されているため、年度により増減が激しい。川崎市ではこれら局発注の他に7つある各区が区道の整備・補修を中心にした事業を発注している。08年度を合計すると83億円(同13.6%)になる。05年度72億円(同16.0%)、06年度78億円(同16.6%)、07年度72億円(同11.3%)と毎年70億円～80億円の事業が発注されている。市民の生活環境の整備という面から区道の補修、改善などが行なわれる区発注工事が増加していくことは重要である。

2) 発注部署別に見た発注件数の推移と特徴

表1-2-2は発注部署別発注件数の推移である。また、発注金額を発注件数で除した一件あたりの発注金額をあらわしたのが表1-2-3である。

これをみると、この4年間で一件あたりの発注金額規模が徐々に大きくなってきている。05年度には一件あたり平均3,920万円だったのが、08年度では5,300万円と約1.4倍になっている。各局とも拡大傾向にあるが、特に環境局(1.6倍)、まちづくり局(1.8倍)、港湾局(1.6倍)、水道局(2.1倍)が工事一件の規模を大きく拡大している。

08年度の一件あたりの工事規模の大きい局から順に見ると、港湾局(1億4,880万円)、環境局(1億1,000万円)、建設局(9,200万円)と続き、比較的大規模工事を発注する部署である。逆に工事規模の小さい局からみると、交通局(610万円)、病院局(780万円)および各区の発注工事となる。交通局はバス営業所やバス停の建物の改修や電気工事など小工事が多く発注されている。また各区役所は区道の補修工事や区の施設の改修工事などが発注されている。

表1-2-2 発注部署別発注件数の推移

単位:件数、%

発注部局	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
全体	1,158	100.0	1,213	100.0	1,120	100.0	1,164	100.0
財政局	-	-	2	0.2	2	0.2	-	-
環境局	81	7.0	72	5.9	45	4.0	68	5.8
まちづくり局	250	21.6	299	24.6	233	20.8	281	24.1
建設局	167	14.4	163	13.4	168	15.0	156	13.4
港湾局	49	4.2	47	3.9	45	4.0	41	3.5
水道局	203	17.5	181	14.9	190	17.0	175	15.0
交通局	4	0.3	9	0.7	4	0.4	7	0.6
病院局	13	1.1	2	0.2	4	0.4	5	0.4
区役所(川崎区)	54	4.7	55	4.5	58	5.2	53	4.6
区役所(幸区)	45	3.9	56	4.6	58	5.2	58	5.0
区役所(中原区)	53	4.6	62	5.1	53	4.7	60	5.2
区役所(高津区)	52	4.5	62	5.1	60	5.4	54	4.6
区役所(宮前区)	65	5.6	57	4.7	49	4.4	56	4.8
区役所(多摩区)	62	5.4	74	6.1	79	7.1	76	6.5
区役所(麻生区)	60	5.2	72	5.9	72	6.4	74	6.4

表 1-2-3 発注部署別一件あたり発注金額の推移

単位:百万円

発注部局	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度
全体	39.2	38.8	57.4	53.0
財政局	-	9.2	3.5	-
環境局	69.3	28.9	337.7	110.0
まちづくり局	33.2	35.9	50.3	58.1
建設局	85.1	92.7	103.0	92.0
港湾局	95.2	117.7	126.3	148.8
水道局	25.1	31.3	37.2	51.6
交通局	5.7	4.6	8.3	6.1
病院局	19.6	5.0	7.8	7.8
区役所（川崎区）	28.5	17.4	16.4	22.0
区役所（幸区）	23.8	18.4	13.4	35.9
区役所（中原区）	15.5	7.6	9.3	16.0
区役所（高津区）	12.0	12.2	18.5	11.0
区役所（宮前区）	17.7	16.5	15.1	15.9
区役所（多摩区）	14.4	14.6	16.5	17.2
区役所（麻生区）	18.9	35.9	26.0	18.0

（３）市発注工事を地域別に工事場所からみた特徴

1) 地域別にみた発注金額の推移と特徴

川崎市の公共工事が地域別にどのように分布しているかをみたのが表 1-3-1 である。

表 1-3-1 地域別発注金額の推移

単位:百万円、%

区別	2005 年度		2006 年度		2007 年度		2008 年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
全体	45,406	100.0	47,005	100.0	64,276	100.0	61,710	100.0
川崎区	14,155	31.2	18,389	39.1	18,731	29.1	24,897	40.3
幸区	6,173	13.6	5,655	12.0	7,233	11.3	7,208	11.7
中原区	4,911	10.8	3,731	7.9	5,724	8.9	5,724	9.3
高津区	7,195	15.8	3,532	7.5	2,630	4.1	5,810	9.4
宮前区	4,170	9.2	3,455	7.4	2,482	3.9	3,666	5.9
多摩区	2,946	6.5	2,986	6.4	6,814	10.6	5,812	9.4
麻生区	3,103	6.8	5,871	12.5	16,997	26.4	6,215	10.1
その他	2,753	6.1	3,386	7.2	3,666	5.7	2,379	3.9

この 4 年間の推移を見ると金額で著しく発注金額を増加させている地域は川崎区である。川崎区は 05 年度の 141 億円から 08 年度 249 億円へと 1.8 倍も発注量を拡大し、他区を大きく引き離し、08 年度は全体発注金額の 40%にも達している。川崎区では臨海部における廃棄物埋立護岸工事など大規模事業が次々と発注されている。次いで 4 年前に比較し発注金額を増加させている地域は麻生区である。麻生区は 05 年度には 31 億円の発注量であったが、07 年度に 1 件 128 億円のごみ焼却処理施設事業という大型工事が発注され、一挙に発注量が拡大し、08 年度には 62 億円と減少したが、そ

れでも 4 年前と比較し 2 倍に増加している。また多摩区もこの 4 年間に 29 億円から 58 億円に発注量を倍加している。幸区と中原区はこの 4 年間で横ばいから微増している。一方、徐々に減少傾向を示しているのが高津区、宮前区である。いずれにしろ川崎市発注工事は臨海部の川崎区に次第に集中しつつあるといえる。

2) 地域別にみた発注件数の推移と特徴

次に発注工事を発注件数でみたのが表 1-3-2 である。そして発注金額を発注件数で除した一件あたりの発注金額の推移を見たのが表 1-3-3 である。

川崎区は 08 年度 250 件の工事を発注しているが、一件あたり平均発注金額が 9,960 万円と 1 億円弱の金額の工事を発注している。いかに大規模工事を中心に発注しているかが伺われる。

表 1-3-2 地域別発注件数の推移

単位: 件数、%

区別	2005 年度		2006 年度		2007 年度		2008 年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
全体	1,158	100.0	1,213	100.0	1,120	100.0	1,164	100.0
川崎区	278	24.0	268	22.1	255	22.8	250	21.5
幸区	135	11.7	145	12.0	132	11.8	148	12.7
中原区	132	11.4	140	11.5	142	12.7	162	13.9
高津区	136	11.7	146	12.0	103	9.2	121	10.4
宮前区	159	13.7	142	11.7	121	10.8	141	12.1
多摩区	152	13.1	180	14.8	182	16.3	163	14.0
麻生区	131	11.3	141	11.6	135	12.1	137	11.8
その他	35	3.0	51	4.2	50	4.5	42	3.6

表 1-3-3 地域別一件あたり発注金額の推移

単位: 百万円

区別	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度
全体	39.2	38.8	57.4	53.0
川崎区	50.9	68.6	73.5	99.6
幸区	45.7	39.0	54.8	48.7
中原区	37.2	26.7	40.3	35.3
高津区	52.9	24.2	25.5	48.0
宮前区	26.2	24.3	20.5	26.0
多摩区	19.4	16.6	37.4	35.7
麻生区	23.7	41.6	125.9	45.4
その他	78.7	66.4	73.3	56.6

(4) 市発注工事の発注月別状況

川崎市発注工事が月ごとにどのようにバランスよく発注されているかをみる。

財政の単年度主義により、年度の予算は 4 月から執行される。工事の実施設計や発注手続きの関係から、工事発注は年度後半に偏る傾向がある。また年度予算消化の都合から工事発注が年度末に集中する傾向もある。しかし、公共工事を主に受注することで事業計画を立てている受注業者の立場から見ると、年間切れ目なく仕事が確保さ

れることが望ましい。納税者の立場から見ても年度末に予算消化のためにバタバタと実施する事業のムダが指摘される。

1) 月別にみた発注件数の推移と特徴

表 1-4-1 は発注件数の月別推移をみたものであるが、これを3ヶ月ごとにバランスをみると、08年度では4-6月には12.7%、7-9月には29.5%、10-12月には40.3%、1-3月には17.5%となっている(表 1-4-2)。リーマンショック後の前倒し発注の関係もあり、10-12月の3ヶ月に全体の40%強を発注している。1-3月も加えた年度後半で57.8%と件数では過半数が発注されている。年度後半に発注されている件数の過去4年間の推移をみると、05年度では58.7%、06年度では48.8%、07年度では55.9%と06年度を除きやはり後半に過半数が発注されている。但し08年度は1-3月期に204件、17.6%も発注されており、これまでになく多くなっている。

表 1-4-1 発注月別発注件数の推移

単位: 件数、%

区別 項目名	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
全体	1145	100.0	1211	100.0	1116	100.0	1164	100.0
4月	84	7.3	129	10.7	61	5.5	36	3.1
5月	36	3.1	75	6.2	45	4.0	43	3.7
6月	78	6.8	105	8.7	99	8.9	69	5.9
7月	77	6.7	118	9.7	105	9.4	155	13.3
8月	69	6.0	90	7.4	88	7.9	59	5.1
9月	129	11.3	103	8.5	94	8.4	129	11.1
10月	119	10.4	151	12.5	149	13.4	127	10.9
11月	149	13.0	156	12.9	139	12.5	132	11.3
12月	235	20.5	244	20.1	176	15.8	210	18.0
1月	42	3.7	22	1.8	62	5.6	62	5.3
2月	90	7.9	14	1.2	49	4.4	81	7.0
3月	37	3.2	4	0.3	49	4.4	61	5.2

表 1-4-2 四半期別にみた発注件数の推移

単位: 件数、%

区別 項目名	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
全体	1145	100.0	1211	100.0	1116	100.0	1164	100.0
4~6月	198	17.3	309	25.5	205	18.4	148	12.7
7~9月	275	24.0	311	25.7	287	25.7	343	29.5
10~12月	503	43.9	551	45.5	464	41.6	469	40.3
1~3月	169	14.8	40	3.3	160	14.3	204	17.5

2) 月別にみた発注金額の推移と特徴

一方、これを金額ベースで月別にみたのが表 1-4-3 である。金額ベースもバランスをみるために四半期ごとにみたのが表 1-4-4 である。08年度を見ると4-6月は12.2%、7-9月は21.7%、10-12月は42.6%、1-3月は23.5%となっている。10月以降の年度後半では66.1%と件数以上に年度後半に偏っている。

また、年度後半の発注率を 05 年度からの推移でみると、05 年度は 48.8%、06 年度は 34.9%、07 年度は 74.9% というように 07 年度から急増している。これは「あさお整備工事」が 07 年 12 月に発注されていることなど大規模工事が年度後半に偏った結果である。大規模工事は設計だけでなく周辺住民との調整など手続きに時間を要するため、年度当初から設計に取り掛かるとこの時期に発注が集中することになる。また、08 年度には年度末の 3 月に 103 億円、07 年度も 85 億円と駆け込み発注が行われている。年度予算を消化するため無理な発注がこの時期に行われているようだ。特にリーマンショック後はできるだけ前倒し発注し、翌年度を待たずに発注するよう当局から指示がされていたようだ。しかし、年度内の各月にバランスよく発注する上では、市の計画や設計部署はいつそうの工夫を必要とする。

表 1-4-3 発注月別発注金額の推移

単位：百万円、%

項目名	2005 年度		2006 年度		2007 年度		2008 年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
全体	45,151	100.0	46,995	100.0	64,245	100.0	61,710	100.0
4 月	2,590	5.7	5,200	11.1	3,200	5.0	2,202	3.6
5 月	1,217	2.7	2,212	4.7	1,065	1.7	1,271	2.1
6 月	3,734	8.3	9,148	19.5	3,545	5.5	4,063	6.6
7 月	6,407	14.2	6,231	13.3	2,385	3.7	4,660	7.6
8 月	2,417	5.4	3,997	8.5	3,098	4.8	3,328	5.4
9 月	6,742	14.9	3,802	8.1	2,857	4.4	5,398	8.7
10 月	5,208	11.5	5,551	11.8	9,794	15.2	7,403	12.0
11 月	3,967	8.8	3,291	7.0	6,517	10.1	4,810	7.8
12 月	5,791	12.8	6,530	13.9	20,931	32.6	14,098	22.8
1 月	3,810	8.4	554	1.2	1,157	1.8	2,130	3.5
2 月	2,429	5.4	420	0.9	1,211	1.9	2,091	3.4
3 月	840	1.9	60	0.1	8,483	13.2	10,257	16.6

単位：百万円、%

項目名	2005 年度		2006 年度		2007 年度		2008 年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
全体	45,151	100.0	46,995	100.0	64,245	100.0	61,710	100.0
4～6 月	7,540	16.7	16,559	35.2	7,810	12.1	7,536	12.2
7～9 月	15,566	34.5	14,030	29.9	8,340	13.0	13,386	21.7
10～12 月	14,966	33.1	15,372	32.7	37,243	58.0	26,311	42.6
1～3 月	7,078	15.7	1,034	2.2	10,851	16.9	14,477	23.5

第2章 2008年度川崎市発注公共工事の受注側からみた特徴

次に、2008年度の川崎市発注公共工事を受注側からその特徴をみていく。そのための資料として2005年度から4年間の公共工事契約データの他に入札参加申請者受理名簿、川崎市建設業協会会員名簿を活用した。

(1) 入札参加申請業者と受注業者との関係

最初に受注業者の全体像を把握するために、この4年間の入札参加申請者と受注業者との関係を市内、準市内、市外業者との関係でみる。(表2-1-1、但し、JVは構成業者に分解した業者数)。入札参加申請は2年に一度であるため、05年度と06年度、07年度と08年度は同一である。基本的に入札参加申請者数はこの4年間ではほとんど変化がない。一方、受注業者数は全体で05年度483社(入札参加申請業者数の24.4%)、06年度503社(同25.4%)、07年度447社(同22.6%)、08年度450社(同22.7%)と、入札参加申請者に対する受注業者比率はほぼ20%~25%になっている。06年度は25.4%と受注業者比率が高く、05年度、06年度に対して07年度、08年度は若干低くなっている。

表2-1-1

入札参加申請者数と受注業者との関係

単位:業者、%

	区分	入札参加 申請業者数	受注 業者数	受注 比率
05 年度	全体	1981	483	24.4
	市内	764	365	47.8
	準市内	244	52	21.3
	市外	973	63	6.5
	不明	-	3	-
06 年度	全体	1981	503	25.4
	市内	764	380	49.7
	準市内	244	53	21.7
	市外	973	69	7.1
	不明	-	1	-
07 年度	全体	1979	447	22.6
	市内	763	324	42.5
	準市内	243	55	22.6
	市外	973	68	7.0
	不明	-	-	-
08 年度	全体	1979	450	22.7
	市内	763	332	43.5
	準市内	243	47	19.3
	市外	973	69	7.1
	不明	-	2	-

(参考)事業経営上の悩み

(市内業者アンケートより)

項目	回答数	構成比
受注価格の低下	43	26.1%
受注量の減少	41	24.8%
今後の公共工事の減少	21	12.7%
今後の民間工事の減少	12	7.3%
建設産業の見通しが不明	10	6.1%
優秀な技術者不足	9	5.5%
後継者難	6	3.6%
熟練技能者不足	5	3.0%
コストダウンが困難	5	3.0%
金融機関の貸し渋り	4	2.4%
赤字工事が多く利益が減少	4	2.4%
資金繰りの困難	3	1.8%
人員の過剰	1	0.6%
回収不能の売掛金の増加	1	0.6%
技術や制度の変化についていけない	0	0.0%
合計	165	100.0%

次に、受注業者数を地域区分毎でみると、市内業者は05年度365社(入札参加申請者の47.8%)、06年度380社(同49.7%)、07年度324社(同42.5%)、08年度

332社（同43.5%）と市内受注業者は市内入札参加申請者の40%強～50%弱を占めている。特に06年度は380社と入札参加申請者のうちほぼ半数の業者が1件以上の受注をしている。しかし、逆にみると、川崎市に対し入札参加申請を提出し受理された市内業者のうち1年間に1件も受注できなかった業者が5割強～6割弱存在することになる。市外業者や準市内業者は入札参加申請者数に対する受注業者の割合は市外業者で6～7%、準市内業者で19%～23%と市内業者に比べ受注業者割合が少ないが、彼らにとっては川崎市の公共工事は全国的な受注の一部に過ぎない。しかし、市内業者は市外工事以上に市発注工事に大きく依存しており、厳しい経済不況の中、市内の民間建設投資が落ち込む状況にもかかわらず、公共工事の受注ができないことは市内業者の経営に大きな痛手を蒙らせることになる。市内業者へのアンケート調査の中で「事業経営上の悩み」という質問では「受注量の減少」（24.8%）、「今後の公共工事の減少」（12.7%）、「今後の民間工事の減少」（7.3%）と、この3項目合計で45%を占めている。現在の受注量の減少とともに今後の公共・民間工事の減少見込みに経営上の強い危機意識を抱いていることが伺われる。

（2）受注業者の資本金階層からみた特徴

1）業者資本金階層別にみた受注金額の推移と特徴

05年度から4年間の各年度の工事契約総額を資本金階層およびJVで区分し、階層別に受注金額をあらわしたのが表2-2-1である。4年間の推移をみると、資本金1千万円未満の小零細業者の受注総金額は一貫して10億円にも満たず、構成比率では2%にもならない。また、資本金1千万～5千万円の中小・中堅業者の階層では05年度166億円（総金額の36.5%）、06年度172億円（同36.7%）、07年度145億円（同22.5%）とほぼ150億円前後の横ばい状況であったが、08年度は221億円（同35.7%）と受注金額を伸ばしている。しかし、受注総金額に占める構成比率では35%超で05年度とほぼ同率である。その中でも資本金1千万～3千万円の階層は確かに金額では徐々に増加しているが、構成比率では必ずしも増加傾向ではなく、横ばいないし減少の傾向と見られる。この階層は市内に拠点を置く中小業者であるが、大手業者の受注量の増加に比較し停滞しているといえる。

一方、資本金5千万～1億円、および1億～10億円の階層は比較的受注金額が少なく、両階層を合計しても05年度50億円、06年度73億円、07年度70億円、08年度76億円と少しずつ増加しているが、100億円に満たない状況である。これに対して資本金10億～50億円および50億円以上の階層はジグザグがあるが、大きく受注量を伸ばしている。両階層を合計してみると、05年度121億円（26.7%）、06年度74億円（15.7%）、07年度246億円（38.2%）、08年度124億円（20.2%）となっている。

特に07年度は大規模工事が大手業者に発注されたため、急増しているが、それを除いても、06年度を除き毎年度120億円以上の工事を大手業者が受注している。さらに注目すべきはJVでの受注が次第に増加していることである。JVでの受注金額をみると、05年度109億円（24.0%）、06年度145億円（30.9%）、07年度174億円（27.1%）、08年度186億円（30.2%）とこの4年間だけでも78億円も増加している。JVによ

る受注詳細は後ほどみるとして、比較的大規模工事をJVによって施工するという政策が進行しているように見える。しかし、市内業者へのアンケート結果では、大規模工事をJVで発注する方式には必ずしも評価が高くない。むしろ業種ごとに分離発注することを望んでいる。また、JV発注する場合でも市外業者と市内業者とのJV工事に対しては評価が低く、市内業者同士のJVにすべきという意見が強い。

次に、08年度の資本金別受注金額を市内・準市内・市外・JV別に分類したのが表2-2-2である。これで見ると資本金1億円未満では受注金額の80%以上を市内業者が受注している。資本金1億～50億円では75%～90%を市外業者が受注している。さらに資本金50億円以上になると準市内業者(72%)と市外業者(28%)で分け合っている状況である。

表 2-2-1 市発注公共工事の資本金階層及びJV別受注金額の推移 単位:百万円、%

資本金	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
全体	45,406	100.0	47,005	100.0	64,276	100.0	61,710	100.0
5百万円未満	472	1.0	312	0.7	486	0.8	685	1.1
5百～1千万円未満	385	0.8	300	0.6	296	0.5	274	0.4
1千～3千万円未満	9,105	20.1	10,156	21.6	8,241	12.8	10,706	17.3
3千～5千万円未満	7,456	16.4	7,091	15.1	6,233	9.7	11,363	18.4
5千万～1億円未満	2,916	6.4	4,396	9.4	2,928	4.6	2,913	4.7
1億～10億円未満	2,060	4.5	2,870	6.1	4,061	6.3	4,678	7.6
10億～50億円未満	1,574	3.5	1,412	3.0	3,049	4.7	7,256	11.8
50億円以上	10,518	23.2	5,954	12.7	21,555	33.5	5,160	8.4
JV	10,892	24.0	14,508	30.9	17,425	27.1	18,644	30.2
不明	29	0.1	7	0.0	4	0.0	33	0.1

表 2-2-2 資本金階層別受注金額の市内・準市内・市外・JV 別分類

単位：百万円

		全体	市内	準市内	市外	JV	無回答
資 本 金 区 分	全体	61710	25197	4614	13223	18644	33
		100.0	40.8	7.5	21.4	30.2	0.1
	500万円未満	685	675	-	10	-	-
		100.0	98.6	-	1.4	-	-
	500～1000万円未満	274	274	-	-	-	-
		100.0	100.0	-	-	-	-
	1000～3000万円未満	10706	10561	18	127	-	-
		100.0	98.6	0.2	1.2	-	-
	3000～5000万円未満	11363	10265	41	1057	-	-
		100.0	90.3	0.4	9.3	-	-
	5000万～1億円未満	2913	2450	59	403	-	-
		100.0	84.1	2.0	13.9	-	-
	1～10億円未満	4678	961	194	3523	-	-
		100.0	20.5	4.1	75.3	-	-
	10～50億円未満	7256	-	606	6651	-	-
		100.0	-	8.3	91.7	-	-
	50億円以上	5160	11	3696	1453	-	-
		100.0	0.2	71.6	28.2	-	-
	JV	18644	-	-	-	18644	-
		100.0	-	-	-	100.0	-
無回答	33	-	-	-	-	33	
	100.0	-	-	-	-	100.0	

(参考) 大規模工事の発注方式の評価(市内業者アンケートより)

項目	回答数	構成比
大規模工事は業種ごとに分離できるものは分離発注すべき	32	54.2%
大規模工事はできるだけ分割して発注すべき	16	27.1%
従来どおり、大規模工事を総価契約で元請業者に発注する方式が良い	4	6.8%
大規模工事は分離・分割発注でなくJV方式にすべき	1	1.7%
無回答	6	10.2%
合計	59	100.0%

(参考) JV についての評価(市内業者アンケートより)

項目	回答数	構成比
市内業者同士のJVを増やすべき	32	54.2%
JV方式による入札はなくすべき	9	15.3%
JVと単独企業との混合入札を増やすべき	6	10.2%
市外業者と市内業者のJVを増やすべき	3	5.1%
無回答	9	15.3%
合計	59	100.0%

2) 業者資本金階層別にみた受注件数の推移と特徴

一方、川崎市発注工事を資本金別に受注件数でみると、08年度では資本金1千万～3千万円の階層が537件（総件数の46.1%）と半数近くを占めている。この4年間においても若干のジグザグがあるが、同様の傾向を示している。それに続くのが資本金3千万～5千万円の階層で全体件数の20%前後を示している。市発注工事は基本的にこの資本金クラスに重点化して発注されていることがわかる（表2-2-3）。

表 2-2-3 市発注公共工事の資本金階層及びJV別受注件数の推移

単位：件数、%

資本金	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
全体	1158	100.0	1213	100.0	1120	100.0	1164	100.0
5百万円未満	47	4.1	44	3.6	59	5.3	75	6.4
5百～1千万円未満	42	3.6	41	3.4	35	3.1	37	3.2
1千～3千万円未満	562	48.5	603	49.7	497	44.4	537	46.1
3千～5千万円未満	238	20.6	222	18.3	212	18.9	243	20.9
5千万～1億円未満	57	4.9	79	6.5	63	5.6	54	4.6
1億～10億円未満	75	6.5	86	7.1	93	8.3	75	6.4
10億～50億円未満	30	2.6	30	2.5	38	3.4	24	2.1
50億円以上	72	6.2	63	5.2	62	5.5	58	5.0
JV	31	2.7	43	3.5	60	5.4	59	5.1
不明	4	0.3	2	0.2	1	0.1	2	0.2

3) 業者資本金階層別みた一件あたりの受注金額の推移と特徴

受注金額を件数で除して一件あたりの受注金額を資本金階層別に示したのが表2-2-4である。基本的に資本金階層が高くなるほど1件あたりの金額は大きくなるが、一貫して一件3億円前後を受注しているのがJVである。

逆に、資本金1千万円未満階層では一件1千万円未満の工事しか受注できない状況にある。

表 2-2-4 資本金別1件当たり契約金額

単位：百万円

資本金	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
全体	39.2	38.8	57.4	53.0
5百万円未満	10.0	7.1	8.2	9.1
5百～1千万円未満	9.2	7.3	8.5	7.4
1千～3千万円未満	16.2	16.8	16.6	19.9
3千～5千万円未満	31.3	31.9	29.4	46.8
5千万～1億円未満	51.2	55.6	46.5	53.9
1億～10億円未満	27.5	33.4	43.7	62.4
10億～50億円未満	52.5	47.1	80.2	302.3
50億円以上	146.1	94.5	347.7	89.0
JV	351.4	337.4	290.4	316.0
不明	7.3	3.6	3.6	16.7

4) 全国の市区町村との比較からみた 08 年度の資本金階層別受注金額構成比

08 年度の川崎市の資本金階層別構成比（J V と不明を除外して構成比を算出）を全国の市区町村との比較でみると、金額ベースでは資本金 1 千万円未満の小零細業者の比率は川崎が 2.2% に対し、全国は 2.4% と若干全国の比率が高い。また 1 千万～3 千万円の中小業者の比率では川崎市が 24.9% に対し、全国は 26.3% とやはり若干全国の比率が高い。また、資本金 3 千万～5 千万円の中堅業者では川崎市が 26.4% に対し、全国は 19.8% と 7 ポイントほど川崎市が高い。さらに資本金 5 千万円～10 億円の手当では川崎市 15.5% に対し全国は 24.6% と全国が高い。そして 10 億円以上の全国大手では川崎市が 23.8% に対し、全国は 26.9% と若干全国が多い。

このように、川崎市の公共工事は全国市区町村に比較し、地域の中小零細業者向けは若干少なく、中堅業者向けにはかなり高い。また大手業者向けでは全国市区町村がかなり高いという状況にある。但し、川崎市では J V の金額を除外したが、全国の市区町村では J V の処理が不明である。

表 2-2-5

2008 年度川崎市と全国の市区町村発注工事の資本金別受注金額と件数の比較表

単位：百万円・%

資本金	川崎市		全国市区町村		川崎市		全国市区町村	
	金額	構成比	金額	構成比	件数	構成比	件数	構成比
全体	43,033	100.0	2,476,046	100.0	1,103	100.0	61,496	100.0
5 百万円未満	685	1.6	5,352	0.3	75	6.8	389	0.6
5 百～1 千万円	274	0.6	52,209	2.1	37	3.4	3,438	5.6
1 千～3 千万円	10,706	24.9	652,095	26.3	537	48.7	28,691	46.7
3 千～5 千万円	11,363	26.4	489,720	19.8	243	22.0	13,720	22.3
5 千万～1 億円	2,913	6.8	315,015	12.7	54	4.9	6,779	11.0
1～10 億円	4,678	10.9	294,388	11.9	75	6.8	4,027	6.5
10～50 億円	7,256	16.8	152,142	6.1	24	2.2	1,358	2.2
50 億円以上	5,160	12.0	515,125	20.8	58	5.2	3,095	5.0

出所：国土交通省「2008 年度建設工事受注動態統計調査報告」

（但し、川崎市は J V と不明を除外する）

5) 08年度の資本金階層別受注構成比の横浜市との比較

表 2-2-6 は 08 年度の資本金階層別受注金額、件数、一件当たりの金額を横浜市の 08 年度の実態と比較したものである。

表 2-2-6 横浜市と比較した資本金別契約金額・件数・1 件当たり金額

単位:百万円・件・%

	金額				件数				1 件当たり金額	
	川崎市		横浜市		川崎市		横浜市		川崎市	横浜市
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	1 件平均	1 件平均
全体	61,710	100.0	141,527	100.0	1164	100.0	3419	100.0	53.0	41.4
5 百万円未満	685	1.1	1,753	1.2	75	6.4	168	4.9	9.1	10.4
5 百～1 千万円	274	0.4	1,578	1.1	37	3.2	170	5.0	7.4	9.3
1 千～3 千万円	10,706	17.3	33,010	23.3	537	46.1	1663	48.6	19.9	19.8
3 千～5 千万円	11,363	18.4	18,328	13.0	243	20.9	474	13.9	46.8	38.7
5 千万～1 億円	2,913	4.7	22,583	16.0	54	4.7	422	12.3	53.9	53.5
1～10 億円	4,678	7.6	13,916	9.8	75	6.4	276	8.1	62.4	50.4
10～50 億円	7,256	11.8	7,215	5.1	24	2.1	58	1.7	302.3	124.4
50 億円以上	5,160	8.4	14,006	9.9	58	5.0	138	4.0	89.0	101.5
JV	18,644	30.2	28,809	20.4	59	5.1	47	1.4	316.0	613.0
不明	33	0.1	328	0.2	2	0.2	3	0.1	16.7	109.2

金額ベースでは資本金 1 千万円未満では川崎市の 1.5%に対して横浜市が 2.3%と双方とも受注量は小額である。資本金 1 千万～3 千万円の中小業者階層では川崎市の 17.3%に対し、横浜市は 23.3%と横浜市の構成比が上回っている。さらに資本金 5 千万～10 億円の階層では川崎市が 12.3%に対し、横浜市が 25.8%とやはり横浜市の構成比が大きく上回っている。一方、JVでの受注金額は川崎市が 30.2%あるのに対し、横浜市は 20.4%という状況である。

次に受注工事一件当たりの金額をみると、全体では川崎市の 5,300 万円に対し、横浜市は 4,140 万円と比較的小規模である。特に横浜市は資本金 10 億～50 億円の大手業者に対して一件当たり 1 億 2,440 万円と川崎市の 3 億 230 万円に対して比較的小規模な工事となっている。また川崎市の JV が一件 3 億 1,600 万円に対して横浜市では 6 億 1,300 万円と 2 倍近い大規模工事となっている。

6) 08 年度資本金階層別業者の工事規模別受注件数の状況

08 年度の川崎市発注工事について一件あたり工事規模毎にみた件数を資本金階層別に各階層がどの規模の工事を何件受注しているかをみたのが表 2-2-7 である。工事規模 1 千万円未満の小規模工事は 472 件 (全体件数の 40.7%) あるが、資本金 1 千万円未満の小零細業者はこのうち 83 件 (17.6%) を受注、資本金 1 千万～5 千万円の中小業者が 325 件 (68.9%) 受注している。これをみても小規模工事を小零細業者が受注できる仕組みになっていないことがうかがわれる。

表 2-2-7 資本金階層別と工事規模別件数

単位：件、%

工事規模 資本金	全体	50万円未満	50万円～100万円	100万円～500万円	500万円～1000万円	1000万円～5000万円	5000万円～1億円	1億円～5億円	5億円～10億円	10億円～50億円	50億円以上
全体（件数）	1164	3	19	232	222	446	101	129	7	4	1
全体（比率）	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
500万円未満	75	1	2	28	23	20	1	-	-	-	-
	100.0	33.3	10.5	12.1	10.4	4.5	1.0	-	-	-	-
～1000万円未満	37	1	2	17	9	8	-	-	-	-	-
	3.2	33.3	10.5	7.3	4.1	1.8	-	-	-	-	-
～3000万円未満	537	1	9	129	135	217	26	20	-	-	-
	100.0	33.3	47.4	55.6	60.8	48.7	25.7	15.5	-	-	-
～5000万円未満	243	-	3	26	24	121	38	31	-	-	-
	100.0	-	15.8	11.2	10.8	27.1	37.6	24.0	-	-	-
～1億円未満	54	-	-	5	9	21	9	10	-	-	-
	100.0	-	-	2.2	4.1	4.7	8.9	7.8	-	-	-
～10億円未満	75	-	2	17	12	23	6	14	1	-	-
	100.0	-	10.5	7.3	5.4	5.2	5.9	10.9	14.3	-	-
～50億円未満	24	-	-	2	2	9	3	7	-	-	1
	100.0	-	-	0.9	0.9	2.0	3.0	5.4	-	-	100
50億円以上	58	-	-	7	6	18	11	15	1	-	-
	100.0	-	-	3.0	2.7	4.0	10.9	11.6	14.3	-	-
JV	59	-	1	1	2	7	7	32	5	4	-
	100.0	-	5.3	0.4	0.9	1.6	6.9	24.8	71.4	100	-
不明	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	0.4	-	-	-	-	-

一方、一件あたり工事規模1億円以上の件数は141件（全体件数の12.2%）あるが、資本金1千万円未満の業者は1件も受注していないのは仕方がないとしても、資本金1千万～5千万円の業者が51件（同36.1%）で、残り90件は資本金5千万円以上の業者およびJVにより受注されている。特にJVはこのうち41件（29.1%）を受注している。このクラスの規模の工事を資本金5千万円未満業者に分離発注方式に切り替えることを考える必要がある。

（3）受注業者の市内外別分類からみたいくつかの特徴

1）市内、準市内、市外、JV別にみた受注金額の特徴

川崎市は受注業者を地域別に3種類に区分している。川崎市内に本社を持つ業者を市内業者、本社は市外だが市内に支店ないし営業所を持つ業者を準市内業者、本社、支店・営業所とも市内に持たない業者を市外業者と区分している。これにJVを加えた4区分に業者を分類し受注金額をみたのが表2-3-1である。まず08年度をみよ。全体受注金額617億円を4区分別にみると、市内業者の受注金額は252億円で全体金額の40.8%を占め、次いでJVが186億円（30.2%）、市外が132億円（21.4%）と続き、準市内は46億円（7.5%）と少ない。一応市内業者の受注金額が4割程度を占めている。

これを 2005 年度からの推移で見ると、全体金額が 05 年度、06 年度に対し、07 年度、08 年度が大きく増加しているが、この増加分を吸収したのが市外業者および J V である。市外業者は 06 年度 49 億円に対し、07 年度 174 億円と一挙に 3.5 倍に増加した。

また J V は 05 年度の 109 億円から毎年度増加し、08 年度は 186 億円と 05 年度の 1.7 倍にまで達している。これに対し、準市内業者は 07 年度大きく増加したが、08 年度は大きく落ち込み 05 年度より縮小している。市内業者は 05 年度 204 億円から 06 年度 223 億円に増加したが、07 年度 181 億円と落ち込み、08 年度 252 億円へと回復している。しかし、構成比率で推移をみると 05 年度 45.2% から 08 年度 40.8% へと減少傾向を示している。市外業者、J V の拡大とともに市内業者の受注金額は相対的に縮小しているといえる。

表 2-3-1 市内、準市内、市外、JV 別にみた受注金額の推移

単位：百万円、%

区分	2005 年度		2006 年度		2007 年度		2008 年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
全体	45,406	100.0	47,005	100.0	64,276	100.0	61,710	100.0
市内	20,607	45.4	22,261	47.4	18,084	28.1	25,197	40.8
準市内	4,939	10.9	5,298	11.3	11,311	17.6	4,614	7.5
市外	8,939	19.7	4,932	10.5	17,457	27.2	13,223	21.4
JV	10,892	24.0	14,508	30.9	17,425	27.1	18,644	30.2
不明	29	0.1	7	0.0	-	-	33	0.1

2) J V を構成業者ごとに分解した市内、準市内、市外別受注金額の特徴

拡大している J V を各構成業者に分解してみるとどうなるだろうか。

表 2-3-2 は J V 受注を各業者の構成比率をもとに業者の受注金額に分解し、市内、準市内、市外に振り分け、単独受注分に加算したものである。

J V 受注を市内、準市内、市外に分解した金額をみると、J V が準市内業者と市内業者との組み合わせが多いため、準市内業者と市内業者の受注金額を大きく増加させている。市内業者の J V 受注金額は 05 年度の 45 億円（受注合計の 18.1%）から 06 年度 64 億円（同 22.3%）、07 年度 115 億円（同 38.9%）、08 年度 105 億円（同 29.5%）と、07 年度から急激に J V 受注を増加させている。また、準市内業者は 05 年度の 62 億円（同 55.6%）から 06 年度 77 億円（同 59.4%）、07 年度 50 億円（同 30.5%）、08 年度 75 億円（同 61.9%）と 07 年度を除き次第に J V 受注比率を高め、J V 受注が単独受注を上回っている。

そのため、単独受注と J V 受注を加算した受注金額は、市内業者では 05 年度の 252 億円（受注総額の 55.4%）から 06 年度 286 億円（同 60.9%）、07 年度 295 億円（同 45.9%）、08 年度 357 億円（同 58.0%）へと増加傾向を示し、07 年度を除き、受注総額の過半を市内業者が占めるに至っている。

また、準市内業者の単独と J V の加算金額では 05 年度 111 億円（受注総額の 24.5%）から 06 年度 130 億円（27.7%）、07 年度 163 億円（同 25.3%）、08 年度 121 億円（同 19.7%）と J V 受注が全体受注に大きく貢献している。

但し、JV受注の場合、市内業者はJVの幹事会社ではなくサブ業者となるため、幹事会社にスポンサーメリットを取られ、利益面ではさほど貢献しないという問題がある。一方、幹事会社となる準市内業者は受注構成比率以上に利益面等では有利な立場になり、準市内業者にとってはJV受注が市発注工事の中心になっていることがうかがわれる。

表 2-3-2 JV受注を構成業者に分解した場合の
市内、準市内、市外別受注金額の推移

単位：百万円

	業者所在地	単独受注	JV受注	計	%	JV比率
05年度	市内業者	20,607	4,543	25,150	55.4	18.1
	準市内業者	4,939	6,193	11,133	24.5	55.6
	市外業者	8,939	156	9,095	20.0	1.7
	合計	34,485	10,892	45,377	100.0	24.0
06年度	市内業者	22,262	6,380	28,642	60.9	22.3
	準市内業者	5,298	7,740	13,038	27.7	59.4
	市外業者	4,933	386	5,318	11.3	7.2
	合計	32,493	14,505	46,998	100.0	30.9
07年度	市内業者	18,046	11,478	29,524	45.9	38.9
	準市内業者	11,288	4,963	16,250	25.3	30.5
	市外業者	17,421	1,080	18,501	28.8	5.8
	合計	46,755	17,521	64,276	100.0	27.3
08年度	市内業者	25,237	10,542	35,779	58.0	29.5
	準市内業者	4,621	7,517	12,138	19.7	61.9
	市外業者	13,244	516	13,760	22.3	3.8
	合計	43,102	18,575	61,677	100.0	30.1

3) 市内、準市内、市外、JV別にみた受注件数の特徴

08年度発注工事を市内、準市内、市外、JVに分類し受注件数をみる（表 2-3-3）と、市内業者が921件と全体件数の79.1%を占め、市内業者が圧倒的多数の工事を受注していることがわかる。05年度からの推移を見ても市内業者が80%前後を占め、件数で見ると、市発注工事は市内業者優先発注が行なわれているといえる。

さらに、JVを構成業者ごとに分解し、準市内：市内：市内のJVの場合、準市内1件、市内2件という具合に全体受注件数を再集計したのが表 2-3-4 である。これで見ると市内業者の受注件数合計は05年度980件（全体の82.2%）、06年度1047件（83.0%）、07年度953件（80.1%）、08年度1008件（82.2%）と構成比は年度ごとにほぼ横ばいに推移し、市内業者の受注件数は80～83%と件数では極めて安定した比率を占めているといえる。

表 2-3-3 市内、準市内、市外、JV別にみた受注件数の推移

単位：件、%

区分	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
全体	1,158	100.0	1,213	100.0	1,120	100.0	1,164	100.0
市内	939	81.1	977	80.5	850	75.9	921	79.1
準市内	73	6.3	71	5.9	99	8.8	62	5.3
市外	111	9.6	120	9.9	111	9.9	120	10.3
JV	31	2.7	43	3.5	60	5.4	59	5.1
不明	4	0.3	2	0.2	-	-	2	0.2

表 2-3-4 JV受注を構成業者に分解した場合の
市内、準市内、市外別受注金額の推移

単位:件、%

年度	J V工 件数	市内外別	J V 件数	単 独 件 数	合 計 件 数	件 数 構 成 比
05 年 度	31	市内業者	41	939	980	82.2
		準市内業者	27	73	100	8.4
		市外業者	1	111	112	9.4
		合計	69	1123	1,192	100.0
06 年 度	43	市内業者	70	977	1,047	83.0
		準市内業者	21	71	92	7.3
		市外業者	2	120	122	9.7
		合計	93	1168	1,261	100.0
07 年 度	60	市内業者	103	850	953	80.1
		準市内業者	19	99	118	9.9
		市外業者	8	111	119	10.0
		合計	130	1060	1,190	100.0
08 年 度	59	市内業者	87	921	1,008	82.2
		準市内業者	33	62	95	7.7
		市外業者	3	120	123	10.1
		合計	123	1103	1,226	100.0

4) 工事規模別にみた市内、準市内、市外業者の受注件数の特徴

08年度の全体受注件数は1,164件あるが、これを一件あたり工事規模別に分類した結果は第1章において報告したが、これが市内、準市内、市外別にどのように受注されているかをみたのが表2-3-5である。

市内業者は921件のうち5百万円未満の小規模工事を214件(この規模の総件数254件の77.2%)、5百万～1千万円規模工事を198件(この規模の総件数222件の89.2%)、1千万～5千万円規模工事を373件(この規模の総件数446件の83.6%)、さらに5千万～1億円規模工事を77件(この規模の総件数101件の76.2%)、1億～5億円規模工事を59件(この規模の総件数129件の45.7%)受注している。このように市内業者は一件1億円未満工事については75%以上の受注占有率を示している。しかし、1億～5億円では5割未満の受注占有率となり、5億円規模以上の工事はまったく受注することができていない。5億円以上の工事は全体で12件しかないが、このうちJVが9件受注している。

表 2-3-5

2008年度の工事件数を工事規模別、市内・準市内・市外・JV別クロス表

単位:件、%

1件当り 工事金額→	全 体	50 万 円 未 満	50 万 円 未 満 ～ 1 万 円	1 万 円 未 満 ～ 5 百 万 円	5 百 万 円 未 満 ～ 1 千 万 円	1 千 万 円 未 満 ～ 5 千 万 円	5 千 万 円 未 満 ～ 1 億 円	1 億 円 未 満 ～ 5 億 円	5 億 円 未 満 ～ 10 億 円	10 億 円 未 満 ～ 50 億 円	50 億 円 未 満 ～ 100 億 円
全体	1,164	3	19	232	222	446	101	129	7	4	1
	100.0	0.3	1.6	19.9	19.1	38.3	8.7	11.1	0.6	0.3	0.1
市 内	921	3	17	194	198	373	77	59	-	-	-
	100.0	0.3	1.8	21.1	21.5	40.5	8.4	6.4	-	-	-

準市内	62	-	-	13	7	19	9	13	1	-	-
	100.0	-	-	21.0	11.3	30.6	14.5	21.0	1.6	-	-
市外	120	-	1	24	15	45	8	25	1	-	1
	100.0	-	0.8	20.0	12.5	37.5	6.7	20.8	0.8	-	0.8
JV	59	-	1	1	2	7	7	32	5	4	-
	100.0	-	1.7	1.7	3.4	11.9	11.9	54.2	8.5	6.8	-
不明	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-

5) 08年度の業種別工事件数を市内・準市内・市外・JV別に分類した特徴

市内外・JV別の4区分からみた受注件数を受注業種との関係で特徴を見たのが表2-3-6である。市内業者は受注件数921件のうち舗装170件(全体172件の98.8%)、土木154件(全体188件の81.9%)、とび・土工92件(全体94件の97.9%)、電気85件(全体124件の68.5%)、塗装64件(全体66件の97.0%)、建築63件(全体88件の71.6%)、水道施設62件(全体87件の71.3%)、下水管61件(全体76件の80.3%)というように、この8業種で687件と市内業者の受注件数の74.8%を占めている。また全受注件数1164件の59.0%を占めている。また、件数で見ると市の主要な工事業種のうち過半数以上の件数を市内業者が受注していることになる。

表 2-3-6

08 年度業種別工事件数と市内・準市内・市外・JVとのクロス表

単位：上段件、下段%

業種	全体	市内	準市内	市外	JV	無回答
全体	1164	921	62	120	59	2
	100.0	79.1	5.3	10.3	5.1	0.2
土木	188	154	20	1	13	-
	100.0	81.9	10.6	0.5	6.9	-
下水管	76	61	2	-	13	-
	100.0	80.3	2.6	-	17.1	-
舗装	172	170	-	-	1	1
	100.0	98.8	-	-	0.6	0.6
建築	88	63	2	17	6	-
	100.0	71.6	2.3	19.3	6.8	-
電気	124	85	12	26	1	-
	100.0	68.5	9.7	21.0	0.8	-
空調・衛生	61	54	2	2	3	-
	100.0	88.5	3.3	3.3	4.9	-
水道施設	87	62	2	2	21	-
	100.0	71.3	2.3	2.3	24.1	-
造園	46	45	-	-	1	-
	100.0	97.8	-	-	2.2	-
鋼構造物	18	12	1	5	-	-
	100.0	66.7	5.6	27.8	-	-
機械	84	20	13	51	-	-
	100.0	23.8	15.5	60.7	-	-
通信	12	7	3	2	-	-
	100.0	58.3	25.0	16.7	-	-
消防	8	7	1	-	-	-
	100.0	87.5	12.5	-	-	-
塗装	66	64	-	2	-	-
	100.0	97.0	-	3.0	-	-
とび・土工	94	92	1	-	-	1
	100.0	97.9	1.1	-	-	1.1
防水	8	8	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
管内更生	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
しゅんせつ	3	-	3	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-
内装	4	4	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
建具	25	13	-	12	-	-
	100.0	52.0	-	48.0	-	-
清掃施設	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
軽微	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-

6) 08年度、市内業者の資本金階層別にみた受注業種の件数の特徴

08年度における資本金階層ごとの業者がどのような業種の工事を主に受注しているのかを市内業者に限定してみたのが表2-3-7である。

表2-3-7 市内業者の資本金階層別受注業種の件数

単位：上段・件、下段・%

資本金区分→		全体	5 百 万 円 未 満	5 百 万 円 ～ 1 千 万 円	1 千 万 円 ～ 3 千 万 円	3 千 万 円 ～ 5 千 万 円	5 千 万 円 ～ 1 億 円	1 億 円 ～ 10 億 円	10 億 円 ～ 50 億 円	50 億 円 以 上
全体		921 100.0	72 100.0	37 100.0	523 100.0	231 100.0	37 100.0	20 100.0	- 100.0	1 100.0
業 種	土木	154 16.7	23 31.9	6 16.2	89 17.0	33 14.3	2 5.4	1 5.0	-	-
	下水管	61 6.6	5 6.9	-	29 5.5	21 9.1	6 16.2	-	-	-
	舗装	170 18.5	14 19.4	6 16.2	84 16.1	59 25.5	5 13.5	2 10.0	-	-
	建築	63 6.8	4 5.6	5 13.5	28 5.4	21 9.1	4 10.8	1 5.0	-	-
	電気	85 9.2	5 6.9	10 27.0	54 10.3	12 5.2	1 2.7	3 15.0	-	-
	空調・衛生	54 5.9	7 9.7	2 5.4	36 6.9	6 2.6	1 2.7	2 10.0	-	-
	水道施設	62 6.7	2 2.8	-	26 5.0	27 11.7	6 16.2	1 5.0	-	-
	造園	45 4.9	-	-	31 5.9	11 4.8	3 8.1	-	-	-
	鋼構造物	12 1.3	4 5.6	-	7 1.3	-	1 2.7	-	-	-
	機械	20 2.2	-	-	11 2.1	2 0.9	7 18.9	-	-	-
	通信	7 0.8	-	-	4 0.8	3 1.3	-	-	-	-
	消防	7 0.8	-	2 5.4	4 0.8	-	-	-	-	1 100.0
	塗装	64 6.9	4 5.6	3 8.1	47 9.0	8 3.5	-	2 10.0	-	-
	とび・土工	92 10.0	1 1.4	-	61 11.7	21 9.1	1 2.7	8 40.0	-	-
	防水	8 0.9	-	1 2.7	4 0.8	3 1.3	-	-	-	-
	管内更生	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	しゅんせつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	内装	4 0.4	-	1 2.7	1 0.2	2 0.9	-	-	-	-
	建具	13 1.4	3 4.2	1 2.7	7 1.3	2 0.9	-	-	-	-
	清掃施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	軽微	-	-	-	-	-	-	-	-	-

市内業者の受注件数合計は 921 件であるが、資本金別に見ると資本金 1 千万円未満の小零細業者は 109 件（全体 921 件の 11.8%）を受注しているが、その主な業種は土木 29 件、舗装 20 件、電気 15 件である。塗装やとび・土工、造園などの専門業種が意外に小零細業者の受注に結びついていない。資本金 1 千万～3 千万円の市内中小業者は 523 件と全体件数の 56.8%を受注している。このクラスの主な受注業種は土木が 89 件、舗装が 84 件、とび・土工が 61 件というように土木とそれに関連する専門業種が多い。次に資本金 3 千万～5 千万円の市内中堅業者が 231 件と全体件数の 25.1%を占めている。このクラスの主な受注業種は舗装 59 件、土木 33 件、下水管 21 件、水道施設 27 件というように土木・舗装に加えて上・下水道も多い。さらに資本金が 5 千万円以上の市内大手業者になると全体件数 56 件に対してとび・土工 9 件、舗装 7 件、水道施設 7 件、下水管 6 件、塗装 8 件というように意外に専門業種を多く受注している。川崎市の市内業者は小零細業者ほど土木に近い比較的単純な工事を受注しているが、業者規模が大きくなるほど上下水道工事など専門性の高い業種を受注しているといえる。小零細業者は専門業種を直接受注するのではなく中堅・大手市内業者の下請業者として専門業種の施工に携わっていると見られる。このような小零細業者が分離・分割発注などを通じて直接受注できる仕組みをとり入れることも必要であろう。

7) 08 年度、市内・準市内・市外・J V の受注と地域区分との関係の特徴

4 つの業者区分と受注地域との関係をみたのが表 2-3-8、表 2-3-9 である。

市内、準市内、市外、J V の各業者が市内のどの行政区を重点に工事を受注しているのか、その受注件数、受注金額でみてみると、市内業者は件数では 7 区それぞれ 10% 台でほぼ平均的に工事を受注している。これを金額で見ると川崎区で 20.8%と若干多いが、その他 6 行政区では 10%～15%の間で満遍なく受注が行なわれている。これは市内業者が各行政区に散らばり、その地域で発注される工事を重点的に受注していることが推測される。これに対して準市内業者は川崎区で件数では 40%弱、金額では 60%弱と川崎区に大きく偏り、逆に高津区、宮前区、麻生区ではほとんど受注がない。市外業者も同様に川崎区に件数で 27%、金額で 75%と大きく偏っている。また J V では金額では川崎区が 40%弱とやはり川崎区に偏っているが、その他の行政区は金額では平均的に受注されている。

このように、市内業者以外の準市内、市外、J V は川崎区における主に川崎駅周辺工事や臨海部の大型工事に集中していることがうかがわれる。

表 2-3-8 業者所在地と工事地区ごとの工事件数との関係

単位：上段・件、下段・%

区分	全体	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	その他
全体	1164	250	148	162	121	141	163	137	42
	100.0	21.5	12.7	13.9	10.4	12.1	14.0	11.8	3.6
市内	921	174	115	131	106	125	127	120	23
	100.0	18.9	12.5	14.2	11.5	13.6	13.8	13.0	2.5
準市内	62	25	7	8	2	5	9	5	1
	100.0	40.3	11.3	12.9	3.2	8.1	14.5	8.1	1.6
市外	120	33	16	17	11	11	23	7	2
	100.0	27.5	13.3	14.2	9.2	9.2	19.2	5.8	1.7
JV	59	18	10	4	2	—	4	5	16
	100.0	30.5	16.9	6.8	3.4	—	6.8	8.5	27.1
不明	2	—	—	2	—	—	—	—	—
	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—

表 2-3-9 業者所在地と工事地区ごとの工事金額との関係

単位：上段・百万円、下段・%

区分	全体	川崎区	幸区	中原区	高津区	宮前区	多摩区	麻生区	その他
全体	61,710	24,897	7,208	5,724	5,810	3,666	5,812	6,215	2,379
	100.0	40.3	11.7	9.3	9.4	5.9	9.4	10.1	3.9
市内	25,197	5,230	3,256	3,220	3,023	3,523	2,978	3,287	681
	100.0	20.8	12.9	12.8	12.0	14.0	11.8	13.0	2.7
準市内	4,614	2,635	687	370	136	30	600	122	34
	100.0	57.1	14.9	8.0	3.0	0.7	13.0	2.6	0.7
市外	13,223	9,913	1,315	1,059	258	113	283	227	56
	100.0	75.0	9.9	8.0	2.0	0.9	2.1	1.7	0.4
JV	18,644	7,119	1,950	1,042	2,393	—	1,952	2,580	1,609
	100.0	38.2	10.5	5.6	12.8	—	10.5	13.8	8.6
不明	33	—	—	33	—	—	—	—	—
	100.0	—	—	100.0	—	—	—	—	—

(4) 川崎市建設業協会の会員・非会員別にみた市発注工事受注の特徴

1) 川崎市建設業協会会員・非会員別の業者数の推移

表 2-4-1
会員・非会員、市内・準市内・市外別
受注業者数

単位:社

区分		2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度
受注業者数	協会会員	99	99	92	89
	非会員市内	266	281	232	243
	非会員準市内	52	53	55	47
	非会員市外	63	69	68	69
	不明	3	1	-	2
受注業者数合計		483	503	447	450
川崎建設業協会会員数		129	129	129	129

市発注工事を受注する業者数を川崎建設業協会の会員・非会員との関係で推移をみたのが表 2-4-1 である。

全体の受注業者数は 05 年度の 483 社から 06 年度には 503 社と 20 社増加したが、07 年度には 447 社と 56 社も減少した。そして 08 年度は 450 社と若干増加した。年度により受注業者が増減する要因には発注件数の増減が大きい、受注業者が集中する場合や J V での受注の増減が考えられる。また、受注業者の倒産・廃業などの業者の減少も要因として挙げられる。

業などの業者の減少も要因として挙げられる。

この中で、協会会員数は 05 年度から 4 年間、129 社と変わらずに推移している。しかし、会員業者の中で市発注工事を受注した業者数は 05 年度、06 年度 99 社と約 77% の業者が受注を確保している。しかし、07 年度は 92 社、08 年度は 89 社と次第に受注業者数が減少し 70% 程度の受注業者比率となっている。一方、市内業者の中で非会員業者の受注業者数は 05 年度の 266 社から 06 年度 281 社へと増加するが、07 年度は 232 社と大きく減少している。

市内業者という地域要件の中で会員・非会員業者は受注をめぐる競争関係にあるが市内受注業者の中で会員業者の受注割合の推移をみると、05 年度 27.3%、06 年度 26.2%、07 年度 28.6%、08 年度 27.1% と 25%~30% の枠内に推移している。

2) 市内業者の会員・非会員別の受注金額の推移と特徴

市内業者の中で市発注工事を一件でも受注した業者数でみると、非会員業者の方が会員業者より多いにもかかわらず、受注金額でみると会員業者の方が上回っている。

表 2-4-2 は会員・非会員別に見た 05 年度からの受注金額の比較の推移を示したものである。会員業者の受注を金額でみると 05 年度 114 億円、06 年度 138 億円、07 年度 113 億円、08 年度 156 億円と全体的に増加傾向を示している。これに対して非会員業者は 05 年度 92 億円、06 年度 84 億円、07 年度 68 億円と次第に減少し、08 年度は市内業者全体の受注金額が増加したため、96 億円とまた上昇している。

これを受注業者一社あたりの受注金額の推移をみると、会員業者では 05 年度 1 億 1,400 万円、06 年度 1 億 3,800 万円、07 年度 1 億 2,200 万円、08 年度 1 億 7,300 万円と 05 年度の 1 億円強から 08 年度には 2 億円に近づいてきている。

これに対して非会員市内業者では 05 年度 3,400 万円、06 年度 3,000 万円、07 年度 3,000 万円、08 年度 4,000 万円とおおよそ一社あたり 3 千万~4 千万円程度で会員業者の 3 分の 1 から 4 分の 1 の水準である。多くの市内非会員業者にとって年間平均 3

千万～4千万円の受注規模では民間受注又は下請受注の大きく依存せざるを得なくなり、競争に晒されながらの厳しい経営を迫られていることがうかがわれる。

表 2-4-2 市内業者会員・非会員別受注金額の推移

単位：百万円、%

項目名	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
全体	20,607	100.0	22,261	100.0	18,084	100.0	25,197	100.0
会員	11,443	55.5	13,813	62.1	11,267	62.3	15,591	61.9
非会員	9,164	44.5	8,448	37.9	6,817	37.7	9,606	38.1

3) 会員業者の資本金別受注金額の推移と特徴

川崎建設業協会の会員業者を資本金別に分類し、各年度の受注金額の推移をみたのが表 2-4-3 である。資本金 1 千万円未満の小零細業者は 05 年度の 1 億 4,000 万円から 08 年度の 5,000 万円にどんどん減少傾向となっている。資本金 1 千万～3 千万円の中小業者は 05 年度の 46 億円から 08 年度の 44 億円と横ばいに推移している。これに対して資本金 3 千万～5 千万円の中堅業者は 05 年の 47 億円から 08 年度の 84 億円へと、また 5 千万円以上の大手業者は 05 年度の 20 億円から 08 年度の 27 億円へと増加傾向となっている。すなわち会員業者の中でも中小零細業者は受注減の傾向、中堅・大手業者はかなりの規模で受注を伸ばしている。

全体的に競争が激化している中で建設業協会内部においても激しい競争と淘汰のたかひが行われていることがうかがわれる。

表 2-4-3 会員業者の資本金別受注金額の推移

単位：百万円、%

項目名	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
全体	11,443	100.0	13,813	100.0	11,267	100.0	15,591	100.0
5百万円未満	80	0.7	28	0.2	42	0.4	50	0.3
5百万～1千万円未満	60	0.5	24	0.2	35	0.3	0	0.0
1千万～3千万円未満	4,595	40.2	5,242	38.0	4,107	36.4	4,390	28.2
3千万～5千万円未満	4,707	41.1	5,014	36.3	4,443	39.4	8,419	54.0
5千万～1億円未満	1,864	16.3	3,211	23.2	2,168	19.2	2,040	13.1
1億～5億円未満	137	1.2	292	2.1	465	4.1	662	4.3
5億円以上	0	0.0	2	0.0	8	0.1	30	0.2

表 2-5-1

横浜市と比較したJV工事の金額、件数の推移

川崎市

単位：百万円、件、%

	全体金額	JV金額	構成比率	全体件数	JV件数	構成比率
2005年度	45,406	10,892	24.0	1,158	31	2.7
2006年度	47,005	14,508	30.9	1,213	43	3.5
2007年度	64,276	17,425	27.1	1,120	60	5.4
2008年度	61,710	18,644	30.2	1,164	59	5.1

横浜市

単位：百万円、件、%

	全体金額	JV金額	構成比率	全体件数	JV件数	構成比率
2005年度	149,567	30,774	20.6	3,644	61	1.7
2006年度	148,344	30,367	20.5	3,445	50	1.5
2007年度	126,350	21,584	17.1	3,297	33	1.0
2008年度	92,761	18	0.0	2,941	1	0.0

(5) JV受注工事の特徴

1) 横浜市と比較し、増加傾向にあるJV工事の金額と件数

川崎市のJV工事を05年度からの推移でみると金額、件数ともに増加の方向にある。金額では05年度の109億円から08年度の186億円へと1.7倍に増加

している。全体金額に占める J V 金額も 05 年度の 24.0%から 08 年度の 30.2%へと拡大している。また件数においても 05 年度の 31 件から 08 年度の 59 件へと 2 倍に増加し、全体件数に占める比率もやはり 2 倍となっている。このように川崎市の J V 工事は金額、件数ともに増加傾向にあるのに対し、お隣の横浜市では J V 工事は縮小から廃止の方向にある。08 年度はわずか 1 件のみとなった。

大規模工事が減少してくるに従い、J V 工事も少なくなるのは当然のことである。

2) 08 年度 J V 工事一覧表からみた特徴

J V 受注工事のみを取り出して一覧表にしたのが表 2-5-2 である。08 年度の J V 受注工事の件数は合計で 59 件ある。全体件数 1,164 件に対しては 5.1%とわずかではあるが、受注金額は 186 億 4,400 万円で総受注金額 617 億 1,000 万円に対しては 30.2%と 3 分の 1 弱の受注金額を占めている。

J V 受注工事を業種別にみると最も多いのが水道施設の 21 件、次いで下水管の 13 件で上下水道管関係で 34 件と全体件数 59 件の 58%を占めている。さらに土木 13、建築 6 件、空調・衛生 3 件と続く。

次いで受注業者をみると、幹事会社が市外又は準市内で構成される J V 件数は 28 件みられる（業者名が不明確で市内 J V と判定が困難な J V 1 件を含む）。金額では 102 億 929 万円と J V 受注金額（186 億 4,400 万円）の 55.4%を占めている。これら J V が主に受注している業種は土木 11 件、下水管 6 件、水道施設 6 件などが挙げられる。

一方、市内業者のみで共同企業体を構成している J V 件数は 31 件存在する（J V 業者名を太字で記入。但し、幹事業者名が入札参加申請者名簿で複数存在し市内業者と見分けできない J V は準市内・市外に含める）。このうち 15 件は単価契約により市内業者の J V が受注している。単価契約の業種と内容を見ると、いずれも水道局発注の水道施設工事で、給水管の維持補修が 6 件、水道施設の緊急修理と路面復旧が 9 件となっている。市内業者同士の J V の年度末の変更後契約金額の合計は 84 億 3,426 万円と J V 受注金額の 45.2%を占めている。

川崎市の J V 工事は単価契約を含め、市内業者が共同企業体を構成し大規模工事を市内業者が受注できる仕組みとなっている。特に市内業者 J V が受注した工事を業種別にみると、最も多いのが水道施設の 15 件ですべて単価契約となっている。水道施設の維持補修単価契約を年度末の契約金額合計で見ると 15 億 9,722 万円となり、市内業者の受注確保に大いに貢献している。

次いで多い業種が下水管 6 件、建築 5 件となっている。建築の内容を見ると学校の大規模改修や増改築、および市営住宅の新築工事で契約金額合計が 48 億 8,120 万円と大規模な事業となっている。下水管の内容は幹線工事が主で、工法等まではわからないが、市内業者が施工能力を身につけてきていることを証明している。6 件の工事の契約金額合計は 17 億 380 万円とやはり大規模なものとなっている。いずれも一業者では困難な工事を市内業者 3 社または 4 社の共同により施工している。

表 2-5-2 JV工事一覧表

No.	件名	業種名	業者名	変更後契約金額(税込)
1	蟹ヶ谷檜ヶ崎住宅新築第5号工事	建築	大山・野州・村松・山澄 共同企業体	2,085,930,000
2	柿生中学校校舎改築工事	建築	北島・露木・佐田共同企業体	1,627,500,000
3	浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その14工事	土木	東洋・若築共同企業体	1,255,275,000
4	川崎駅前東西連絡歩道橋上屋その他整備工事ほか	建築	鹿島・五洋・重田共同企業体	1,247,400,000
5	施設再構築長沢浄水場沈でん池等築造工事	水道施設	アイザワ・織戸・河合 共同企業体	959,700,000
6	浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その13工事	土木	飛島・ノバック共同企業体	883,428,000
7	江川1号雨水幹線その5工事	下水管	前田・東洋・藤木共同企業体	813,750,000
8	浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その17工事	土木	東亜・深田サルベージ 共同企業体	811,839,000
9	大師河原7号雨水幹線その2工事	下水管	清水・鴻池・渡辺共同企業体	617,400,000
10	登戸1号雨水幹線その4工事	下水管	藤木・吉孝共同企業体	491,400,000
11	王禅寺小学校校舎増築その他工事	建築	大藤・千代田共同企業体	470,400,000
12	川崎港海底トンネル本体改良その3工事	土木	鹿島・五洋共同企業体	468,300,000
13	新川崎地区都市基盤整備(道路)その6工事ほか	土木	大成ロテック・織戸共同企業体	399,000,000
14	新川崎地区都市基盤整備(道路)その5工事ほか	土木	大林道路・小沼共同企業体	340,200,000
15	蟹ヶ谷檜ヶ崎住宅新築第5号衛生その他設備工事	空調・衛生	三興・碓井共同企業体	306,600,000
16	戸手・入江崎下水圧送管その2工事	下水管	小沼・喜美代共同企業体	290,220,000
17	宿河原2号雨水幹線その2工事	下水管	重田・大山共同企業体	283,500,000
18	新川崎地区都市基盤整備(道路)その7工事ほか	土木	大成ロテック・織戸共同企業体	283,500,000
19	渡田向町地区ほか下水枝線第108号工事	下水管	大恵・京浜共同企業体	281,400,000
20	市道川崎町田線道路改良(その2)工事ほか	土木	大成ロテック・織戸共同企業体	264,075,000
21	給水管維持その5工事(単価契約)	水道施設	浅川・丸善共同企業体	226,087,984
22	南河原下水幹線その2工事	下水管	岡村・石塚共同企業体	221,445,000
23	給水管維持その2工事(単価契約)	水道施設	小沼・日東共同企業体	218,278,725
24	宿河原1号雨水幹線その4工事	下水管	坪井・大恵共同企業体	217,213,500
25	貝塚地区ほか下水枝線第12号工事	下水管	熊谷・神明共同企業体	216,678,000
26	南河原下水幹線その1工事	下水管	織戸・森田共同企業体	205,800,000
27	堀川下水幹線その4工事	下水管	重田・重田造園共同企業体	204,225,000
28	御幸小学校大規模改修追加工事	建築	喜美代・高橋共同企業体	197,368,500
29	給水管維持その6工事(単価契約)	水道施設	丸栄・山崎共同企業体	192,066,694
30	早野聖地公園壁面型墓所(堤入池)第4期整備工事	造園	大和・都市共同企業体	179,907,000
31	柿生中学校改築冷暖房その他設備工事	空調・衛生	熱研・研空社共同企業体	178,290,000
32	川崎港海底トンネル本体改良その4工事	土木	鹿島・五洋共同企業体	165,900,000
33	水道施設等緊急修理その2工事(単価契約)	水道施設	藤原・浅川共同企業体	160,554,287
34	給水管維持その3工事(単価契約)	水道施設	追川・山崎共同企業体	151,835,583
35	新川崎地区都市基盤整備(道路)その4工事ほか	土木	大成ロテック・織戸共同企業体	151,449,900

No.	件名	業種名	業者名	変更後契約金額(税込)
36	水道施設等緊急修理その5工事(単価契約)	水道施設	重田造園・堀一共同企業体	148,547,835
37	川崎縦貫道路関連共同溝配水管布設その18工事	水道施設	大成・鹿島・戸田トンネル工事共同企業体	145,162,500
38	主要地方道東京大師横浜環境対策(低騒音)工事ほか	舗装	NIPPON・信号器材共同企業体	140,833,770
39	JR横須賀線武蔵小杉新駅交通広場整備工事ほか	土木	大道・重田造園共同企業体	135,125,340
40	麻生区内都市計画道路尻手黒川線(その5)工事ほか	土木	小沼・丸栄共同企業体	123,846,240
41	大師河原7号雨水幹線その1工事	下水管	西松・勝村トンネル・共同溝共同企業体	104,328,000
42	水道施設等緊急修理その1工事(単価契約)	水道施設	岡村・石塚共同企業体	96,680,123
43	給水管維持その4工事(単価契約)	水道施設	幸伸・横山共同企業体	96,283,975
44	水道施設等緊急修理その3工事(単価契約)	水道施設	PBS・清生共同企業体	90,047,504
45	水道施設等緊急修理その4工事(単価契約)	水道施設	幸伸・小田共同企業体	78,502,083
46	給水管維持その1工事(単価契約)	水道施設	加藤・小田共同企業体	77,580,273
47	渋川3号雨水幹線その2工事	下水管	青木あすなろ・みらい・小沼共同企業体	62,685,000
48	御幸小学校大規模改修衛生その他設備追加工事	空調・衛生	吉浜・菱沼共同企業体	52,710,000
49	市道川崎町田線道路改良整備工事	土木	大成ロテック・織戸共同企業体	49,560,000
50	水道施設等緊急修理その6工事(単価契約)	水道施設	清生・追川共同企業体	45,819,847
51	川崎縦貫道路整備共同溝配水管布設その19工事	水道施設	西松・勝村トンネル・共同溝工事共同企業体	30,901,500
52	新丸子東三丁目地区人道地下通路内装建築工事	建築	武蔵小杉駅設置南武線工区共同企業体	30,030,000
53	川崎縦貫道路共同溝配水管布設その20工事	水道施設	竹中土木・青木あすなろトンネル建設工事	26,985,000
54	給水管維持等路面復旧その2工事(単価契約)	水道施設	藤和・日東共同企業体	11,365,386
55	緊急修理等路面復旧その2工事(単価契約)	水道施設	織戸・河合共同企業体	10,067,955
56	川縦整備共同溝配水管布設伴うアンカーフレーム製作	水道施設	竹中土木・青木あすなろ共同溝建設工事	7,140,000
57	御幸小学校大規模改修電気その他設備追加工事	電気	東邦・寿共同企業体	6,562,500
58	緊急修理等路面復旧その1工事(単価契約)	水道施設	小沼・関トウ共同企業体	4,051,747
59	緊急修理等路面復旧その3工事(単価契約)	水道施設	黒川・追川共同企業体	815,584

注：太字は市内業者のみのJV。

2) J Vを構成業者に分解した、市内・準市内・市外別業者数、金額の推移と特徴

表 2-5-3

JV工市の市内・準市内・市外業者別実績の推移

単位：件、百万円、%

年度	J V 工事件数	市内外別	件数	金額	金額 構成比
05 年度	31	市内業者	41	4,543	41.7
		準市内業者	27	6,193	56.9
		市外業者	1	156	1.4
		合計	69	10,892	100.0
06 年度	43	市内業者	70	6,379	44.0
		準市内業者	21	7,739	53.4
		市外業者	2	386	2.7
		合計	93	14,504	100.0
07 年度	60	市内業者	103	11,502	65.5
		準市内業者	19	4,973	28.3
		市外業者	8	1,083	6.2
		合計	130	17,557	100.0
08 年度	59	市内業者	87	10,525	56.8
		準市内業者	33	7,505	40.5
		市外業者	3	516	2.8
		合計	123	18,545	100.0

J V工事を一件毎に構成業者の業者数および構成比率で構成業者ごとに受注金額を配分し市内・準市内・市外別に実績の推移を示したのが表 2-5-3 である。

J V工事件数は 05 年度の 31 件から年々増加し、08 年度では 59 件となっている。これを構成業者ごとに分解すると、05 年度は延 69 社で J V の平均構成業者数は 2.2 社となる。06 年度は延 93 社で J V の平均構成業者数は 2.2 社、同様に 07 年度は 130 社で 2.2 社、08 年度は 123 社で 2.1 社というように、各年度とも 2 社 J V が基本で、たまに 3 社構成の J V があるという状況である。さらに業者数を市内業者と

全体業者の比率を見ると、05 年度は全体 69 社のうち市内業者 41 社と 59.4% の構成比率である。06 年度は 93 社のうち市内業者 70 社と 75.3%、07 年度は 130 社のうち 103 社と 79.2%、08 年度 123 社のうち 87 社と 70.7% となり、J V 構成業者に占める市内業者の割合は徐々に増加している。これは市内業者のみの J V が増加していることを示している。同様に市内業者に配分される受注金額の構成比を見ても、05 年度 41.7%、06 年度 44.0%、07 年度 65.5%、08 年度 56.8% と、07 年度以降、市内業者の受注比率が過半数を占めるに至っている。

大型事業を市内業者のみの J V で実施する中で、市内業者の技術力を高める、あるいは水道局のように水道施設の緊急修理や定期的維持・補修工事を単価契約で市内の業者に J V で発注することで市内業者の安定した受注につなげることは重要な施策である。このような施策を道路関係や下水管、公営住宅などの定期点検や維持補修工事に拡大していくことが求められる。

3) J V工事を分解し工事規模別にみた市内・準市内・市外業者の推移と特徴

J V工事を構成業者ごとに構成比率で受注金額を分解した場合、各業者がどの程度の規模の工事を受注しているかを市内・準市内・市外に分類して推移を見たのが表 2-5-4 である。

表 2-5-4

JV工事を構成業者ごとの工事規模からみた市内・準市内・市外業者の件数の推移

単位:件

年度	1件当たり 契約金額	全体	50 万円 未満	50 万円 ～ 100 万円	100 万円 ～ 500 万円	500 万円 ～ 1000 万円	1000 万円 ～ 5000 万円	5000 万円 ～ 1億 円	1億 円 ～ 5億 円	5億 円 ～ 10億 円	10億 円 ～ 50億 円	50億 円 以上
05 年度	市内業者	41	1	4	2	2	3	14	13	2	-	-
	準市内業者	27	-	-	4	2	5	2	10	4	-	-
	市外業者	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	合計	69	1	4	6	4	8	16	24	6	-	-
06 年度	市内業者	70	-	-	3	5	24	18	19	1	-	-
	準市内業者	21	-	-	-	-	1	1	12	6	1	-
	市外業者	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-
	合計	93	-	-	3	5	25	20	32	7	1	-
07 年度	市内業者	103	-	1	15	2	11	36	35	3	-	-
	準市内業者	19	-	-	4	2	2	-	7	3	1	-
	市外業者	8	-	-	2	1	-	-	5	-	-	-
	合計	130	-	1	21	5	13	36	47	6	1	-
08 年度	市内業者	87	2	-	5	3	20	21	33	2	1	-
	準市内業者	33	-	-	2	-	8	4	14	5	-	-
	市外業者	3	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-
	合計	123	2	-	7	3	29	25	49	7	1	-

各年度とも市外業者の件数は1件~3件と極端に少ないため、JVの構成は準市内と市内、または市内と市内のJVがほとんどといえる。その中で工事規模から見ると、各年度とも市内業者の工事規模には小規模が多い。05年度では一件1千万円未満が9件、06年度は8件、07年度は18件、08年度は10件もあるが、準市内業者では07年度6件、08年度2件のみである。これは準市内と市内のJVにおいて準市内が幹事会社となり、その構成比率も幹事会社に高く設定されたものとみられる。同時に市内業者の受注金額が1億円以上の件数をみると、05年度15件、06年度20件、07年度38件、08年度36件というようにJVを組むことによって大型工事に参入できるとともに、自らの構成比率も単独では受注できない高い金額規模の受注実績を確保している。そしてJV件数が増加するとともに、1億円以上の件数も増加してきている。

(6) 単独受注工事全体の特徴

1) 単独受注工事の推移と特徴

JV工事を構成業者に振り分けた全体工事と単独受注工事の件数と金額を比較した推移を示したのが表2-6-1である。

件数でみる限り、受注の件数比率は05年の97.0%から少しずつ下落をしているが08年度で94.8%とそのほとんどが単独受注ということが出来る。しかし、金額比率で見ると05年度の75.9%から徐々に低下し08年度では69.7%とほぼ7割となり、3割

がJVでの受注となっている。

表 2-6-1 単独受注工事の件数と金額の推移

単位：件、百万円、%

		2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
		実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
全体	件数	1,158	100	1,213	100	1,120	100	1,164	100
	金額	45,406	100	47,005	100	64,276	100	61,710	100
単独	件数	1,123	97.0	1,168	96.3	1,059	94.6	1,103	94.8
	金額	34,485	75.9	32,490	69.1	46,847	72.9	43,033	69.7

2) 08年度受注上位50社の一覧表からみる特徴

08年度の単独受注にJV受注を各構成業者に分解して加算した各業者の受注金額のうち受注金額上位50社を一覧表にしたのが表2-6-2である。08年度に川崎市から最も多く受注した業者は市外業者のJFE環境ソリューションズである。件数で10件、受注金額では58億9,200万円と単独受注総額の13.7%を占める。そのすべてが清掃施設工事であるが、このうち1件50億400万円の浮島処理センター工事をはじめ6件を随意契約で受注している。

上位50社の単独受注業者のうちJFE環境ソリューションをはじめ電気・機械メーカーの受注は9社を占め、その受注総額は108億1,700万円と、単独受注総額の25.2%を占めている。

単独受注業者上位50社を市内・準市内・市外別に見ると、市内業者が29業者を占め、受注件数では206件と50社の全件数277件の74.4%、受注金額では185億8,900万円と50社の全金額378億2,800万円の49.1%を占めている。このように単独受注上位50社の中に市内業者が半数以上を占め、受注金額でも50%弱を占めるといように上位受注業者に相当食い込んでいるといえる。

一方、市外業者は30件、93億5,900万円、準市内業者は38件、90億2,200万円という状況である。

次に、上位50社の市内業者の中で川崎市建設業協会の会員、非会員の状況を見てみる。会員業者は27社となっている。このように単独受注上位50社のうち、過半数が市内の会員業者ということになり、市内の非会員業者はわずか2社しか含まれていない。会員業者の受注件数は198件で一業者あたり平均7件強を受注している。会員業者の受注総額は178億9,800万円で1件あたり平均9,039万円となる。川崎市建設業協会に加入する会員業者は合計で129社あり、そのうち08年度に川崎市発注工事を受注した業者は90社であり、さらにそのうち単独受注上位50社に含まれるのは27社ということになる。これらの業者は年間平均7件強を受注している市内の有力な会員業者ということになる。

表 2-6-2 受注業者上位 50 社の一覧表

単位：件、百万円

ランキング		商号	市内 準市内 市外	横浜 建設業 協会	件数	契約金額 (百万円)
20 年度	19 年度					
		総計(450社)			277	37,828
1	18	J F E環境ソリューションズ	市外	非会員	10	5,892
2	29	株式会社小沼工務店	市内	会員	17	1,501
3	5	株式会社大藤建設	市内	会員	12	1,429
4	51	株式会社大山組	市内	会員	8	1,416
5	47	鹿島建設株式会社	準市内	非会員	6	1,350
6		荏原環境プラント株式会社	市外	非会員	3	1,159
7	14	東洋建設株式会社	準市内	非会員	2	1,123
8	8	株式会社重田組	市内	会員	8	1,062
9		東亜建設工業株式会社	準市内	非会員	4	1,038
10	22	株式会社織戸組	市内	会員	12	1,024
11		株式会社竹中土木	準市内	非会員	4	999
12	202	株式会社北島工務店	市内	会員	1	895
13		大成ロテック株式会社	準市内	非会員	6	880
14	28	幸伸工業株式会社	市内	会員	11	842
15	68	藤木工業株式会社	市内	会員	4	730
16	77	株式会社喜美代建設	市内	会員	3	664
17	9	株式会社トモエコーポレーション	市内	会員	25	639
18	7	大恵建設株式会社	市内	会員	5	633
19	17	五洋建設株式会社	準市内	非会員	3	628
20		野州工業株式会社	市内	会員	1	626
21		飛島建設株式会社	準市内	非会員	1	618
22	35	株式会社横山工務店	市内	会員	6	612
23	3	株式会社東芝	準市内	非会員	6	582
24		アイサワ工業株式会社	準市内	非会員	1	576
25	177	株式会社銚子塚建設	市内	会員	5	531
26	10	三菱重工環境エンジニアリング	市外	非会員	5	519
27	40	藤原建設株式会社	市内	会員	6	509
28	238	株式会社デック	市外	非会員	4	498
29	43	株式会社吉孝土建	市内	会員	5	494
30		メタウォーター株式会社	市外	非会員	4	492
31		露木建設株式会社	市内	会員	1	488
32	16	岡村建興株式会社	市内	会員	5	480
33	11	扶桑建設工業株式会社	市外	非会員	2	466
34	36	重田造園土木株式会社	市内	会員	11	454
35		前田建設工業株式会社	準市内	非会員	1	448
36	37	株式会社澤田組	市内	会員	6	443
37		株式会社正興電機製作所	市外	非会員	3	442
38	24	株式会社荏原由倉 hidroテック	市外	非会員	2	410
39		大林道路株式会社	準市内	非会員	2	403
40		株式会社ハヤカワ	市内	会員	3	378
41		若築建設株式会社	準市内	非会員	1	377
42	31	株式会社ヤマチョウ	市内	会員	5	371
43	26	株式会社渡辺土木	市内	会員	5	361
44	34	加藤土建株式会社	市内	非会員	4	346
45	56	京浜メンテナンス株式会社	市内	非会員	4	345
46	364	清水建設株式会社	準市内	非会員	1	340
47	33	河合土木株式会社	市内	会員	5	338
48	88	河崎組建設業株式会社	市内	会員	7	337
49	102	藤和建興株式会社	市内	会員	9	327
50	76	大道産業株式会社	市内	会員	12	316

注：太字はメーカ受注工事。

第3章 2008年度川崎市発注工事の入札・契約面からみた特徴

次に、川崎市発注工事を入札参加者との関係や入札形態、落札率など主に入札・契約面からの特徴をみることにする。

(1) 市発注工事のランク別競争入札への参加条件の仕組みについて

1) 業種別格付一覧の仕組み

川崎市は2年に一度、表3-1-1に示された業種別格付一覧表を発表する。これは07～08年度における業者の経営事項審査点数をもとに主要7業種をA～Dのランク別に分類した表である。主要7業種のうち土木、下水管きよ、建築はA、B、C、Dの4つのランクに分類されているが、舗装、電気、空調・衛生、水道施設はA、B、Cの3つのランクにしか分類されていない。経営事項審査とは、建設業者の経営状況を評価する経営状況分析（Y点）と経営規模、技術的能力、その他の客観的事項を評価する経営規模等評価（XZW点）がある。経営状況分析と経営規模等評価の結果により算出した各項目を総合的に評価したのが総合評価値（P点）となり、このP点により業種別格付が決まることになる。川崎市はP点をこれまでの実績等を踏まえA～DないしA～Cに区分しているが、その点数により業者の入札参加可能性が制約されることになる。

また、川崎市は主要7業種以外の24業種はランク分類することなく、経審点数に関係なくどの業者も入札参加できる。そのため、中小と大手が同じ土俵上で競争することになり、公正な受注競争がなされない可能性がある。業者アンケート結果の自由回答においても、業者サイドから問題が投げかけられているので紹介する。

表 3-1-1

平成19・20年度 業種別・格付一覧

業種 \ 格付	A	B	C	D
土木	850点以上	755点以上	670点以上	670点未満
下水管きよ	840点以上	690点以上	640点以上	640点未満
舗装	760点以上	690点以上	690点未満	-----
建築	865点以上	795点以上	700点以上	700点未満
電気	820点以上	735点以上	735点未満	-----
空調・衛生	785点以上	695点以上	695点未満	-----
水道施設	760点以上	660点以上	660点未満	-----

《業者アンケートから》

「Aランクにおいて、業者数を確保する必要はあると思うが、Aの最低と最高では、経審の点数はもちろん、実態として会社の規模が違いすぎる」

「ランクをつける際、経審の点数だけで行なっているため、当社（特定建設業でない一般建設業）のような規模で、Aランクになってしまうことがある。現場代理人の専

任だったり、下請金額の制限もあるので、Aランクの仕事は事実上無理である。ランク付けの際、企業規模も参考にしてほしい」

「業者のランク分けをしっかりと行ない、中小と大手が同じ入札にならないようにする。通信においては、ランク分けされていないので、早急にランク分けしてほしい。」

2) 入札参加申請業者の業種別、地域別、ランク別実態の特徴

表3-1-2は川崎市が07年度～08年度に業種別入札参加申請書を受理した業者の経審点数をもとに、業種別・格付一覧によって業種別、地域別、ランク別に分類した業者数の一覧表である。

入札参加業者はそれぞれ業種区分ごとに何種類もの入札参加申請書を提出しているため、業種ごとに合計すると4,837業者となり、一業者あたり平均でみると2以上の業種に申請書を出していることになる。最も多く参加申請が出されている業種は土木の616業者、次いで工事電気の453業者、ついで建築の410業者となっているが、土木・建築を総合建設業とみるとこの合計で1,026の参加申請書が提出されている。一方、それ以外の専門業種には3,811の参加申請書が提出されており、専門業種への参加申請が総合建設業の3倍以上の参加申請となっている。

次に入札参加申請業者を地域別に見ると、市外業者が2,274社、市内業者が1,825社、準市内業者が738社となっている。市外業者は一業者あたり2.3業種に参加申請を出し、市内業者は一業者あたり2.4業種に参加申請を出し、準市内業者は一業者あたり3.0業種に参加申請を出していることになる。これで見ると、市外業者、準市内業者が市内業者と同様またはそれ以上に入札参加に積極的だということがいえる。市外業者が市内業者以上に入札参加申請業者が多い業種を見ると、土木、工事電気、空調衛生、水道施設、鋼構造物、機械、通信、消防、管内更生、浚渫、建具、さく井、タイル、板金、屋根、大工、清掃施設がある。主に市内業者では困難な電気・機械・設備および特殊工事が多いが、タイル、板金、屋根、大工など市内業者でも十分可能と見られる業種にも市外業者が積極的に入札参加を試みている。また、準市内業者が市内業者以上に入札参加申請業者の多い業種を見ると、鋼構造物、通信、浚渫、清掃施設がある。これら業種も市内業者では困難と思われる特殊技術や大型機械を要する工事が多い。

次に業者ランクを業種、地域との関係でみる。

業者をランク区分している業種は、土木、下水管、舗装、建築、工事電気、空調衛生、水道施設の7業種で、それ以外の24業種はランク分類していない。この理由としては、これまで発注件数が少なかった業種のため、またはこれまで比較的工事規模が一定の業種であったため、などが考えられるが、ランク区分していない業種はその理由を明確にする必要がある。また、ランク区分している業種の中で4ランクに分類されている業種は土木、下水管、建築の3業種で、3ランクに分類されているのが舗装、工事電気、空調衛生、水道施設である。この理由も明確にする必要がある。

Aランク業者は合計で1,505社であるが、このうち市外業者861社でAランク業者全体の57.2%を占めており、市内業者228社(同15.1%)、準市内業者416社(同27.6%)に比べ圧倒的に多い。

これに対し、Bランク業者は合計で574社であるが、このうち市内業者が342社とBランク業者全体の59.6%を占め、市外業者202社(同35.2%)、準市内業者30社(同5.2%)に比べ圧倒的に多い。さらにCランク業者では合計536社のうち、市内業者が396社とCランク業者全体の73.9%を占め、市外業者120社(同22.4%)、準市内業者20社(同3.7%)となっている。Dランク業者では全体業者203社のうち、市内業者が159社と全体の78.3%を占めており、Cランク、Dランクともに市内業者が圧倒的に多い。しかし、B、C、Dランクにおいても市外業者・準市内業者が30%~40%を占めている現状のランク制について問題がないかよく検討する必要がある。

表 3-1-2 07 年度～08 年度入札参加申請者の地域別業種別、ランク別分類

業種	業種数	市外業者		市内業者		準市内業者	
		ランク	業者数	ランク	業者数	ランク	業者数
土木	616		287		229		100
		A	184	A	29	A	84
		B	54	B	58	B	10
		C	30	C	74	C	6
		D	19	D	68	D	0
下水管	325		113		145		67
		A	80	A	31	A	65
		B	21	B	79	B	2
		C	7	C	18	C	0
		D	5	D	17	D	0
舗装	356		125		179		52
		A	93	A	40	A	48
		B	18	B	60	B	3
		C	14	C	79	C	1
建築	410		168		171		71
		A	107	A	23	A	59
		B	23	B	23	B	5
		C	20	C	51	C	5
		D	18	D	74	D	2
工事電気	453		257		134		62
		A	195	A	32	A	51
		B	32	B	27	B	6
		C	30	C	75	C	5
空調衛生	299		124		118		57
		A	82	A	31	A	53
		B	31	B	33	B	3
		C	11	C	54	C	1
水道施設	359		151		149		59
		A	120	A	42	A	56
		B	23	B	62	B	1
		C	8	C	45	C	2

業種	業種数	市外業者		市内業者		準市内業者	
		ランク	業者数	ランク	業者数	ランク	業者数
造園	190		79		94		17
鋼構造物	146		89		19		38
機械	320		252		36		32
通信	230		155		33		42
消防	96		37		36		23
塗装	137		50		75		12
とび土工	314		140		144		30
防水	75		27		42		6
管内更生	45		28		13		4
浚渫	66		26		8		32
内装	106		48		52		6
建具	29		12		11		6
さく井	16		12		2		2
タイル	12		9		3		0
熱絶縁	1		1		0		0
板金	3		2		1		0
石	12		1		11		0
ガラス	8		3		5		0
屋根	8		7		1		0
左官	1		0		1		0
大工	11		6		5		0
鉄筋	2		0		2		0
清掃施設	48		38		3		7
軽微	143		27		103		13
合計	4837		2274		1825		738
		A	861	A	228	A	416
		B	202	B	342	B	30
		C	120	C	396	C	20
		D	42	D	159	D	2
		なし	1049	なし	700	なし	270

3) 市発注工事のランク別発注標準について

川崎市では予定価格 250 万円以上の工事について、表 3-1-3 のような業種別に業者ランクにもとづく発注標準金額を決めている。例えば、土木工事ではAランク業者は6,000 万円以上の予定価格工事に入札参加できるという仕組みである。Aランク業者がB等級の工事に入札参加することは基本的にはできない仕組みになっている。このよ

表 3-1-3

等級区分に対応する発注標準金額(工事請負契約)

業種	等級	発注標準金額
土木工事	A	6,000 万円以上
	B	2,000 万円以上 6,000 万円未満
	C	1,000 万円以上 2,000 万円未満
	D	1,000 万円未満
下水管きょ工事	A	7,000 万円以上
	B	3,000 万円以上 7,000 万円未満
	C	700 万円以上 3,000 万円未満
	D	700 万円未満
舗装工事	A	3,000 万円以上
	B	1,000 万円以上 3,000 万円未満
	C	1,000 万円未満
建築工事	A	3 億円以上
	B	7,000 万円以上 3 億円未満
	C	1,300 万円以上 7,000 万円未満
	D	1,300 万円未満
電気工事	A	5,000 万円以上
	B	1,500 万円以上 5,000 万円未満
	C	1,500 万円未満
空調衛生工事	A	5,000 万円以上
	B	1,500 万円以上 5,000 万円未満
	C	1,500 万円未満
水道施設工事	A	6,500 万円以上
	B	2,500 万円以上 6,500 万円未満
	C	2,500 万円未満
その他の工事	等級区分なし。	

出所：川崎市「川崎市競争入札参加者選定規程」。

ある。さらに主要 7 業種以外は業者ランクが設定されていないため、発注標準金額も設定されていない。予定価格の小規模な工事にも市外業者や大手業者が参入できる仕組みとなっているが、もう少しきめ細かく業者ランクと発注標準を決める必要がある。

(2) 業種別、地域別、ランク別入札の実態の推移と特徴

1) 地域別、ランク別の受注件数と金額の実態の特徴

05 年度から 4 年間の地域別、ランク別の受注件数と金額を示したのが表 3-2-1 である。まずランク別に各年度の金額を見ると最も受注量の多いランクは A ランク業者で年度受注総額の半数前後を占めている。A ランク業者を地域別に見ると市内業者と準市内業者が金額面で拮抗している。05 年度は市内が 45.7%、準市内が 47.0%、06 年度は市内が 49.8%、準市内が 49.3%、07 年度は市内が 49.1%、準市内が 45.7%、08 年度は市内が 56.4%、準市内が 38.7% というように、次第に A ランクにおける市内業者の受注比率が高くなってきている。一方 B、C、D ランクにおいては圧倒的に市内業者の受注金額が多くなっている。しかし、金額合計をみると、B ランクで 50 億円前後、C ランクで 15 億~20 億円、D ランクでは 5 億~6 億円と A ランクに比較して余りにも少ない。しかし、表 3-1-2 にあるように入札参加申請を行なった市内業者数は A ランクが 228 社、B ランクが 342 社、C ランクが 396 社、D ランクが 159 社となっ

うに川崎市の入札制度の仕組みは、地域要件による市内・準市内・市外という区分および業種別業者ランクと発注標準による区分の 2 通りの条件による競争入札形態をとっている。しかし、地域要件はすべての発注工事に適用されるわけではない。また、業者ランクと発注標準金額との妥当性についても実態に照らして検討する必要がある。例えば A ランク業者は 6,000 万円以上の土木工事に入札参加できるが、もう少し下限を引き上げる必要はないのか。C ランク業者は土木工事の 1,000 万円以上 2,000 万円未満となっているが枠が狭すぎるのではないかと、などの問題である。

このランク毎の発注標準の決め方がどのようなルールに基づいているのか明確にする必要がある。

ており、B～Dランクは業者数の多さに対して発注金額が少ないと言わなければならない。特に市内業者は川崎市の工事に多くを依存しており、市内中小零細業者向けにB～Dランクへの事業量を増大させる工夫が必要である。

次にランクなしの工事は合計でみると、05年度111億円、06年度89億円、07年度237億円、08年度144億円と年度によってバラツキがあるが、Aランクに次いで受注量が多い。そしてこれを最も多く受注しているのは市外業者で準市内業者との合計で見ると、05年度は86億円(ランクなし合計の77.5%)、06年度は60億円(同67.4%)、07年度は214億円(同90.3%)、08年度は112億円(同77.8%)というように市外、準市内業者の独壇場となっている。結果的にランク分類しないことにより、市外の大手業者に有利な競争条件となっていることがうかがわれる。

アンケート結果を見ても、市内業者優先発注への改善施策では「発注標準の改善とランク別業者数に見合った発注工事量の確保」に注目が集まっている。

表 3-2-1 地域別、ランク別の受注件数と金額の推移

単位：件、千円

		市内業者		市外業者		準市内業者		合計	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
Aランク	2005年度	113	9,753,730	17	1,553,938	45	10,039,321	175	21,346,989
	2006年度	117	11,917,321	20	214,379	46	11,818,573	183	23,950,273
	2007年度	99	13,163,975	26	1,370,068	61	12,272,574	186	26,806,617
	2008年度	127	17,098,889	25	1,486,363	63	11,723,053	215	30,308,305
Bランク	2005年度	181	5,004,270			1	12,390	182	5,016,660
	2006年度	217	5,852,684	2	8,232	1	3,108	220	5,864,024
	2007年度	197	4,580,621			5	144,417	202	4,725,038
	2008年度	202	5,188,747	2	15,561	1	41,359	205	5,245,667
Cランク	2005年度	210	1,674,435	1	5,880			211	1,680,315
	2006年度	211	1,693,839					211	1,693,839
	2007年度	172	1,451,975					172	1,451,975
	2008年度	208	2,102,274					208	2,102,274
Dランク	2005年度	109	563,589					109	563,589
	2006年度	116	583,107					116	583,107
	2007年度	110	584,758					110	584,758
	2008年度	86	494,949					86	494,949
ランクなし	2005年度	218	2,535,861	60	4,503,311	33	4,100,360	311	11,139,532
	2006年度	264	2,911,659	58	3,889,187	31	2,093,113	353	8,893,959
	2007年度	233	2,249,297	50	16,396,008	27	5,016,353	310	23,661,658
	2008年度	262	3,248,884	48	9,467,652	18	1,682,282	328	14,398,818
合計	2005年度	831	19,531,885	78	6,063,129	79	14,152,071	988	39,747,085
	2006年度	925	22,958,610	80	4,111,798	78	13,942,766	1083	41,013,174
	2007年度	811	22,030,626	76	17,766,076	93	17,433,344	980	57,230,046
	2008年度	885	28,133,743	75	10,969,576	82	13,446,694	1042	52,550,013

注：但し、水道局、交通局、病院局は含まれていない。

(参考)市内業者優先発注にする上での改善内容(業者アンケートより)

	回答数	構成比
大規模工事を可能な限り分離・分割発注し、市内業者が受注できるようにする	29	26.9%
発注標準の改善とランク別業者数に見合った発注工事量の確保	27	25.0%
地域要件を強化して、市外、準市内業者の入札参加を制限	22	20.4%
総合評価方式の評価項目に地域要件のポイントを高くする	12	11.1%
主観評価制度をより活用	7	6.5%
市内業者同士のJ V (共同企業体)を増やす	6	5.6%
準市内業者という地域区分をなくし市外業者とする	2	1.9%
無回答	3	2.8%
合計	108	100.0%

2) 08年度の業種別に見たランク別、地域別の受注実態

08年度の業種を中心に受注金額をランクと地域との関係で実態を示したのが表3-2-2である。まず業種別で最も受注金額の多いのは土木の104億円である。これをランク別・地域別にみると、最も多く受注しているのは準市内Aランクの75億円で、次いで市内Bランク、Aランクの約9億円、次いで市内Cランクの約6億円となっている。

土木に次いで受注量の多いのが建築の102億円である。このうち市内Aランクが66億円、次いで準市内Aランクが13億円、次いで市内Bランクが12億円と続く。土木・建築という総合業種では、比較的市内業者が施工可能な案件が多いはずであるが、土木では準市内Aランクが件数で39件と1件平均2億円程度の工事を受注している。この点ではランクとともにいっそう地域要件を重視する必要がある。また建築では比較的市内業者が健闘しているが、その中でC、Dランク業者の受注量が少ない。やはり、市内業者の中でも小零細業者の受注しやすい発注標準の見直しが求められる。同様に下水管では市内A、Bランク業者が多く受注しているが、C、Dランク業者の受注は皆無である。小零細業者への配分のための分離分割発注を含めた工夫が必要である。

また、ランク区分のない業種のうち機械は全体48億円のうち市外が33億円、準市内が13億円と市内業者以外が96%を受注している。この点ではさまざまな市内業者への発注の工夫が必要である。

表 3-2-2 08 年度業種別、地域別、ランク別受注件数、金額一覧表

単位：件、千円

業種	契約総件	契約総金額	市内業者			市外業者			準市内業者		
			ランク	件数	金額	ランク	件数	金額	ランク	件数	金額
土木	225	10,449,379	A	15	921,404	A			A	39	7,500,349
			B	48	949,074	B			B	1	41,359
			C	49	622,244	C			C		
			D	73	414,947	D			D		
下水管	77	8,262,284	A	34	5,124,465	A			A	7	1,951,842
			B	36	1,185,977	B			B		
			C			C			C		
			D			D			D		
舗装	185	2,983,231	A	30	1,205,366	A			A	2	179,603
			B	75	1,124,270	B			B		
			C	78	473,992	C			C		
建築	81	10,249,407	A	19	6,630,703	A	16	520,894	A	5	1,290,964
			B	12	1,194,651	B			B		
			C	16	532,193	C			C		
			D	13	80,002	D			D		
電気	87	3,596,669	A	11	1,242,231	A	8	961,091	A	8	758,146
			B	16	324,020	B	1	5,586	B		
			C	43	305,595	C			C		
空調・衛生	59	2,610,227	A	18	1,974,720	A	1	4,378	A	2	42,149
			B	15	410,755	B	1	9,975	B		
			C	22	168,250	C			C		
業種	約総件	契約総金額	市内業者		市外業者		準市内業者				
			件数	金額	件数	金額	件数	金額			
造園	51	993,929	51	993,929							
鋼構造物	3	295,636	2	68,611			1	227,025			
機械	58	4,836,849	13	197,095	34	3,337,479	11	1,302,275			
通信	11	126,100	7	78,487	2	16,968	2	30,645			
消防	7	83,755	6	79,713			1	4,042			
塗装	66	692,449	66	692,449							
とび土工	93	821,909	93	821,909							
防水	8	187,897	8	187,897							
しゅんせつ	3	118,295					3	118,295			
内装	4	14,322	4	14,322							
建具	4	80,710	4	80,710							
清掃施設	12	6,113,205			12	6,113,205					
軽微	8	33,762	8	33,762							
合計	1,042	52,550,013	885	28,133,743	75	10,969,576	82	13,446,694			
			Aランク合計	127	17,098,889	25	1,486,363	63	11,723,053		
			Bランク合計	202	5,188,747	2	15,561	1	41,359		
			Cランク合計	208	2,102,274						
			Dランク合計	86	494,949						
			ランクなし合計	262	3,248,884	48	9,467,652	18	1,682,282		

(3) 工事契約の入札形態との関係からみた特徴

1) 入札形態の推移と特徴

川崎市では08年4月に「川崎市一般競争入札実施要綱」が改定施行された。その第2条では、一般競争入札の対象が概ね1千万円以上の工事とすることが定められた。但し、第2項において「財政局長と工事担当局長の協議により、一般競争入札に付することが適当でないとする場合は、他の契約方法により実施することができるものとする」と若干柔軟な姿勢がとられている。

川崎市の公共工事に関する入札形態は一般競争入札と指名競争入札及び随意契約に

分けられている。表 3-3-1 は 05 年度から 4 年間の入札形態別落札件数の推移である。

件数では 05 年度では指名競争入札が 818 件と全体件数の 70.6% を占め圧倒的に指名競争入札が中心であった。しかし、06 年度以降は一般競争入札と指名競争入札の件数は拮抗から少しずつ一般競争入札が多くなり、08 年度では一般競争入札 636 件に対して、指名競争入札 455 件というように件数においても一般競争入札が主体となってきた。

一方、入札形態別に落札金額の推移を見たのが表 3-3-2 である。金額ベースでは 05 年度においてすでに一般競争入札が 319 億円と全体の 70.4% を占め、指名競争入札は 89 億円と 19.7% を占めるに過ぎない。さらにその差は年度ごとに開き、08 年度には一般競争入札が 80.8%、指名競争入札が 4.6% と圧倒的に一般競争入札が主流となってしまった。

同時に入札形態で注目されるのが随意契約である。表 3-3-1 の件数ベースでは 05 年度の 97 件から 08 年度では 72 件と縮小傾向を示しているのであるが、表 3-3-2 の金額ベースでは 05 年度の 45 億円から 08 年度は 90 億円へと 2 倍化している。一方で競争促進的な一般競争入札を大幅に増大させながら、もう一方で競争制限的な随意契約が増大しているという複雑な入札形態が進行しているといえる。

表 3-3-1 入札形態別落札件数の推移

単位：件、%

区分	2005 年度		2006 年度		2007 年度		2008 年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
全体	1,158	100.0	1,213	100.0	1,120	100.0	1,164	100.0
一般競争入札	243	21.0	565	46.6	558	49.8	636	54.6
指名競争入札	818	70.6	555	45.8	483	43.1	455	39.1
随意契約	97	8.4	93	7.7	79	7.1	72	6.2
不明	-	-	-	-	-	-	1	0.1

表 3-3-2 入札形態別落札金額の推移

単位：百万円、%

区分	2005 年度		2006 年度		2007 年度		2008 年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
全体	45,406	100.0	47,005	100.0	64,276	100.0	61,710	100.0
一般競争入札	31,944	70.4	41,857	89.0	60,003	93.4	49,862	80.8
指名競争入札	8,948	19.7	3,014	6.4	2,400	3.7	2,829	4.6
随意契約	4,514	9.9	2,135	4.5	1,874	2.9	9,019	14.6
不明	-	-	-	-	-	-	1	0.0

表 3-3-3 入札形態別 1 件あたりの落札金額の推移

単位：百万円

区分	2005 年度	2006 年度	2007 年度	2008 年度
全体	39	39	57	53
一般競争入札	131	74	108	78
指名競争入札	11	5	5	6
随意契約	47	23	24	125
不明	-	-	-	1

また、表 3-3-3 は一件あたりの平均落札金額を入札形態別に推移をみたものである。指名競争入札では 05 年度は一件あたり 1 千万円を超えていたが、06 年度からは一件平均 500 万円～600 万円と「実施要綱」どおり小額工事のみになってきている。

一方、一般競争入札は概ね 1 千万円以上となるに従い、05 年度の一件あたり 1 億 3 千万円から 08 年度 7 千 800 万円へとレベルが下降してきている。

ところが、随意契約は 05 年度には一件あたり平均 4,650 万円だったのが、08 年度では一件あたり平均 1 億 2,500 万円と大規模になっている。随意契約の実態は別途言及するとして、3 つの入札形態の大きな変化がこの 4 年間で実行されたということがわかる。

2) 08 年度の入札形態を工事規模からみた特徴

08 年度から一般競争入札は原則として、予定価格（税込）が 1 千万円以上の案件について実施されているが、実際の発注価格との関係で入札形態をみたのが表 3-3-4 である。これで見ると、一般競争入札において、1 千万円未満工事が 16 件あるが、圧倒的に集中しているのが発注価格 1 千万円以上 5 千万円未満で 395 件と全体件数（636 件）の 62.1%を占めている。これに対して指名競争入札は 1 千万円以上が 21 件あるが、1 百万円以上 5 百万円未満が 218 件と全体件数（453 件）の 48.1%を占め、さらに 5 百万円以上 1 千万円未満が 194 件（同 42.8%）というように、1 百万円以上 1 千万円未満の工事に 90.9%とこの枠内に集中している。但し、1 千万円以上が 21 件含まれている。これらが財政局長と工事担当局長の協議により決められたということになるが、その理由の妥当性を明確にする必要があるだろう。

さらに随意契約を見ると 1 千万円以上 5 千万円未満が 32 件と全体（72 件）の 44.4%とこの領域に集中しているが、一方で 50 億円以上の規模の工事が一件随意契約で落札しているのを含め、1 億円以上の大規模工事において随意契約が 10 件存在する。

表 3-3-4 発注工事規模と入札形態

単位：上段・件、下段・%

1 件当たり 工事金額→	全 体	50 万 円 未 満	50 万 円 ～ 1 百 万 円	1 百 万 円 ～ 5 百 万 円	5 百 万 円 ～ 1 千 万 円	1 千 万 円 ～ 5 千 万 円	5 千 万 円 ～ 1 億 円	1 億 円 ～ 5 億 円	5 億 円 ～ 10 億 円	10 億 円 ～ 50 億 円	50 億 円 以 上
全体（件数）	1164	3	19	232	222	446	101	129	7	4	1
全体（比率）	100.0	0.3	1.6	19.9	19.1	38.3	8.7	11.1	0.6	0.3	0.1
一般競争入札	636	-	-	2	14	395	95	120	6	4	-
	100.0	-	-	0.3	2.2	62.1	14.9	18.9	0.9	0.6	-
指名競争入札	455	3	17	218	196	19	1	1	-	-	-
	100.0	0.7	3.7	47.9	43.1	4.2	0.2	0.2	-	-	-
随意契約	72	-	1	12	12	32	5	8	1	-	1
	100.0	-	1.4	16.7	16.7	44.4	6.9	11.1	1.4	-	1.4
不明	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

3) 08年度の入札形態を資本金階層から見た特徴

次に入札形態別、資本金階層別に工事件数を見てみたのが表 3-3-5 である。一般競争入札で最も多く受注している資本金階層別の業者は資本金 1 千万円以上 3 千万円未満の業者で全体 636 件のうち 260 件 (40.9%)、資本金 3 千万円以上 5 千万円未満業者が 186 件 (同 29.2%) を受注し、この両階層で全体件数の 70.1% を受注している。

一方、指名競争入札では資本金 1 千万円以上 3 千万円未満の業者が 270 件と全体件数 455 件の 59.2% を受注している。特に資本金 3 千万円未満業者が指名競争入札全体の 77.1%、351 件を受注していることになる。このように指名競争入札は市内の中小零細業者によって行なわれているが、一方でこの階層の業者が一般競争入札の 45.7%、290 件を受注していることになり、これまでより厳しい競争入札の環境におかれつつあるといえる。

さらに随意契約では、資本金 50 億円以上の大企業の 10 件を含め、資本金 1 億円以上の大手・中堅業者が 36 件 (同 52.2%) も競争を排除した入札形態で受注している。

業者アンケートにおいても一般競争入札の予定価格の下限を引き下げることにについて過当競争防止の視点から意見が出されているので紹介する。

《業者アンケートより》

「一般競争入札をやめて指名競争入札に替えればよい。直近に受注した業者は指名からはず

「指名制度の再開。不適格業者も一般競争入札では参加可能なため」

「過当競争を防止するには、全ての公共工事を指名入札として、工事金額は行政で決定。行政の出した金額で施工可能な業者が受注。施工可能な業者が複数いる場合、くじ引きにすればよい。公平性が守られ、無理な金額で受注しなくても良くなる。今は、公共工事も民間工事も少なくなっていて、競争するなということ自体、無理がある」

表 3-3-5 入札形態別、資本金階層別契約件数

単位：件、%

資本金区分	件数					構成比				
	全体	一般競争	指名競争	随意契約	不明	全体	一般競争	指名競争	随意契約	不明
全体	1,164	636	455	72	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
5 百万円未満	75	22	52	1	-	6.4	3.5	11.4	1.4	-
～1 千万円満	37	8	29	-	-	3.2	1.3	6.4	-	-
～3 千万円未満	537	260	270	7	-	46.1	40.9	59.3	9.7	-
～5 千万円未満	243	186	52	4	1	20.9	29.2	11.4	5.6	100.0
～1 億円未満	54	34	15	5	-	4.6	5.3	3.3	6.9	-
～10 億円未満	75	34	26	15	-	6.4	5.3	5.7	20.8	-
～50 億円未満	24	15	1	8	-	2.1	2.4	0.2	11.1	-
50 億円以上	58	32	10	16	-	5.0	5.0	2.2	22.2	-
JV	59	43	-	16	-	5.1	6.8	-	22.2	-
不明	2	2	-	-	-	0.2	0.3	-	-	-

(4) 随意契約の推移と特徴

(随意契約の 05 年度、06 年度、07 年度、08 年度一覧表は別添資料を参照)

1) 随意契約の件数と金額の推移

随意契約は件数においては 05 年度の 97 件から 08 年度の 72 件へと減少傾向にある。しかし金額では 05 年度の 45 億円から 08 年度の 90 億円へと 2 倍に増加している。つまり、随意契約の一件あたりの金額規模が拡大しているのが特徴である。

表 3-4-1 随意契約の件数と金額の推移

単位：百万円、件、%

		2005 年度		2006 年度		2007 年度		2008 年度	
		実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
金額	全体	45,406	100.0	47,005	100.0	64,276	100.0	61,710	100.0
	随意契約	4,514	9.9	2,135	4.5	1,874	2.9	9,019	14.6
件数	全体	1,158	100.0	1,213	100.0	1,120	100.0	1,164	100.0
	随意契約	97	8.4	93	7.7	79	7.1	72	6.2

2) 随意契約工事の業種からみた特徴

05 年度から 08 年度の随意契約を主要な業種別に件数と金額を見てみると、毎年度多く発注されている業種は「清掃施設」で 4 年間の合計では、件数では 57 件だが、金額では 99 億円も発注されている。特に 05 年度では「橋処理センター基幹改良工事」が 22 億 4000 万円で三菱重工業が随意契約で受注している。この予定価格は 22 億 8600 万円で落札率は 98.0% である。さらに 08 年度には「浮島処理センター基幹改良工事」を 50 億 4,000 万円で J F E 環境ソリューションズが随意契約で受注している。この予定価格は 50 億 8,000 万円で落札率は 99.2% である。次に多い業種は「機械」で 4 年間に 68 件、18 億円発注されている。徐々に増加しているが毎年度一定額が随意契約で発注されている。「土木」は 4 年間で 12 億円発注されているが、主に 05 年度、06 年度に集中している。逆に「下水管渠」は 9 億円発注されているが 08 年度に集中している。業種全体の特徴としては、土木や建築など建設工事関係よりも清掃、機械、空調、電気、水道施設など設備関係の業種に随意契約が集中している。

表 3-4-2 業種からみた随意契約の推移

単位：件、百万円

		清掃施設	機械	空調衛生	建築	土木	とび・土工	電気	水道施設	下水管渠
2005 年度	件数	17	23	5	2	7	3	5	0	0
	金額	2,550	292	28	5	617	317	67	0	0
2006 年度	件数	18	17	7	19	8	4	0	0	0
	金額	695	221	116	360	449	1	0	0	0
2007 年度	件数	10	18	8	6	5	0	14	10	2
	金額	581	551	69	69	131	0	265	77	11
2008 年度	件数	12	10	6	9	1	0	8	0	3
	金額	6,113	785	144	334	47	0	197	0	929
合計	件数	57	68	26	36	21	7	27	10	5
	金額	9,939	1,849	357	768	1,244	318	529	77	940

3) 随意契約工事を受注業者からみた特徴

表 3-4-3 4年間の主要随意契約業者一覧

単位:件、千円

	業者名	件数	金額
05年度	富士電機システムズ	2	28,400
	J F Eプラント&サービス	9	135,840
	三菱重工環境エンジニアリング	6	172,400
	東京瓦斯	6	30,908
	三菱重工業	1	2,240,000
	月島機械	1	35,300
	東洋テクノ	2	301,710
	荏原冷熱システム	2	9,199
	荏原製作所	3	67,100
	クボタ	2	10,750
	東芝	2	40,168
	宮田・吉孝共同企業体	1	123,000
	東亜・みらい共同企業体	1	211,000
	鹿島・鉄建共同企業体	2	162,000
清水建設	1	226,000	
06年度	J F Eプラント&サービス	8	550,700
	三菱重工環境エンジニアリング	7	90,894
	荏原製作所	2	30,350
	川崎重工業	2	3,750
	月島機械	1	38,500
	J F E環境ソリューションズ	2	13,100
	東芝	4	52,272
	東亜建設工業	2	142,000
	三井住友・藤木共同企業体	1	117,000
	小沼・喜代美共同企業体	1	129,000
	三菱重工環境エンジニアリング	4	498,700
07年度	J F E環境ソリューションズ	7	291,260
	富士電機水環境システムズ	3	133,300
	月島機械	2	114,000
	荏原製作所	4	88,700
	東芝	7	85,650
	東京瓦斯	4	28,423
	青木あすなろ・小沼共同企業体	1	51,514
	J F E環境ソリューションズ	8	5,583,900
08年度	三菱重工環境エンジニアリング	5	494,200
	東芝	2	65,800
	月島機械	1	34,600
	富士ホイスト工業	1	315,000
	荏原製作所	1	55,000
	東京瓦斯	2	40,142
	前田・東洋・藤木共同企業体	1	775,000
	青木あすなろ・みらい・小沼共同企業体	1	60,860
	喜代美・藤生・高橋共同企業体	1	171,500

05年度から4年間の随意契約工事を主に受注している業者をピックアップしたのが表3-4-3である。毎年度随意契約工事を件数、金額とも大量に受注しているのがJ F E関係(02年、N K Kと川崎製鉄が合併して生まれた企業)と三菱重工業関係である。J F E関係では05年度9件、1億3584億円、06年度10件、5億6380万円、07年度7件、2億9126万円、08年度8件、55億8390万円と4年間合計で34件、65億7480万円を随意契約で受注している

三菱重工関係では、05年度には7件、24億1240万円、06年度では7件、9089万円、07年度では4件、4億9870万円、08年度では4件、4億9420万円と4年間合計で22件、34億9619万円を随意契約で受注している。この2社の受注業種はほとんど「清掃施設」で市が発注する浮島処理センター、南部リサイクルセンターはJ F Eが主に受注し、堤根処理センター、橘処理

センター、加瀬クリーンセンター、王禅寺処理センターは三菱重工が受注している。基本的に清掃施設の受注が競争排他的にこの2社が独占していることがわかる。

その他の主な受注先として、「機械」では東京瓦斯、月島機械、荏原製作所が系統的に受注している。また「電気」では東芝、富士電機が系統的に受注している。

4) 随意契約の落札率の推移と特徴

表 3-4-4 随意契約の落札率の推移

単位:千円、%

	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
予定価格	4,434,277	2,052,762	1,838,579	8,678,875
契約金額	4,331,108	2,009,836	1,808,180	8,595,092
落札率	97.7	97.9	98.3	99.0

随意契約は一般的に契約予定業者一社又は数社から見積りを依頼し、発注者と受注予定者がネゴ折衝し、受注価格を決定する。そのため、発注者自ら予定価格を算出するわけではなく、業者からの見積書を参考に予定

価格として明示することになる。従って、随意契約における予定価格と契約金額の差は発注者の値引き価格として位置づけられる。この場合、落札率とは正式には値引き額を差し引いた見積り金額に対する契約率ということになる。表 3-4-4 は契約率という意味での落札率の推移を示したものである。各年度随意契約の総予定価格と総契約金額との比率として算出（加重平均値）したため、表 3-6-5 とは異なった率となっている。これで見ると 05 年度以降、随意契約の落札率は高くなる傾向となっている。08 年度では発注者の値引率が 1% とほぼ受注予定者の言い値で決定しているといえる。

5) 随意契約の理由からみた推移と特徴 (但し、財政局契約分のみ)

表 3-4-5 随意契約理由別件数の推移

単位:件

	川崎市						埼玉県	
	合計	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度		2008年度	
					件数	構成比	件数	構成比
随契案件数	272	66	78	77	51	100.0	580	100.0
ケース 1	0	0	0	0	0	0.0	442	76.2
ケース 2	199	52	52	61	34	66.7	67	11.6
ケース 3	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
ケース 4	0	0	0	0	0	0.0	0	0.0
ケース 5	2	1	1	0	0	0.0	31	5.3
ケース 6	69	13	24	15	17	33.3	5	0.9
ケース 7	0	0	0	0	0	0.0	4	0.7
ケース 8	2	0	1	1	0	0.0	30	5.2
ケース 9	0	0	0	0	0	0.0	1	0.2

地方自治法施行令第 167 条の 2 には随意契約が可能となるケースが別表のように 9 項目明示されている。川崎市の 4 年間の随意契約は各年度ともケース 2 とケース 6 の理由によるものが多くを占めている（表 3-4-5）。ケース 2 は「既存設備の修理や加工のための契約でその工事の性質や目的が競争入札に適しないも

の」という理由であるが、川崎市の随意契約の同様の理由の事例を挙げると、「工事にあたり、本件該当機器の構造を熟知した技術者が、設計当初からの技術基準（JIS 等の基準を基に定めている社内基準）を考慮し、整備等の施工管理にあたらなければ、該当機器の長期にわたる性能の維持に支障をきたす。取替部品についても、本ポンプのために設計・製作されたもので、本機の製造メーカーである荏原製作所で供給している。また整備後の性能試験は技術面において他社での施工ができない」のように、主に「清掃施設」や「機械」「電気」など製造メーカーによる受注案件に集中している。今後、設計がメーカーの特殊技術や特定材料等で施工する場合は、必然的に随意契約が増加する可能性がある。入札における競争性排除の随意契約のあり方についてさらに検討を深める必要がある。

業者アンケートの自由回答欄にも以下のような注目すべき意見が寄せられている。

「ごみ焼却施設に関する工事において、プラントメーカーへの随意契約が行なわれているが、これはおかしい。プラントメーカーでないと、あたかも施工できないと『理由書』に書かれているが、そんなことはない。川崎市の努力不足である。他の自治体は既に入札制度改革により、上記分野においても『入札』が行なわれている。プラントメーカーの言いなりでは、入札制度改革は実現できない。参考までに神奈川県内でも上記分野においてプラントメーカーを排除し、中小企業が落札してきちんとした施工が行なわれている。それにより、プラントメーカーの 1/3 くらいの予算で施工ができる。本年から大磯町でも随意契約から『一般競争入札』に切り替えている。おそらく町長が代わられたこともあるのだろうが、プラントメーカーでなくてもできるとふんだからであろう。この分野においては、予定価格があまりにも高すぎる。随意契約の見直しをするべきである。プラントメーカーでないと施工できないというのは『ウソ』。言い訳にすぎない。実際にプラントメーカーでない会社が工事を行なっている自治体はいくらでもある。」

また、ケース 6 は「競争入札に付することが不利と認められるとき」という理由であるが、川崎市の事例を挙げると、「この工事は、現在施工中の設備工事にアスベスト含有材料が使用されていたことが判明したことによる工事。施工中の配管との関係があり、別業者に発注するとかし等の責任が不明瞭になる」のように、安全対策上や第三者との関係、など何らかの関係で施工業者を確定せざるを得ない場合などに採用されている。主に建設業者およびその J V による受注案件に集中している。

一方、川崎市の随意契約にはケース 1 によるものが一件もない。予定価格が一定金額以下の小額工事で競争に付するにあたいしないケースであるが、小額工事についても競争入札を行なっている。本来の随意契約の主旨から見た場合、小額工事にこそ積極的に随意契約を採用すべきである。

この点では埼玉県が行なっている随意契約が参考になる。埼玉県の 08 年度の随意契約件数は 580 件あるが、そのうちケース 1 の理由によるものが 442 件と随意契約件数全体の 76% を占めている。そもそも随意契約の金額はほとんど一件 250 万円以下の案件で、川崎市のように一件平均 1 億 3,000 万円(08 年度)というのは余りにも異常といわざるを得ない。

別表

《地方自治法施行令第167条の2》

- 一 売買、貸借、請負その他の契約でその予定価格（貸借の契約にあつては、予定賃貸借料の年額又は総額）が別表第五上欄に掲げる契約の種類に応じ同表下欄に定める額の範囲内において普通地方公共団体の規則で定める額を超えないものをするとき。
- 二 不動産の買入れ又は借入れ、普通地方公共団体が必要とする物品の製造、修理、加工又は納入に使用させるため必要な物品の売払いその他の契約でその性質又は目的が競争入札に適しないものをするとき。
- 三 障害者自立支援法（平成十七年法律第百二十三号）第五条第十二項に規定する障害者支援施設（以下この号において「障害者支援施設」という。）、同条第二十一項に規定する地域活動支援センター（以下この号において「地域活動支援センター」という。）、同条第一項に規定する障害福祉サービス事業（同条第六項に規定する生活介護、同条第十四項に規定する就労移行支援又は同条第十五項に規定する就労継続支援を行う事業に限る。以下この号において「障害福祉サービス事業」という。）を行う施設若しくは小規模作業所（障害者基本法（昭和四十五年法律第八十四号）第二条に規定する障害者の地域における作業活動の場として同法第十五条第三項の規定により必要な費用の助成を受けている施設をいう。以下この号において同じ。）において製作された物品を普通地方公共団体の規則で定める手続により買い入れる契約、障害者支援施設、地域活動支援センター、障害福祉サービス事業を行う施設、小規模作業所、高齢者等の雇用の安定等に関する法律（昭和四十六年法律第六十八号）第四十一条第一項に規定するシルバー人材センター連合若しくは同条第二項に規定するシルバー人材センターから普通地方公共団体の規則で定める手続により役務の提供を受ける契約又は母子及び寡婦福祉法（昭和三十九年法律第百二十九号）第六条第六項に規定する母子福祉団体が行う事業でその事業に使用される者が主として同項に規定する配偶者のない女子で現に児童を扶養しているもの及び同条第三項に規定する寡婦であるものに係る役務の提供を当該母子福祉団体から普通地方公共団体の規則で定める手続により受ける契約をするとき。
- 四 新商品の生産により新たな事業分野の開拓を図る者として総務省令で定めるところにより普通地方公共団体の長の認定を受けた者が新商品として生産する物品を、普通地方公共団体の規則で定める手続により、買い入れる契約をするとき。
- 五 緊急の必要により競争入札に付することができないとき。
- 六 競争入札に付することが不利と認められるとき。
- 七 時価に比して著しく有利な価格で契約を締結することができる見込みのあるとき。
- 八 競争入札に付し入札者がいないとき、又は再度の入札に付し落札者がいないとき。
- 九 落札者が契約を締結しないとき。

(5) 総合評価型入札の状況

1) 試行実施件数の状況

表 3-5-1
総合評価方式試行実施件数
(資料入手済みの案件)

		2007 年度	2008 年度
件数	簡易型	7	6
	特別簡易型	—	15
	計	7	21
工種 (件)	土木	5	19
	建築	1	0
	防水	0	1
	電気	1	1
	計	7	21

川崎市では 07 年 7 月に「川崎市総合評価方式の試行方法（ガイドライン）」を策定した。試行する総合評価方式の種類は「簡易型」とし、総合評価点の算出方法は除算方式を採用した。9 月から試験実施が行なわれ 7 件が試験実施された。

08 年度は国の指針を受けて、総合評価方式の種類に「特別簡易型」を加え、評価の配点や方法に若干の修正を加えた。08 年度は特別簡易型が多く採用されており、今後も簡易型と比べて手続きと評価に手間が掛からない特別簡易型を主に運用していくことが考えられる。

2) 07 年度、08 年度の総合評価方式案件の落札者決定経過

07 年度、08 年度に試行された 28 件の総合評価方式案件の落札者決定経過を一覧表にしたのが表 3-5-2 である。この経過をまとめてみると以下のようなになる。

表 3-5-2 総合評価方式の落札者決定結果一覧

年度	工事 NO	応札者数		落札者の評 価点順位	落札者の入 札金額順位	落札率	評価点1位者の 評価点 (満点)	落札者の評価 点 (満点)	
		辞退・無効	入札者						
○七 年度	1		2	5	3	1	78.4%	13.0 (22.5)	9.0 (22.5)
	2		4	6	3	1	72.9%	14.5 (22.5)	9.0 (22.5)
	3		3	1	1	1	97.0%		6.5 (23.5)
	4		3	6	1	1	80.0%		8.5 (23.5)
	5		6	2	1	1	89.8%		16.0 (23.5)
	6		2	4	2	2	96.1%	18.0 (22.0)	17.0 (22.0)
	7		8	8	7	1	82.0%	11.5 (23.0)	5.0 (23.0)
○八 年度	8		5	2	2	1	96.5%	8.0 (13.5)	7.0 (13.5)
	9		6	1	1	1	98.7%		4.0 (13.5)
	10		3	2	1	1	80.1%		5.5 (13.5)
	11		3	1	1	1	86.0%		13.5 (23.5)
	12		4	1	1	1	99.7%		4.5 (22.5)
	13		4	2	2	1	93.5%	8.0 (13.5)	5.5 (13.5)
	14		4	2	1	1	98.4%		10.0 (13.5)
	15		4	3	1	2	97.0%		7.5 (13.5)
	16		4	1	1	1	98.4%		6.0 (13.5)
	17		3	1	1	1	97.1%		5.0 (12.5)
	18		1	2	1	1	84.2%		9.5 (23.5)
	19		2	1	1	1	99.1%		6.5 (23.5)
	20		3	7	3	1	89.2%	11.5 (13.5)	10.5 (13.5)
	21		5	2	1	1	87.1%		8.0 (13.0)
	22		4	1	1	1	99.4%		13.0 (22.5)
	23		1	5	1	1	80.0%		10.5 (13.5)
	24		2	3	1	1	84.9%		9.5 (13.5)
	25		3	1	1	1	98.8%		9.5 (13.5)
	26		1	1	1	1	89.3%		5.0 (13.5)
	27		11	13	2	5	97.0%	9.0 (13.0)	8.5 (13.0)
	28		7	1	1	1	98.8%		16.0 (22.5)

注：評価点とは価格以外の評価点を指す。

①入札金額が1位以外の者が落札した案件は3件（NO6,15,27）、入札金額1位の者が落札した案件は25件である。上記3件の金額と評価点の順位はNO6（金額2位、評価点2位）NO15（金額2位、評価点1位）NO27（金額5位、評価点2位）である。

②落札者の評価点が1位以外の案件は2位が4件（NO6,8,13,27）、3位が3件（NO1,2,20）、7位が1件（NO7）、計8件である。

③落札者の評価点が低い案件がある。（ ）は満点）

NO12-4.5 (22.5)、NO7-5.0 (23.0)、NO3-6.5 (23.5)、NO19-6.5 (23.5)
NO9-4.0 (13.5)、NO26-5.0 (13.5)、NO17-5.0 (12.5)

④辞退・無効等で入札者が1者のみとなった案件が28件中11件ある。ちなみに11件の平均落札率は96.57%、その他17件の平均落札率は87.48%である。

⑤応札者総数は193社で、その内辞退・無効・不参加が108社（56%）ある。

最低価格者以外の落札は25件中3件（10.7%）、最低価格者の落札は25件（89.3%）である。試行段階において、この結果が妥当か否かを判断することは出来ないが、価

格以外の項目の評価により最低価格でない業者が3件落札したことは、総合評価方式の成果といえる。今後、総合評価方式を本格的に定着させるためには、落札者算定方式を除算方式から加算方式に転換するとともに価格以外の評価項目の点数を引き上げるなどの工夫が必要となる。

(6) 落札率の実態について

1) 落札率の4年間の推移

05年度から4年間の件数ベースによる落札率の推移をみたのが表3-6-1である。

表3-6-1 件数からみる落札率の推移

単位：件、%

落札率区分	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
全体	1,158	100.0	1,213	100.0	1,120	100.0	1,164	100.0
50%未満	1	0.1	-	-	-	-	-	-
50～55%未満	-	-	-	-	-	-	-	-
55～60%未満	-	-	3	0.2	1	0.1	-	-
60～65%未満	-	-	1	0.1	1	0.1	2	0.2
65～70%未満	2	0.2	3	0.2	3	0.3	3	0.3
70～75%未満	-	-	9	0.7	17	1.5	10	0.9
75～80%未満	90	7.8	45	3.7	39	3.5	22	1.9
80～85%未満	32	2.8	42	3.5	97	8.7	110	9.5
85～90%未満	60	5.2	145	12.0	146	13.0	217	18.6
90～95%未満	262	22.6	285	23.5	262	23.4	203	17.4
95～96%未満	98	8.5	114	9.4	82	7.3	78	6.7
96～97%未満	170	14.7	159	13.1	83	7.4	100	8.6
97～98%未満	228	19.7	188	15.5	130	11.6	149	12.8
98～99%未満	154	13.3	151	12.4	156	13.9	141	12.1
99～100%未満	49	4.2	60	4.9	95	8.5	113	9.7
落札率100%	12	1.0	8	0.7	8	0.7	16	1.4
平均落札率	93.71%		93.51%		92.71%		92.62%	

(参考) 横浜市の落札率の推移

単位：件数、%

落札率区分	2005年度		2006年度		2007年度		2008年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
全体	3,644	100.0	3,445	100.0	3,297	100.0	3,419	100.0
80%未満	780	21.4	872	25.3	985	29.9	795	23.3
80～90%未満	679	18.6	803	23.3	876	26.6	1,025	42.2
90～95%未満	1,020	28.0	803	23.3	653	19.8	508	14.9
95～96%未満	287	7.9	142	4.1	106	3.2	69	2.0
96～97%未満	207	5.7	125	3.6	82	2.5	83	2.4
97～98%未満	191	5.2	126	3.7	109	3.3	90	2.6
98～99%未満	135	3.7	157	4.6	103	3.1	116	3.4
99～100%未満	152	4.2	304	8.8	296	9.0	268	7.8
落札率100%	193	5.3	111	3.2	87	2.6	27	0.8
無回答	-	-	2	0.1	-	-	19	0.6
平均落札率	88.98%		87.78%		86.52%		86.64%	

まず、平均落札率の推移を見ると、05年度の93.71%から08年度の92.62%へ少しずつ下落してきている。内訳を見ると80%台以下が05年度では185件、06年度248件、07年度304件、08年度364件と低落札案件が急増傾向にある。同時に99%以上という高落札件数も05年度61件、06年度68件、07年度103件、08年度129件と急増傾向にある。つまり、一方で低価格競争が激しくなりながら、もう一方では随意契約などによる競争排除も増加している状況にあり、95%前後の落札率件数が減少傾向にあるといえる。

一概に落札率だけで工事価格が高いか安いかを判断することはできないが、予定価格が適正価格とするなら、それより大きく乖離した落札価格では工事の品質や下請施工業者などにしわ寄せをもたらすことになる。

ちなみに横浜市の08年度の平均落札率は86.6%である。横浜市に比較すると川崎市の平均落札率は6.0%高いということになる。

2) 08年度の落札率の工事規模から見る特徴

全体的に工事規模が大きくなるほど落札率が低く、工事規模が小さくなるほど落札率が高いという傾向を示している。

表 3-6-2 工事規模からみる落札率の状況

単位：上段 件、下段%

	全体	80%未満	80～85%未満	85～90%未満	90～95%未満	95～96%未満	96～97%未満	97～98%未満	98～99%未満	99～100%未満	100%	平均	
全体（件数）	1164	39	110	217	203	78	100	149	141	113	16	92.6	
全体（比率）	100.0	3.3	9.5	18.6	17.4	6.7	8.6	12.8	12.1	9.7	1.4		
契約金額	50万円未満	3	-	1	-	1	-	-	-	1	-	94.8	
		100.0	-	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3	-		
	～1百万円未満	19	-	-	11	2	3	1	1	-	1	95.0	
		100.0	-	-	57.9	10.5	15.8	5.3	5.3	-	5.3		
	～5百万円未満	232	-	4	34	61	30	33	30	30	7	3	94.4
		100.0	-	1.7	14.7	26.3	12.9	14.2	12.9	12.9	3.0	1.3	
	～1千万円未満	222	7	10	32	40	15	27	41	39	11	-	93.9
		100.0	3.2	4.5	14.4	18.0	6.8	12.2	18.5	17.6	5.0	-	
	～5千万円未満	446	20	50	104	71	17	28	40	48	60	8	91.7
		100.0	4.4	11.2	23.3	15.9	3.8	6.3	9.0	10.8	13.5	1.8	
～1億円未満	101	-	15	13	10	10	4	18	10	19	2	93.7	
	100.0	-	14.9	12.9	9.9	9.9	4.0	17.8	9.9	18.8	2.0		
～5億円未満	129	8	27	31	10	3	5	19	13	11	2	89.8	
	100.0	6.3	20.9	24.0	7.8	2.3	3.9	14.7	10.1	8.5	1.6		
～10億円未満	7	2	3	1	-	-	-	-	-	1	-	79.4	
	100.0	28.6	42.9	14.3	-	-	-	-	-	14.3	-		
～50億円未満	4	-	1	1	-	-	-	-	-	2	-	92.4	
	100.0	-	25.0	25.0	-	-	-	-	-	50.0	-		
50億円以上	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	99.1	
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-		

特に5億～10億円規模の工事7件のうち6件が80%台以下の落札率となっている。また1億～5億円規模では66件（全体129件の51.2%）が80%台以下の落札率であ

る。更に1千万～5千万円規模では174件（同446件の38.9%が80%台以下の落札率である。これらの規模の工事が激しい受注競争にさらされていることがわかる。一方、小規模工事が比較的落札率が高い原因として、本体工事の変更・追加工事が随意契約で行われていることが挙げられる。

3) 08年度の落札率の市内・準市内・市外・JV区分から見た状況

全体的にはそれほど変化はないが、準市内が若干低く、市内が若干高い。また、JVでは落札率99～100%が23件（全体59件の39.0%）もある。

表 3-6-3 市内・準市内・市外・JVからみる落札率の状況

単位：上段 件、下段%

	全体	80%未満	80～85%	85～90%	90～95%	95～96%	96～97%	97～98%	98～99%	99～100%	100%	平均
市内	921	28	74	169	168	70	88	134	114	67	9	92.9
	100.0	3.1	8.0	18.3	18.2	7.6	9.6	14.5	12.4	7.3	1.0	
準市内	62	1	18	10	11	-	3	-	5	9	5	90.4
	100.0	1.6	29.0	16.1	17.7	-	4.8	-	8.1	14.5	8.1	
市外	120	3	7	34	23	7	7	7	16	16	-	92.0
	100.0	2.5	5.8	28.3	19.2	5.8	5.8	5.8	13.3	13.3	-	
JV	59.0	5	11	3	1	1	2	7	6	21	2	92.5
	100.0	8.5	18.6	5.1	1.7	1.7	3.4	11.9	10.2	35.6	3.4	
不明	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	91.0
	100.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	

4) 08年度の落札率の業者資本金別に見た状況

資本金が1千万円未満の小零細業者の受注件数は112件と少ないが、平均落札率は相対的には高い。資本金3千万～5千万円の市内中堅業者の落札率は91.9%と若干低い。また資本金50億円以上の大手業者は58件の受注のうち33件が落札率80%台以下となっている。これは単に低価格競争が激しいというだけでなく、予定価格がメーカーの言い値で引き上げられ、予定価格が高く設定されている可能性がある。

表 3-6-4 業者資本金別みる落札率の状況

単位：上段 件、下段%

	全体	80% 未満	80~ 85% 未満	85~ 90% 未満	90~ 95% 未満	95~ 96% 未満	96~ 97% 未満	97~ 98% 未満	98~ 99% 未満	99~ 100% 未満	100%	平均
5 百万円 未満	75	3	3	12	15	7	6	12	13	4	-	93.5
	100.0	4.0	4.0	16.0	20.0	9.3	8.0	16.0	17.3	5.3	-	
~1 千万円 未満	37	-	2	6	8	3	5	6	6	1	-	94.2
	100.0	-	5.4	16.2	21.6	8.1	13.5	16.2	16.2	2.7	-	
~3 千万円 未満	537	10	39	102	101	42	69	74	67	31	2	93.0
	100.0	1.9	7.3	19.0	18.8	7.8	12.8	13.8	12.5	5.8	0.4	
~5 千万円 未満	243	14	28	46	40	18	9	31	29	23	5	91.9
	100.0	5.7	11.5	18.9	16.5	7.4	3.7	12.8	11.9	9.5	2.1	
~1 億円 未満	54	-	7	9	4	3	3	13	3	11	1	93.8
	100.0	-	13.0	16.7	7.4	5.6	5.6	24.1	5.6	20.4	1.9	
~10 億円 未満	75	3	2	18	23	3	4	4	11	6	1	92.2
	100.0	4.0	2.7	24.0	30.7	4.0	5.3	5.3	14.7	8.0	1.3	
~50 億円 未満	24	1	2	4	1	-	1	1	5	6	3	93.8
	100.0	4.2	8.3	16.7	4.2	-	4.2	4.2	20.8	25.0	12.5	
50 億円 以上	58	1	16	16	10	1	1	-	1	10	2	89.1
	100.0	1.7	27.6	27.6	17.2	1.7	1.7	-	1.7	17.2	3.4	
J V	59	5	11	3	1	1	2	7	6	21	2	92.5
	100.0	8.5	18.6	5.1	1.7	1.7	3.4	11.9	10.2	35.6	3.4	
不明	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	91.0
	100.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	

5) 08 年度の落札率を入札契約方法別にみた状況

一般競争入札は原則として予定価格 1 千万円以上となり、受注件数 636 件の平均落札率は 90.9%と全体の平均落札率に比較し 1.7 ポイント低くなっている。これに対し原則 1 千万円未満に設定された指名競争入札による受注件数 455 件の平均落札率は 94.3%と全体平均より 1.7 ポイント高くなっている。やはり一般競争入札の方が競争を促進し、指名競争入札の方が競争制限的に働いていることが落札率に明確に現れている。また、随意契約は入札方式では業者との見積合わせという競争排除手法のため、平均落札率は 97.6%と限りなく予定価格に近くなっている。前節でも述べたが、そもそも随意契約における予定価格は業者見積りそのものであり、ネゴ折衝において値引きされた金額が落札額となるわけで、発注者の値引き率が 2.4%であったといえる。したがって随意契約は正確には落札率で表現する性質のものではないといえることができる。

表 3-6-5 契約方法別にみる落札率の状況

単位：上段 件、下段%

	全体	80%未満	80～85%未満	85～90%未満	90～95%未満	95～96%未満	96～97%未満	97～98%未満	98～99%未満	99～100%未満	100%	平均
全体	1164	37	110	217	203	78	100	149	141	113	16	92.6
	100.0	3.3	9.5	18.6	17.4	6.7	8.6	12.8	12.1	9.7	1.4	
一般競争入札	636	34	91	154	86	29	34	69	59	71	9	90.9
	100.0	5.1	14.3	24.2	13.5	4.6	5.3	10.8	9.3	11.2	1.4	
指名競争入札	455	2	19	61	110	48	62	73	65	13	2	94.3
	100.0	0.4	4.2	13.4	24.2	10.5	13.6	16.0	14.3	2.9	0.4	
随意契約	72.0	1	-	2	7	1	4	7	17	29	4	97.6
	100.0	1.4	-	2.8	9.7	1.4	5.6	9.7	23.6	40.3	5.6	
不明	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	100.0
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	

6) 08年度の落札率を建設業協会会員・非会員別にみた状況

建設業協会会員は市内業者のみであるが、非会員業者には準市内、市外業者を含んでいる。非会員業者の落札率は92.6%と全体平均落札率と同一であるが、会員業者の落札率は92.8%とわずかではあるが高くなっている。低落札率の状況をみると85%未満では会員が16.6%、非会員が9.5%と会員業者の方に低落札業者が多くなっている。ところが、落札率85%～90%をみると会員が13.9%に対して非会員は22.0%とこのクラスでは非会員業者の方に低落札業者が多い。この差が現れているものとみられる。いずれにしてもわずかな差であり、これによって会員業者が談合が行なわれているなどということにはならない。

表 3-6-6 川崎建設業協会会員・非会員別にみる落札率の状況

単位：上段 件、下段%

	全体	80%未満	80～85%未満	85～90%未満	90～95%未満	95～96%未満	96～97%未満	97～98%未満	98～99%未満	99～100%未満	100%	平均
全体	1164	37	110	217	203	78	100	149	141	113	16	92.6
	100.0	3.3	9.5	18.6	17.4	6.7	8.6	12.8	12.1	9.7	1.4	
会員	361	17	43	50	43	22	26	68	46	39	7	92.8
	100.0	4.7	11.9	13.9	11.9	6.1	7.2	18.8	12.7	10.8	1.9	
非会員	742	15	56	163	159	55	72	73	89	53	7	92.6
	100.0	2.0	7.5	22.0	21.4	7.4	9.7	9.8	12.0	7.1	0.9	
JV	59.0	5	11	3	1	1	2	7	6	21	2	92.5
	100.0	8.5	18.6	5.1	1.7	1.7	3.4	11.9	10.2	35.6	3.4	
不明	2	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	91.0
	100.0	-	-	50.0	-	-	-	50.0	-	-	-	

7) 08年度の落札率構成を横浜市と比較した特徴

表 3-6-7

08年度横浜市と比較した落札率の区分別構成比

単位:件、%

落札率区分	川崎市		横浜市	
	件数	構成比	件数	構成比
全体	1,164	100.0	3,419	100.0
80%未満	37	3.3	795	23.3
80~85%未満	110	9.5	1,025	42.2
85~90%未満	217	18.6	508	14.9
90~95%未満	203	17.4	69	2.0
95~96%未満	78	6.7	83	2.4
96~97%未満	100	8.6	90	2.6
97~98%未満	149	12.8	116	3.4
98~99%未満	141	12.1	268	7.8
99~100%未満	113	9.7	27	0.8
落札率100%	16	1.4	19	0.6
平均落札率	92.62%		86.64%	

08年度の落札率を横浜市と比較してみると平均落札率では川崎市の92.6%に対して横浜市は86.6%と横浜市が6.0ポイントも落札率が低い。横浜市の低価格競争の激しさがうかがわれるが、その内訳を見ると落札率80%未満の工事が23.3%もある。さらに80%~90%が57.1%と、この二つの内訳区分に川崎市と大きな違いがある。落札率比較をみる限り、川崎市における低価格競争が過度に展開されているとは言えないだろう。

(7) 単価契約の特徴

川崎市において単価請負契約方式をとっているのは水道局のみである。水道局では、管路の維持工事及び漏水修理工事（修理、復旧費）を主体に単価請負契約で以下の工事に適用している。

- ① 管路の維持工事で弁栓筐等に係る修理工事、路面復旧工事、その他土木工事
- ② 漏水に係る修理工事、路面復旧工事、その他土木工事
- ③ 給水装置に係る改良工事
- ④ 維持管理用管製作及び現場接合工事
- ⑤ その他管路の維持に関する工事

1) 単価契約工事の件数と金額の推移と特徴

表 3-7-1 水道局工事のうち単価契約工事の件数と金額

単位:件、千円、%

	件数			金額		
	全体	単価契約	構成比	全体	単価契約	構成比
05年度	203	52	25.6	5,092,400	1,331,755	26.2
06年度	181	24	13.3	5,662,800	1,018,979	18.0
07年度	190	20	10.5	7,069,900	1,543,945	21.8
08年度	175	17	9.7	9,034,100	1,636,202	18.1

05年度から4年間の水道局における単価契約工事の全体に占める件数と金額は表 3-6-1 のとおりである。件数では05年度の52件から06年度以降は半減ないし3分の1に減少している。水道工事件数が徐々に減少している

がそれ以上に単価契約は減少し、05年度に全体の25.6%あった単価契約工事が08年度には9.7%にまで減少している。これを金額ベースで見ると全体金額が50億円台

から 90 億円台に増加しているが単価契約金額も 13 億円から 16 億円に徐々に増加している。しかし、構成比率では少しずつ低下傾向にある。

単価契約が件数で減少しているにもかかわらず金額で増加している原因として、一件あたりの落札単価の高騰ないし、一件の単価契約案件の年間工事量の増加が考えられる。

2) 単価契約の入札形態の推移と特徴

表 3-7-2 入札形態別件数の推移

	05 年度	06 年度	07 年度	08 年度
指名競争	38	7	2	0
一般競争	2	12	13	13
随意契約	12	5	5	4
合計	52	24	20	17

水道管の緊急修理や維持補修などを市内指定箇所一円に行う場合に 1 箇所あたりの単価契約を行い、修理や補修箇所数に応じて年間の工事金額を精算払いする。契約日は 4 月 1 日又は 10 月 1 日で完了日は翌年 3 月 31 日となっ

ている。入札形態をみると

05 年度は一般競争がほとんどなく、指名競争入札と随意契約である。ただ、競争入札と随意契約との区分が不明確な状況となっている。06 年度は一般競争が 12 件に対して指名競争が 7 件と一般競争が主体となっている。原則として予定価格 1 千万円以上が一般競争入りのようであるが必ずしも原則どおりにはなっていない。しかし、07 年度以降、1 千万円以上は一般競争が明確となり指名競争入札は存在しなくなっている。しかし、随意契約は相変わらず不明確なまま発生している。

3) 単価契約工事を受注する業者からみた特徴

単価契約方式は同一内容・同一規模の工事を年間一定数量発注する場合に適用されているが、特に維持管理や修理・補修などに適している。これら工事を年間通じて市内業者と契約することは業者にとっても安定的受注を保障することになり、市民にとっても安全・安心を保障されることになる。

しかし、入札形態から見られるように市内業者の入札は必ずしも透明性が確保されているようではない。05 年度から受注業者の状況を見てみると、05 年度はすべて単独受注であるが、同一業者が 2 件、3 件と連続的に受注しているのが目に付く。また 06 年度以降は市内業者同士の J V 形態での受注が多くなり、07 年度以降はほとんどが J V での受注となった。しかし、J V の組み合わせは異なっても、同一業者が複数の単価契約工事を受注しているのが目だつ。05 年度は 52 件中 34 件を川崎建設業協会会員業者が受注している。06 年度以降は J V 形態となっているがやはり会員業者が目立っている。

一方、最終契約金額は施工数量にもとづく出来高査定によって決定されると見られる。この査定は川崎市職員と施工業者との協議に基づき行われるが、これを厳格に行っていく市の体制が求められる。

表 3-7-3 05 年度単価契約工事一覧表

単位：円

No.	工事件名	業種名	予定 価格	落札 金額	入札 方法	落札業者	最終契約 金額
1	狭あい道路舗装整備 1号工事	舗装	171,700	180,285	指名競争	三恵工業株式会社	12,000,000
2	狭あい道路舗装整備 2号工事	舗装	171,700	180,285	指名競争	株式会社吉孝土建	15,000,000
3	狭あい道路舗装整備 1号工事	舗装	177,180	139,000	一般競争	有限会社由貴工務店	12,000,000
4	狭あい道路舗装整備 2号工事	舗装	177,180	173,630	一般競争	東聖建設株式会社	14,000,000
5	道路標示復旧工事	塗装	878,380	868,000	指名競争	株式会社 ロードカワサキ	16,300,164
6	漏水修理その1	水道 施設	4,954,141	4,865,000	指名競争	関トウ株式会社	61,318,622
7	配水管維持その1工事	水道 施設	9,391,760	9,135,000	指名競争	関トウ株式会社	17,856,067
8	漏水修理その2	水道 施設	4,735,051	4,703,000	指名競争	株式会社菱信建設	93,072,561
9	配水管維持その2	水道 施設	9,058,795	8,997,000	指名競争	株式会社菱信建設	31,977,626
10	漏水修理その3工事	水道 施設	4,845,770	4,804,000	指名競争	株式会社吉孝土建	64,830,561
11	配水管維持その3	水道 施設	9,272,137	9,196,000	指名競争	株式会社吉孝土建	18,015,437
12	維持管理用鋼管製作等 接合工事	鋼 構造物	855,440	850,000	指名競争	株式会社福嶋鉄工所	4,195,315
13	漏水修理その1	水道 施設	4,954,141	4,865,000	指名競争	株式会社石塚土木	61,318,622
14	配水管維持その1工事	水道 施設	9,391,760	9,135,000	指名競争	株式会社石塚土木	17,856,067
15	漏水修理その2	水道 施設	4,735,051	4,703,000	指名競争	藤原建設株式会社	93,072,561
16	配水管維持その2	水道 施設	9,058,795	8,997,000	指名競争	藤原建設株式会社	31,977,626
17	漏水修理その3工事	水道 施設	4,845,770	4,804,000	指名競争	麻生建設株式会社	64,830,561
18	配水管維持その3	水道 施設	9,272,137	9,196,000	指名競争	麻生建設株式会社	18,015,437
19	維持管理用鋼管製作等 接合工事	鋼 構造物	855,440	850,000	指名競争	株式会社大師鉄工所	4,195,315
20	漏水修理等路面復旧 その1工事	水道 施設	4,965,261	4,865,000	随意契約	関トウ株式会社	3,291,169
21	配水管維持等路面復旧 その1工事	水道 施設	9,322,158	9,135,000	随意契約	株式会社小沼工務店	256,689
22	漏水修理等路面復旧 その2工事	水道 施設	4,770,094	4,702,000	随意契約	株式会社織戸組	5,236,096
23	配水管維持等路面復旧 その2工事	水道 施設	9,117,438	8,988,000	随意契約	藤和建興株式会社	842,311
24	漏水修理等路面復旧 その3工事	水道 施設	4,788,055	4,594,000	随意契約	川崎葵建設株式会社	1,207,711
25	配水管維持等路面復旧 その3工事	水道 施設	9,156,558	8,786,000	随意契約	株式会社三秀	121,835
26	給水管維持その1工事	水道 施設	7,746,514	6,700,000	指名競争 入札	第一工営株式会社	9,715,544
27	給水管維持その2工事	水道 施設	7,599,734	6,900,000	指名競争	有限会社工藤組	25,521,521
28	給水管維持その3工事	水道 施設	7,667,655	6,880,000	指名競争	秀建工業株式会社	13,083,785

No.	工事件名	業種名	予定 価格	落札 金額	入札 方法	落札業者	最終契約金額
29	道路標示復旧工事	塗装	875,380	860,000	指名競争	信号機材株式会社	24,885,606
30	給水管維持その4工事	水道 施設	7,747,591	7,500,000	指名競争	第一工営株式会社	8,016,057
31	給水管維持その5工事	水道 施設	7,855,014	7,700,000	指名競争	深谷建設株式会社	46,862,007
32	給水管維持その6工事	水道 施設	7,825,655	7,750,000	指名競争	株式会社シンヤ	23,771,981
33	漏水修理その4工事	水道 施設	4,937,875	4,849,000	指名競争	岡村建興株式会社	20,082,317
34	配水管維持その4工事	水道 施設	9,522,888	9,351,000	指名競争	岡村建興株式会社	18,347,494
35	漏水修理その5工事	水道 施設	4,838,341	4,682,000	指名競争	株式会社重田組	99,383,997
36	配水管維持その5工事	水道 施設	9,315,880	9,018,000	指名競争	株式会社重田組	22,944,120
37	漏水修理その6工事	水道 施設	4,877,345	4,802,000	指名競争	株式会社浅野建設	53,778,627
38	配水管維持その6工事	水道 施設	9,444,271	9,298,000	指名競争	株式会社浅野建設	12,975,704
39	維持管理用鋼管製作等 接合工事	鋼 構造物	842,685	840,000	指名競争	須藤工業株式会社	2,789,952
40	漏水修理等路面復旧 その4工事	水道 施設	4,954,141	4,865,000	随意契約	関トウ株式会社	3,196,137
41	漏水修理等路面復旧 その5工事	水道 施設	5,735,051	4,703,000	随意契約	株式会社菱信建設	5,948,754
42	漏水修理等路面復旧 その6工事	水道 施設	4,845,770	4,804,000	随意契約	麻生建設株式会社	2,497,186
43	配水管維持等路面復旧 その4工事	水道 施設	9,391,760	9,135,000	随意契約	株式会社石塚土木	4,551,494
44	配水管維持等路面復旧 その5工事	水道 施設	9,058,795	8,997,000	随意契約	藤原建設株式会社	373,824
45	配水管維持等路面復旧 その6工事	水道 施設	9,272,137	9,196,000	随意契約	株式会社吉孝土建	931,219
46	漏水修理その4工事	水道 施設	4,937,875	4,849,000	指名競争	幸伸工業株式会社	59,089,493
47	配水管維持その4工事	水道 施設	9,522,888	9,351,000	指名競争	幸伸工業株式会社	18,347,494
48	漏水修理その5工事	水道 施設	4,838,341	4,682,000	指名競争	株式会社堀一組	99,383,997
49	配水管維持その5工事	水道 施設	9,315,880	9,018,000	指名競争	株式会社堀一組	22,944,120
50	漏水修理その6工事	水道 施設	4,877,345	4,802,000	指名競争	守谷土木株式会社	53,778,627
51	配水管維持その6工事	水道 施設	9,444,271	9,298,000	指名競争	守谷土木株式会社	12,975,704
52	維持管理用鋼管製作等 接合工事	鋼 構造物	842,685	840,000	指名競争	株式会社赤原鉄工所	2,789,952

表 3-7-4 06 年度単価契約工事一覧表

単位:円

No.	工事件名	工事種類	予定価格 (税抜)	落札金額	入札方法	落札業者	最終契約金額
1	漏水修理 その1工事	水道施設	4,961,377	4,876,000	一般競争	小沼・関トウ 共同企業体	54,684,885
2	配水管維持 その1工事	水道施設	9,589,528	9,424,000	一般競争	小沼・関トウ 共同企業体	26,200,732
3	漏水修理 その2工事	水道施設	4,907,058	4,837,000	一般競争	織戸・飯尾 共同企業体	91,607,344
4	配水管維持 その2工事	水道施設	9,444,507	9,313,000	一般競争	織戸・飯尾 共同企業体	25,810,442
5	漏水修理 その3工事	水道施設	4,899,246	4,835,000	一般競争	丸栄・清生 共同企業体	59,367,249
6	配水管維持 その3工事	水道施設	9,488,258	9,365,000	一般競争	丸栄・清生 共同企業体	12,313,147
7	道路標示復旧工事	塗装	874,849	822,000	指名競争	道路交通 株式会社	13,013,772
8	給水管維持 その1工事	水道施設	7,606,594	7,600,000	指名競争	第一工営 株式会社	15,040,409
9	給水管維持 その2工事	水道施設	7,556,817	7,390,000	指名競争	株式会社 美栄工業	25,090,963
10	給水管維持 その3工事	水道施設	7,520,693	7,300,000	指名競争	秀建工業 株式会社	16,684,164
11	維持管理用鋼管製作等 接合工事	鋼 構造物	843,792	840,000	指名競争	サツマ工業 株式会社	2,882,871
12	漏水修理等路面復旧 その1工事	水道施設	4,937,875	4,849,000	随意契約	岡村建興 株式会社	2,503,697
13	漏水修理等路面復旧 その2工事	水道施設	4,838,341	4,682,000	随意契約	株式会社 重田組	3,867,937
14	漏水修理等路面復旧 その3工事	水道施設	4,877,345	4,802,000	随意契約	株式会社 浅野建設	1,038,069
15	配水管維持等路面復旧 その1工事	水道施設	9,522,888	9,351,000	随意契約	幸伸工業 株式会社	202,972
16	配水管維持灯路面復旧 その2工事	水道施設	9,315,880	9,018,000	随意契約	株式会社 堀一組	1,110,102
17	給水管維持 その4工事	水道施設	14,828,741	14,000,000	一般競争	第一工営・高村 共同企業体	56,432,403
18	給水管維持 その5工事	水道施設	14,878,850	14,200,000	一般競争	工藤・須貝 共同企業体	162,415,362
19	給水管維持 その6工事	水道施設	14,770,320	14,500,000	一般競争	東生・山崎 共同企業体	123,649,522
20	水道施設等緊急修理 その4工事	水道施設	16,888,934	16,700,000	一般競争	石塚・岡村 共同企業体	110,661,359
21	水道施設等緊急修理 その5工事	水道施設	16,933,380	16,700,000	一般競争	藤原・重田造園 共同企業体	124,949,587
22	水道施設等緊急修理 その6工事	水道施設	16,829,355	16,500,000	一般競争	利建設・追川建設 共同企業体	75,896,652
23	道路標示復旧工事	塗装	865,844	821,000	指名競争	保安産業 株式会社	9,948,014
24	維持管理用鋼管製作等 接合工事	鋼 構造物	1,332,432	1,300,000	指名競争	株式会社 大師鉄工所	3,607,444

表 3-7-5 07 年度単価契約工事一覧表

単位:円

No.	工事件名	工事種類	予定価格	落札価格	入札方法	落札業者	最終契約金額
1	給水管維持 その2工事	水道 施設	15,397,126	15,200,000	一般競争	深谷・横山 共同企業体	220,459,195
2	給水管維持 その5工事	水道 施設	17,103,860	16,950,000	一般競争	藤和・日東 共同企業体	218,251,417
3	水道施設等緊急 修理その5工事	水道 施設	17,366,351	17,150,000	一般競争	織戸・河合 共同企業体	153,815,665
4	水道施設等緊急 修理その2工事	水道 施設	17,106,693	16,900,000	一般競争	重田・堀一 共同企業体	140,693,388
5	給水管維持 その3工事	水道 施設	15,294,934	15,000,000	一般競争	丸栄・稲田 共同企業体	136,475,852
6	給水管維持 その6工事	水道 施設	17,000,480	16,800,000	一般競争	丸栄・山崎 共同企業体	130,426,025
7	水道施設等緊急 修理その4工事	水道 施設	17,306,751	16,800,000	一般競争	小沼・関トウ 共同企業体	104,217,595
8	水道施設等緊急 修理その1工事	水道 施設	17,038,080	16,800,000	一般競争	幸伸・小田 共同企業体	95,841,777
9	水道施設等緊急 修理その3工事	水道 施設	17,004,118	16,700,000	一般競争	三秀・清生 共同企業体	82,653,475
10	給水管維持 その1工事	水道 施設	15,351,914	14,500,000	一般競争	第一工営・伸栄 共同企業体	75,309,190
11	水道施設等緊急 修理その6工事	水道 施設	17,284,750	17,080,000	一般競争	黒川・追川 共同企業体	73,784,399
12	給水管維持 その4工事	水道 施設	17,076,136	14,514,715	一般競争	第一工営・高村 共同企業体	63,888,674
13	道路標示復旧工事	塗装	230,858	230,000	一般競争	㈱京浜ライン	19,397,594
14	緊急修理等路面 復旧その2工事	水道 施設	16,933,380	16,700,000	随意契約	藤原・重田 共同企業体	8,504,395
15	給水管維持等路面 復旧その5工事	水道 施設	15,397,126	15,200,000	随意契約	深谷・横山 共同企業体	5,443,987
16	緊急修理等路面 復旧その1工事	水道 施設	16,888,934	16,700,000	随意契約	石塚・岡村 共同企業体	4,103,738
17	維持管理用鋼管 製作等接合工事	鋼 構造物	3,789,821	3,680,000	指名競争	㈱福島鉄工所	4,067,937
18	緊急修理等路面 復旧その3工事	水道 施設	16,829,355	16,500,000	随意契約	利建設・追川建設 共同企業体	3,137,650
19	給水管維持等路面 復旧その2工事	水道 施設	14,878,850	14,200,000	随意契約	工藤・須貝 共同企業体	2,952,473
20	維持管理用鋼管 製作等接合工事	鋼 構造物	3,800,000	3,800,000	指名競争	須藤工業㈱	520,096

表 3-7-6 08 年度単価契約工事一覧表

単位:円

No.	工事件名	工事種類	予定価格	落札価格	入札方法	落札業者	最終契約金額
1	給水管維持その5工事	水道施設	18,477,947	18,350,000	一般競争	浅川・丸善 共同企業体	226,087,984
2	給水管維持その2工事	水道施設	18,163,554	15,439,021	一般競争	小沼・日東 共同企業体	218,278,725
3	給水管維持その6工事	水道施設	18,340,344	18,100,000	一般競争	丸栄・山崎 共同企業体	192,066,694
4	水道施設等緊急修理その2工事	水道施設	17,757,882	17,600,000	一般競争	藤原・浅川 共同企業体	160,554,287
5	給水管維持その3工事	水道施設	18,064,720	17,500,000	一般競争	追川・山崎 共同企業体	151,835,583
6	水道施設等緊急修理その5工事	水道施設	18,149,523	18,000,000	一般競争	重田造園・堀一 共同企業体	148,547,835
7	水道施設等緊急修理その1工事	水道施設	17,702,228	17,480,000	一般競争	岡村・石塚 共同企業体	96,680,123
8	給水管維持その4工事	水道施設	18,400,470	18,000,000	一般競争	幸伸・横山 共同企業体	96,283,975
9	水道施設等緊急修理その3工事	水道施設	17,671,927	17,500,000	一般競争	PBS・清生 共同企業体	90,047,504
10	水道施設等緊急修理その4工事	水道施設	18,055,911	17,900,000	一般競争	幸伸・小田 共同企業体	78,502,083
11	給水管維持その1工事	水道施設	18,124,594	17,900,000	一般競争	加藤・小田 共同企業体	77,580,273
12	水道施設等緊急修理その6工事	水道施設	18,025,155	18,000,000	一般競争	清生・追川 共同企業体	45,819,847
13	道路標示復旧工事	塗装	284,397	284,390	一般競争	大道産業 株式会社	27,616,267
14	給水管維持等路面復旧その2工事	水道施設	17,366,351	16,950,000	随意契約	藤和・日東 共同企業体	11,365,386
15	緊急修理等路面復旧その2工事	水道施設	17,103,860	17,150,000	随意契約	織戸・河合 共同企業体	10,067,955
16	緊急修理等路面復旧その1工事	水道施設	17,306,751	16,800,000	随意契約	小沼・関トウ共 同企業体	4,051,747
17	緊急修理等路面復旧その3工事	水道施設	17,284,750	17,080,000	随意契約	黒川・追川 共同企業体	815,584

まとめ

以上の 2008 年度川崎市発注の公共工事を分析の特徴をまとめると以下のとおりとなる。

1. 発注側からみた特徴

- 1) 全国的な地方自治体の公共事業発注金額は減少傾向にあるが、川崎市の 05 年度から 4 年間の推移を見る限り、発注金額は増加傾向にある。その中でも大規模工事の増加が著しく、大規模工事への偏重の傾向が拡大してきている。
- 2) 発注部局ではまちづくり局が発注金額を大きく増大させてきている。川崎駅周辺再開発などに伴うインフラ整備に重点化した投資が行なわれてきている。
- 3) 地域別にみると、川崎区に重点化した投資が行なわれている。川崎駅周辺開発だけでなく、臨海部における廃棄物埋立護岸工事など大規模事業が次々と発注されている。

2. 受注側からみた特徴

- 1) 市発注工事への入札参加申請を提出した市内業者のうち、年間一件も受注できなかった業者が 50%強～60%強存在する。
- 2) 受注業者を資本金階層別にみると資本金 1 千万円未満の小零細業者は 4 年間一貫して年間総額 10 億円にも満たない。資本金 1 千万円～5 千万円の地域中小・中堅業者階層では 08 年度には全体金額の 35%程度を確保している。
これに対して資本金 10 億円以上の全国的大手業者層では毎年度 120 億円以上の工事を受注している。
- 3) 05 年度からの受注金額は 05 年度の 452 億円から 08 年度の 617 億円へと大きく増加しているが、この増加分を吸収したのが市外業者及び J V である。市外業者は 05 年度の 89 億円から 08 年度 132 億円へと、J V は 05 年度の 109 億円から 08 年度の 186 億円へと大きく受注金額を伸ばしている。
- 4) J V 受注を構成業者ごとに分解し、単独受注に加算してみると、市内業者の受注比率は 08 年度では全体受注額の 58%にも達する。また準市内業者では 20%になる。
- 5) 市内業者は 7 つの行政区で満遍なく工事受注が行なわれているが、準市内業者および市外業者は川崎区に大きく偏って受注が確保されている。
- 6) 市内業者を建設業協会会員・非会員業者別に 4 年間の受注金額をみると会員業者が 60%前後を受注し、非会員業者が 40%前後の受注率となっている。非会員業者の一社平均年間受注金額は 3 千万～4 千万円で会員業者の 3 分の 1 以下である。
また、会員業者を資本金階層別に受注金額をみると、資本金 1 千万円未満業者はほとんど受注できない状況になっている。これに対して資本金 1 千万～5 千万円階層では全体の 80%前後の受注金額を確保している。建設業協会の中での小零細業者の淘汰が進行している。
- 7) 08 年度の J V 受注工事 59 件の中で市内業者同士の J V が 31 件ある。このうち 15 件は水道局の単価契約に基づく J V である。また学校の大規模改修や増改築、市

営住宅の新築など 5 件の大規模建築が市内業者野 J V によって施工されている。

3. 入札・契約面からみた特徴

- 1) 条件付一般競争入札における条件として業種別業者格付とそれに基づく一件ごとの発注工事のランク分類の公正・公平な配分が重要となるが、業種別格付けにおいて主要 7 業種以外の 24 業者の格付設定が行なわれていないこと、主要 7 業種のうち 4 業種が A～C の 3 ランクのみであること、また発注標準金額において A ランクの金額が低く設定されているため、B～D ランクのコツ額がより低くなり、A ランク業者に有利な条件設定がなされているという問題が発生している。
- 2) 地域要件がランク別発注標準と組み合わせられているが、A ランク工事は準市内業者から市内業者の比率が少しずつ増加しているが、さらに市内業者の比率を高めるよう地域要件を強化する必要がある。また、ランク設定のない 24 業種では市外業者に受注金額が偏っている。分離発注などを通じて市内業者への地域要件を強化する必要がある。
- 3) 随意契約金額が 05 年度の 45 億円から 08 年度には 90 億円と 2 倍に増加している。業種別にみると 05 年度から 4 年間で「清掃施設」では 99 億円も随意契約で発注されている。業種全体の特徴としては土木や建築工事よりも清掃、機械、空調、電気、水道施設など設備関係の業種に随意契約が集中している。受注業者では J F E 関係と三菱重工業関係がこの 4 年間で大量受注している。随意契約を行なう理由としてはケース 2 とケース 6 が多くを占めている。小額工事で競争に付するに値しないというケース 1 によるものがこの 4 年間で一件もない。
- 4) 07 年度から総合評価型入札方式が試行され、2 年間で 28 件の総合評価案件があったが、このうち入札金額が一位以外の業者が落札した案件は 3 件しかない。また、業者の辞退等で入札者が一社のみとなったのが 11 件ある。今後、総合評価方式を定着させるためには、落札者算定方式を除算方式から加算方式に転換するとともに、価格以外の評価項目の点数を引き上げるなどの工夫が必要である。
- 5) 落札率は 05 年度以降徐々に低下しているが、08 年度では 92.6% と横浜市と比較しても激しい低価格競争に晒されているという状況ではない。
- 6) 水道局の単価契約は件数では 05 年度の 52 件から 08 年度 17 件へと大幅に減少しているが単価契約金額では増加している。工事内容は給水管の緊急補修及び路面の緊急復旧工事であるが、これら工事を年間通じて市内業者と契約することは市民にとって緊急時の安全の保障になるとともに、業者にとっても安定的仕事の確保につながる。しかし、受注業者が一部に偏ることのないよう入札には透明性を確保するとともに、最終契約金額は出来高査定によって決定されるがこれを厳格に行なう市の体制が求められる。

別添資料

05年度 随意契約一覧

単位：円

No.	工事件名	業種名	予定価格 (税抜)	落札金額	落札業者名	変更後 税込変更 契約金額
1	住友生命川崎ビル7階事務室原状回復工事	建築	3,071,691	3,050,000	ワールド建設株式会社	3,202,500
2	浮島処理センター各炉耐火物ほか補修工事	清掃施設	29,246,074	28,800,000	JFE環境ソリューションズ株式会社	30,240,000
3	入江崎総合スラッジセンターほか誘引ファン用電動機整備その他工事	電気	20,317,968	19,000,000	富士電機システムズ株式会社 新横浜サービスセンター	19,950,000
4	高津区役所冷温水発生機補修工事	空調・衛生	4,570,542	4,570,000	鹿島環境設備株式会社	4,798,500
5	橘処理センター粗大ごみ処理施設剪断式破砕機補修工事	清掃施設	2,877,711	2,800,000	JFE環境ソリューションズ株式会社	2,940,000
6	宮前区内知的障害者入所更生施設用地外周整備工事	土木	128,587,140	123,000,000	宮田・吉孝共同企業体	129,150,000
7	南部市場ガス設備補修工事	機械	3,281,000	3,200,000	東京ガス株式会社	3,360,000
8	南部リサイクルセンター2号瓶サイズ分け装置ほか補修工事	清掃施設	4,917,508	4,800,000	JFE環境ソリューションズ株式会社	5,040,000
9	堤根処理センター1号炉投入ホッパー補修工事	清掃施設	6,946,305	6,800,000	三菱重工環境エンジニアリング株式会社	7,140,000
10	麻生区役所ガス管改修工事	機械	1,790,000	1,790,000	東京ガス株式会社	1,879,500
11	浮島処理センター3号炉ろ過式集じん器ダストコンベヤ補修工事	清掃施設	26,619,336	26,000,000	JFE環境ソリューションズ株式会社	27,300,000
12	北部市場ガス設備補修工事	機械	7,607,000	7,607,000	東京ガス株式会社	7,987,350
13	入江崎総合スラッジセンターほか調整槽攪拌機整備その他工事	機械	14,868,512	14,500,000	大平洋機工株式会社 横浜営業所	15,225,000
14	浮島処理センターごみクレーンバケット補修工事	機械	11,459,852	11,000,000	株式会社福島製作所	11,550,000
15	等々力水処理センターNo.4酸素製造装置整備その他工事	機械	8,039,195	8,000,000	昭和エンジニアリング株式会社	8,400,000
16	橘処理センター2号炉ろ過式集じん器ろ布補修工事	清掃施設	91,936,805	90,300,000	三菱重工環境エンジニアリング株式会社	94,815,000
17	入江崎総合スラッジセンター遠心濃縮機整備工事	機械	35,596,440	35,300,000	月島機械株式会社 横浜支店	37,065,000
18	浮島理立事業所トラックスケール補修工事	機械	4,747,525	4,550,000	株式会社クボタ 東京本社	4,777,500
19	堤根処理センター2号炉炉内耐火物ほか補修工事	清掃施設	10,968,903	10,800,000	三菱重工環境エンジニアリング株式会社	11,340,000
20	浮島処理センター粗大ごみ処理施設回転破砕機補修工事	清掃施設	2,544,745	2,500,000	JFE環境ソリューションズ株式会社	2,625,000
21	港湾振興会館施設補修工事	内装	6,641,600	6,640,000	有限会社総合インテリア創伸	6,972,000
22	橘処理センターエレベーター設備基幹改良工事	機械	14,310,568	13,800,000	東芝エレベーター株式会社 神奈川支社	14,490,000
23	麻生水処理センターNo.1・2細目自動除じん機整備工事	機械	16,208,378	15,200,000	前澤工業株式会社 横浜支店	15,960,000
24	加瀬水処理センターほか水中エアレータ整備その他工事	機械	33,576,642	33,400,000	株式会社荏原製作所 品川事務所	35,070,000
25	市民ミュージアム冷凍機補修工事	空調・衛生	2,863,712	2,850,000	荏原冷熱システム株式会社 神奈川営業所	2,992,500
26	恵楽園冷温水発生機補修工事	空調・衛生	6,367,363	6,350,000	荏原冷熱システム株式会社 神奈川営業所	6,667,500
27	加瀬クリーンセンター2系ごみ圧縮機ラムシリンダー補修工事	清掃施設	7,760,223	7,500,000	三菱重工環境エンジニアリング株式会社	7,875,000
28	浮島処理センター1号炉耐火物補修工事	清掃施設	16,585,341	16,200,000	JFE環境ソリューションズ株式会社	17,010,000
29	等々力水処理センター酸素製造装置用空気圧縮機整備工事	機械	54,634,535	53,900,000	石川島汎用機サービス株式会社 東京事業所	56,595,000

No.	工事件名	業種名	予定価格 (税抜)	落札金額	落札業者名	変更後 税込変更 契約金額
30	登戸新町仮排水所排水ポンプ整備工事	機械	2,309,769	2,200,000	新明和工業株式会社産機システム 事業部流体営業本部	2,310,000
31	加瀬水処理センター都市ガス引き込み配 管取替工事	機械	2,888,000	2,888,000	東京ガス株式会社	3,032,400
32	橋処理センター煙突設備基幹改良工事	とび・ 土工	5,870,411	5,710,000	東洋テクノ株式会社	5,995,500
33	等々力水処理センターほか2系用曝気機 整備その他工事	機械	16,488,350	16,000,000	日本ギア工業株式会社 京浜事業所	16,800,000
34	宮前市民館自動制御設備改修工事	空調・ 衛生	5,414,457	5,300,000	株式会社山武 藤沢テクノセンター	5,565,000
35	南河原保育園ガス設備改修工事	機械	2,646,000	2,646,000	東京ガス株式会社	2,778,300
36	踊場ポンプ場No.3汚水ポンプ整備工事	機械	1,379,862	1,350,000	大太平洋機工株式会社 横浜営業所	1,417,500
37	入江崎水処理センターほか西系No.4主ボ ンプ整備その他工事	機械	25,967,403	25,500,000	株式会社荏原製作所 品川事務所	26,775,000
38	浮島処理センター2号炉ろ過式集じん器 補修工事	清掃 施設	47,000,298	46,500,000	JFE環境ソリューションズ 株式会社	48,825,000
39	海底トンネル人道ファン補修工事	機械	8,432,155	8,200,000	株式会社荏原製作所 品川事務所	8,610,000
40	仮称宮前スポーツセンター・犬蔵中学校格 技室等新築追加工事	建築	1,614,837	1,570,000	北島・露木・横山共同企業体	1,648,500
41	等々力水処理センターNo.2放流ポンプ用 電動機整備工事	電気	11,968,803	11,500,000	東洋電機製造株式会社 横浜営業所	12,075,000
42	入江崎水処理センター西系No.4主ポンプ 用電動機整備その他工事	電気	9,639,035	9,400,000	富士電機システムズ株式会社 新横浜サービスセンター	9,870,000
43	麻生水処理センターほかNo.1ブロウ用電 動機整備その他工事	電気	25,857,413	24,000,000	株式会社東芝首都圏南支社	25,200,000
44	堤根処理センター洗煙塔デミスター補修 工事	清掃 施設	19,038,095	18,500,000	三菱重工環境エソニア株式会社	19,425,000
45	橋処理センター基幹改良工事	清掃 施設	2,285,771,4 00	2,240,000,0 00	三菱重工業株式会社	2,352,000,000
46	浮島2期廃棄物埋立B護岸(地盤改良)そ の11工事	土木	107,839,214	99,000,000	鹿島・鉄建共同企業体	105,010,500
47	浮島2期廃棄物埋立B護岸(地盤改良)そ の12工事	土木	217,828,214	211,000,000	東亜・みらい共同企業体	220,521,000
48	堤根処理センター1号炉耐火物ほか補修 工事	清掃 施設	39,500,049	38,500,000	三菱重工環境エソニア 株式会社	40,425,000
49	浮島処理センター粗大ごみ処理施設剪断 式破砕機ほか補修工事	清掃 施設	3,194,680	3,100,000	JFE環境ソリューションズ 株式会社	3,255,000
50	浮島処理センター生活環境学習室展示設 備補修工事	内装	5,944,405	5,710,000	株式会社日展東京支店	5,995,500
51	川崎競輪場メインスタンド改修衛生設備 追加工事	空調・ 衛生	8,966,103	8,850,000	日東工業株式会社	9,292,500
52	川崎競輪場メインスタンド改修追加工事	建築	15,231,475	15,000,000	株式会社渡辺組	15,750,000
53	川崎競輪場メインスタンド改修電気その 他設備追加工事	電気	3,175,682	3,100,000	株式会社寿電興	3,255,000
54	中原区内都市計画道路宮内新横浜線道路 築造(その4)工事	土木	11,347,730	11,000,000	小沼・日東共同企業体	11,550,000
55	下小田中教職員住宅解体撤去追加工事	とび・ 土工	647,934	620,000	大道産業株式会社	651,000
56	浮島2期廃棄物埋立B護岸(地盤改良)そ の13工事	土木	64,263,572	63,000,000	鹿島・鉄建共同企業体	66,748,500
57	浮島1期廃棄物埋立処分地構内整地工事	土木	2,764,723	2,730,000	岡村建興株式会社	2,866,500
58	南部リサイクルセンターアルミ圧縮機ほ か補修工事	清掃 施設	5,334,466	5,140,000	JFE環境ソリューションズ 株式会社	5,397,000

No.	工事件名	業種名	予定価格 (税抜)	落札金額	落札業者名	変更後 税込変更 契約金額
59	堤根処理センター煙突設備改造工事	とび・ 土工	297,970,200	296,000,000	東洋テクノ株式会社	310,800,000
60	堤根処理センター計量データ処理装置補修 工事	機械	6,329,367	6,200,000	株式会社クボタ 東京本社	6,510,000
61	古市場住宅新築第1号ガス設備工事	機械	12,777,000	12,777,000	東京ガス株式会社	13,415,850
62	川崎駅西口堀川町地区市民文化施設整備工 事	建築	228,286,169	226,000,000	清水建設株式会社 横浜支店	238,386,750
63	橋処理センター鉄道輸送用ごみ積替え設備 基幹改良工事	機械	11,893,810	10,900,000	株式会社坪倉興業	11,445,000
64	堤根処理センター資源化処理施設アルミ選 別機ほか補修工事	清掃 施設	1,773,822	1,730,000	極東開発工業株式会社 東京支社	1,816,500
65	等々力水処理センターNo.4計装用コンプレ ッサー整備工事	機械	1,679,831	1,650,000	川崎重工業株式会社 東京本社	1,732,500
66	麻生区内主要地方道世田谷町田道路改良工 事ほか	土木	78,992,100	78,000,000	三井住友建設株式会社 横浜支店	81,900,000

06 年度随意契約一覧

単位:円

No.	工事件名	業種名	予定価格 (税抜)	落札金額	落札業者名	変更後 税込変更 契約金額
1	(仮称)大宮中幸町線堀川町地区道路整備 工事	土木	19,908,009	19,800,000	西松・桔梗共同企業体	22,376,550
2	浮島処理センター各炉耐火物ほか補修工 事	清掃 施設	53,722,627	53,000,000	J F E 環境ソリューションズ 株式会社	55,650,000
3	橋処理センタープラント動力バスタクト 補修工事	清掃 施設	7,324,267	7,000,000	三菱重工環境エンジニアリング株 式会社	7,350,000
4	渡田ポンプ場ほかNo.1 汚水ポンプ整備そ の他工事	機械	16,033,950	15,900,000	株式会社荏原製作所品川事 務所	16,695,000
5	橋処理センター粗大ごみ処理施設剪断式 破砕機補修工事	清掃 施設	3,289,707	3,200,000	J F E 環境ソリューションズ 株式会社	3,360,000
6	中原区役所冷温水発生機補修工事	空調・ 衛生	3,903,570	3,900,000	テクノ矢崎株式会社横浜支 店	4,095,000
7	南部リサイクルセンター1号自動色選別 装置仕分けコンベヤほか補修工事	清掃 施設	5,884,560	5,700,000	J F E 環境ソリューションズ株式会 社	5,985,000
8	第3庁舎駐車場管制設備改修工事	電気	6,412,230	6,100,000	日信防災株式会社	6,405,000
9	浮島処理センター蒸気復水器補修工事	清掃 施設	419,788,710	410,000,000	J F E 環境ソリューションズ株式会 社	430,500,000
10	生田中学校耐震補強追加工事	建築	3,302,640	3,200,000	清宮建築合資会社	3,360,000
11	等々力水処理センターNo.5 計装用コンプ レッサー整備工事	機械	1,663,200	1,650,000	川崎重工業株式会社東京本 社	1,732,500
12	市民ミュージアム冷凍機補修工事	空調・ 衛生	4,869,810	4,600,000	荏原冷熱システム株式会社 神奈川営業所	4,830,000
13	堤根処理センター2号炉第2キャビティ 下ホッパ耐火物ほか補修工事	清掃 施設	26,285,490	26,000,000	三菱重工環境エンジニアリング株 式会社	27,300,000
14	都市計画道路川崎駅西口線道路整備工事	土木	132,796,718	129,000,000	小沼・喜美代共同企業体	176,305,500
15	麻生老人福祉センター冷温水発生機 補修工事	空調・ 衛生	5,652,306	5,550,000	三洋商業サービス 株式会社関東サポートセン ター横浜サポートステー ション	5,827,500
16	生田中学校耐震補強追加その2工事	建築	3,174,930	3,000,000	清宮建築合資会社	3,150,000
17	特別養護老人ホームすみよし直流電源装 置改修工事	電気	2,527,470	2,300,000	古河電池株式会社	2,415,000
18	加瀬クリーンセンター1系ごみ圧縮機ラム シリンダー補修工事	清掃 施設	9,054,935	8,845,000	三菱重工環境エンジニアリング 株式会社	9,287,250
19	浮島処理センター各炉耐火物ほか補修追 加工事	清掃 施設	3,618,450	3,600,000	J F E 環境ソリューションズ 株式会社	3,780,000
20	東小田小学校耐震補強電気その他設備追 加工事	電気	348,250	340,000	有限会社志村電設工業	357,000
21	特別養護老人ホームすみよし自動火災報 知設備改修工事	消防	1,501,830	1,430,000	ホーチキ株式会社 横浜支店	1,501,500
22	浮島処理センター粗大ごみ処理施設回転 破砕機補修工事	清掃 施設	3,552,120	3,500,000	J F E 環境ソリューションズ 株式会社	3,675,000
23	等々力水処理センター酸素製造装置用空 気圧縮機整備工事	機械	40,322,700	39,500,000	石川島汎用機サービス 株式会社 東京事業所	41,475,000
24	市長応接室ほか内部改修その他追加工事	内装	371,134	370,000	株式会社日政	388,500
25	入江崎総合スラッジセンター2系遠心濃 縮機整備工事	機械	38,907,000	38,500,000	月島機械株式会社横浜支店	43,428,000
26	等々力水処理センター2系反応タンク曝 気機整備工事	機械	10,706,850	10,000,000	日本ギア工業株式会 社京浜事業所	10,500,000
27	橋処理センター粗大ごみ処理施設回転式 破砕機コンプレッションフィーダ補修工 事	清掃 施設	14,493,600	14,200,000	J F E 環境ソリューションズ 株式会社	14,910,000

No.	工事件名	業種名	予定価格 (税抜)	落札金額	落札業者名	変更後 税込変更 契約金額
28	橋処理センター電灯・200V動力バスダクト補修工事	清掃 施設	2,610,630	2,550,000	三菱重工環境エンジニアリング 株式会社	2,677,500
29	井田1丁目木造2階建家屋解体撤去追加工事	とび・土 工	170,829	167,000	株式会社横山工務店	175,350
30	橋中学校校舎改築・仮称橋中学校内保育所新築追加工事	建築	125,412,785	123,500,000	ジェクト・露木・宮田 共同企業体	129,675,000
31	橋中学校校舎改築・仮称橋中学校内保育所新築電気その他設備追加工事	電気	53,877,260	52,000,000	株式会社原電光社	56,551,950
32	橋中学校校舎改築・仮称橋中学校内保育所新築衛生その他設備追加工事	空調・ 衛生	60,585,550	60,300,000	富士設備・ミカセ 共同企業体	63,315,000
33	かわさき北部斎苑火葬棟空調と設備補修工事	空調・ 衛生	32,638,320	31,200,000	芝工業株式会社 川崎営業所	32,760,000
34	入江崎水処理センターほか東系No.4プロワ用電動機整備その他工事	機械	27,076,500	26,900,000	富士電機システムズ 株式会社首都圏南部支店	28,245,000
35	浮島処理センター中央監視設備補修工事	電気	8,047,710	7,950,000	東芝電機サービス株式会社 神奈川支店	8,347,500
36	江川ポンプ場発電機整備その他工事	機械	34,254,000	34,000,000	株式会社東芝首都圏南支社	38,682,000
37	麻生消防署石綿含有吹付け材除去等追加工事	とび・ 土工	1,061,665	1,000,000	フジヤ機工株式会社	1,050,000
38	東生田寮解体撤去追加工事	とび・ 土工	191,808	185,000	正宗産業株式会社	194,250
39	橋処理センター1号炉蒸気式空気予熱器・耐火物補修工事	清掃 施設	29,593,080	29,000,000	三菱重工環境エンジニアリング 株式会社	30,450,000
40	堤根処理センター資源化処理施設金属圧縮機油圧ユニットほか補修工事	清掃 施設	4,244,493	4,100,000	極東開発工業株式会社 東京支社	4,305,000
41	浮島処理センター3号炉ろ過式集じん器その他補修工事	清掃 施設	58,675,320	57,500,000	JFE環境ソリューションズ 株式会社	60,375,000
42	等々力水処理センターNo.2放流ポンプ用減速機整備その他工事	機械	20,750,400	20,500,000	住友重機械エンバィロメント 株式会社	21,525,000
43	入江崎総合スラッジセンター脱水機棟床排水ポンプ整備その他工事	機械	3,802,380	3,750,000	大平洋機工株式会社 横浜営業所	3,937,500
44	菅北浦仮排水所排水ポンプ整備その他工事	機械	11,097,900	10,150,000	新明和工業株式会社 産機システム事業部 流体営業本部	11,151,000
45	上河原堰堤維持補修工事	機械	3,174,050	3,150,000	日立造船鉄構 株式会社東京支社	3,307,500
46	川崎球場グラウンド改修工事	土木	25,559,771	25,400,000	鹿島道路株式会社 横浜支店	26,670,000
47	東扇島換気所エレベータ設備ほか補修工事	機械	7,096,320	7,000,000	東芝エレベータ 株式会社神奈川支社	7,350,000
48	登戸行政サービスコーナー設置工事	建築	15,158,622	15,000,000	鉄建建設株式会社 横浜支店	15,750,000
49	富士見中学校外柵等外構整備その他追加工事	建築	3,187,611	2,980,000	株式会社鈴重建設	3,129,000
50	堤根処理センター1号炉耐火物その他補修工事	清掃 施設	9,295,290	9,100,000	三菱重工環境エンジニアリング株 式会社	9,555,000
51	等々力陸上競技場自家発電設備補修工事	電気	6,348,100	6,300,000	東芝電機サービス 株式会社神奈川支店	6,615,000
52	平瀬川支川護岸築造工事	土木	5,988,802	5,900,000	戸田建設株式会社 横浜支店	6,195,000
53	浮島処理センターNo.2集合ダストコンベアその他補修工事	清掃 施設	11,162,250	11,000,000	JFE環境ソリューションズ 株式会社	11,550,000
54	等々力水処理センターNo.3計装用コンプレッサ整備工事	機械	2,139,250	2,100,000	川崎重工業株式会社 東京本社	2,205,000

No.	工事件名	業種名	予定価格 (税抜)	落札金額	落札業者名	変更後 税込変更 契約金額
55	南部リサイクルセンター1・2号瓶整列装置その他補修工事	清掃施設	5,631,700	5,400,000	JFE環境ソリューションズ株式会社	5,670,000
56	浮島処理センター灰クレーンバケット補修工事	機械	15,506,370	14,800,000	株式会社福島製作所	15,540,000
57	下水道光ファイバーネットワークケーブル修理工事	通信	6,099,350	6,000,000	昭和電線ケーブルシステム株式会社	6,300,000
58	大島地区下水枝線第118号工事	下水管きよ	2,109,789	2,100,000	株式会社小沼工務店	2,320,500
59	川崎国際生田緑地ゴルフ場乗用カート設備改修工事	電気	1,535,285	1,500,000	日立バッテリー販売サービス株式会社	1,575,000
60	等々力水処理センター1・2系水処理電気設備修理工事	電気	2,875,550	2,850,000	株式会社東芝 首都圏南支社	2,992,500
61	王禅寺処理センターEP灰搬送ライン補修工事	清掃施設	8,692,320	8,400,000	三菱重工環境エンジニアリング株式会社	8,820,000
62	加瀬水処理センター反応タンク攪拌機整備その他工事	機械	14,483,700	14,450,000	株式会社荏原製作所 品川事務所	15,172,500
63	青少年科学館D51型蒸気機関車塗装工事	機械	2,345,651	2,300,000	東日本トランスポートエック株式会社	2,415,000
64	川崎シンフォニーホール冷暖房その他設備改修工事	空調・衛生	8,037,610	7,800,000	株式会社大気社 横浜支店	8,190,000
65	夢見ヶ崎動物公園動物病院用電源その他設備追加工事	電気	2,521,946	2,460,000	田島電業株式会社	2,583,000
66	等々力緑地中央グラウンド第3期整備工事ほか	造園	24,205,157	23,200,000	株式会社大山組	24,360,000
	浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その5工事	土木	114,245,715	110,000,000	東亜建設工業株式会社 横浜支店	116,550,000
67	麻生区内都市計画道路尻手黒川線道路築造(その3)工事	土木	118,320,810	117,000,000	三井住友・藤木 共同企業体	122,850,000
68	川崎シンフォニーホール空調用電気ボイラー分解整備工事	空調・衛生	3,206,790	3,050,000	株式会社 東京エネシス京浜支社	3,202,500
69	小倉北住宅新築第2号ガス設備工事	機械	16,107,000	16,107,000	東京ガス株式会社	16,912,350
70	高津区内都市計画道路野川柿生線(溝口駅南口駅前広場)歩行者専用通路(エレベーター)新設工事	建築	59,718,780	59,500,000	清水建設株式会社 横浜支店	62,475,000
71	浮島2期廃棄物埋立C護岸(地盤改良)その6工事	土木	32,573,705	32,000,000	東亜建設工業 株式会社横浜支店	33,726,000
72	廃油処理施設撤去工事その2	とび・土工	14,872,265	14,400,000	須藤開発興業 株式会社	15,120,000
73	西御幸小学校敷地内備蓄倉庫新築工事	建築	2,301,750	2,300,000	日成ビルド工業 株式会社神奈川支店	2,415,000
74	多摩区内都市計画道路向ヶ丘遊園駅菅生線道路築造(補償)工事	土木	10,114,940	10,000,000	吉孝・真成 共同企業体	7,355,250
75	いさご会館外壁タイル剥落防止及び防水改修追加工事	建築	577,422	570,000	株式会社渡辺組	598,500
76	久地小学校校舎棟増築追加工事	建築	56,887,055	56,800,000	佐田建設株式会社	59,640,000
77	市民ミュージアム特別室等改修追加工事	建築	14,981,714	14,500,000	株式会社井上工務店	15,225,000

07 年度随意契約一覧表

単位:円

No.	件名	業種名	予定価格	契約金額	業者名	変更後 税込変更 契約金額
1	堤根処理センター基幹設備改修工事	清掃 施設	326,086,200	320,000,000	三菱重工環境エンジニアリング 株式会社	320,000,000
2	コンテナターミナル コンテナクレーン補 修工事	機械	127,589,220	127,000,000	J F E 環境ソリューションズ 株式会社	127,000,000
3	橋処理センター3号炉ろ過式集じん器ろ布 その他補修工事	清掃 施設	123,572,790	121,900,000	三菱重工環境エンジニアリング 株式会社	121,900,000
4	コンテナターミナルトランスファークレー ン補修工事	機械	85,047,930	85,000,000	J F E 環境ソリューションズ 株式会社	85,000,000
5	平間配水所ほか1箇所 監視制御設備 改良工事	電気	83,110,000	82,500,000	富士電機水環境システムズ ㈱	82,500,000
6	長沢浄水場 加圧脱水機3・4号整備工事	機械	76,600,000	75,000,000	月島テクノメンテサービ ス㈱	75,000,000
7	新川崎地区都市基盤整備(道路) その2整備工事	土木	47,760,446	47,700,000	青木あすなる・小沼 共同企業体	51,514,000
8	浮島処理センター各炉耐火物 その他補修工事	清掃 施設	48,886,200	48,000,000	J F E 環境ソリューションズ 株式会社	48,000,000
9	宮前区内都市計画道路向ヶ丘遊園駅 菅生線(犬蔵)道路築造工事ほか	土木	47,720,904	47,350,000	河合土木株式会社	47,350,000
10	入江崎総合スラッジセンター3系 遠心濃縮機整備工事	機械	39,213,900	39,000,000	月島機械株式会社 横浜支店	39,000,000
11	大島ポンプ場高段No.4汚水ポンプ整備 その他工事	機械	38,580,300	38,500,000	株式会社荏原製作所 首都圏営業所	38,500,000
12	入江崎水処理センター東系No.3 主ポンプ用電動機整備その他工事	電気	36,095,400	36,000,000	富士電機システムズ株式会 社 新横浜サービスセンター	36,000,000
13	江川ポンプ場No.3雨水ポンプ整備 その他工事	機械	35,788,500	35,700,000	株式会社荏原製作所 首都圏営業所	35,700,000
14	王禅寺処理センター2、3号炉ガス冷却室 耐火物その他補修工事	清掃 施設	35,170,740	34,800,000	三菱重工環境エンジニアリング 株式会社	34,800,000
15	等々力水処理センター酸素発生装置用 空気圧縮機整備工事	機械	30,646,000	30,000,000	株式会社I H I 回転機械 汎用機サービス事業部東京 事業所	30,000,000
16	久地小学校屋外附帯工事	建築	26,158,815	26,100,000	大藤・岡・石川・吉田共同企 業体	26,100,000
17	新川崎地区都市基盤整備(道路) その1整備工事	土木	20,365,926	20,000,000	N I P P O ・大栄 共同企業体	25,370,000
18	幸区役所空調和其他設備改修追加工事	空調・ 衛生	24,273,025	24,200,000	株式会社 千年水道工業所	24,200,000
19	新川崎道路新設に伴う支障物撤去・移設そ の1工事	機械	22,875,570	22,800,000	アマノ株式会社 神奈川支店	22,800,000
20	加瀬クリーンセンターコンパクトラム その他補修工事	清掃 施設	22,458,212	22,000,000	三菱重工環境エンジニアリング 株式会社	22,000,000
21	川崎市アートセンター展示コーナーほか設 置工事	建築	22,234,743	22,000,000	株式会社 北島工務店	22,000,000
22	第3庁舎地下3階非常用発電機設備 改修工事	電気	22,611,600	20,000,000	東芝電機サービス株式会社 神奈川支店	20,000,000
23	生田浄水場 特高受変電設備修理工事	電気	20,080,000	20,000,000	㈱ティエスジー	20,000,000
24	等々力球場スコアボード補修工事	電気	20,798,670	19,950,000	東芝ライテック株式会社 首都圏第二電材営業部	19,950,000
25	麻生水処理センターNo.2ブロワ用電動機整 備その他工事	電気	17,909,100	17,500,000	株式会社東芝 首都圏南支社	17,500,000
26	長沢浄水場 自家発電設備ディーゼル機関修理工事	機械	17,220,000	17,000,000	㈱池貝ディーゼル	17,000,000
27	京町雨水滞水池返送ポンプ用仕切弁 電気設備機能増設工事	電気	16,255,800	16,200,000	株式会社東芝 首都圏南支社	16,200,000

No.	件名	業種名	予定価格	契約金額	業者名	変更後 税込変更 契約金額
28	等々力水処理センター3系ほか 反応タンク曝気機整備工事	機械	16,483,500	16,000,000	日本ギア工業株式会社 京浜事業所	16,000,000
29	川縦整備 川縦共同溝配水管布設その 18工事に伴うアンカーフレーム製作及 び設置工事	水道 施設	15,460,000	15,450,000	大成・鹿島・戸田(高負) KJ124(4)~KJ132(1) トンネル特定建設工事共同 企業体	15,450,000
30	麻生水処理センターNo.3細目除じん 機整備その他工事	機械	15,236,100	15,100,000	前澤工業 株式会社 横浜 支店	15,100,000
31	生田浄水場 遠方監視制御装置用 入出力制御装置改良工事	電気	15,080,000	14,800,000	富士電機水環境システムズ (株)	14,800,000
32	川崎縦貫道路関連施設整備 川縦共同溝配水管布設その17工事	水道 施設	14,230,000	14,000,000	西松・勝村(高負)KJ132 (3)トンネル・共同溝特定 建設工事共同企業体	14,100,000
33	古市場住宅新築第2号ガス設備工事	空調・ 衛生	14,061,000	14,061,000	東京ガス 株式会社	14,061,000
34	等々力水処理センターNo.4 放流ポンプ用電動機整備工事	電気	12,059,400	12,000,000	株式会社東芝首都圏南支社	12,900,000
35	多摩区総合庁舎吸収式冷温水機等 補修工事	空調・ 衛生	11,946,330	11,900,000	荏原冷熱システム株式会社 神奈川営業所	11,900,000
36	木月No.3仮排水所排水ポンプ整備 その他工事	機械	11,583,000	11,000,000	新明和工業株式会社 産機システム事業部 営業本部	11,000,000
37	橋処理センター資源化処理施設 不燃物供給コンベヤ補修工事	清掃 施設	10,603,890	10,500,000	JFE環境ソリューションズ 株式会社	10,500,000
38	小倉北住宅新築第2号工事 駐車場ほか追加工事	建築	10,377,180	10,300,000	山澄・銚子塚・正宗 共同企業体	10,300,000
39	浮島処理センター圧力・差圧伝送器 補修工事	電気	10,140,570	9,700,000	東芝電機サービス株式会社 神奈川支店	9,700,000
40	堤根処理センターほか1か所 トラックスケール重量指示計補修工事	機械	9,409,950	9,230,000	株式会社クボタ東京本社	9,230,000
41	浮島処理センター2号炉耐火物 その他補修工事	清掃 施設	8,894,160	8,700,000	JFE環境ソリューションズ 株式会社	8,700,000
42	等々力水処理センターNo.3 酸素製造装置整備その他工事	機械	8,434,800	8,400,000	昭和環境システム株式会社	8,400,000
43	長沢浄水場急速ろ過池管廊除湿機・ダクト 修理工事	機械	9,880,000	8,300,000	(株)相互	8,300,000
44	南部リサイクルセンター瓶破砕機 その他補修工事	清掃 施設	8,367,480	8,160,000	JFE環境ソリューションズ 株式会社	8,160,000
45	下沼部400mm工事中破損復旧工事	水道 施設	9,383,995	8,100,000	大成機工(株)	8,100,000
46	緊急修理等路面復旧その2工事 (単価契約)	水道 施設	16,933,380	16,700,000	藤原・重田共同企業体	8,099,424
47	野川600mm伸縮管補強工事	水道 施設	8,860,000	8,100,000	日本ヴィクトリック(株)	7,340,000
48	入江崎水処理センター沈砂洗浄設備 給水ポンプ整備その他工事	機械	6,865,500	6,800,000	新明和工業株式会社 産機システム事業部営業本 部	6,800,000
49	藤崎住宅全面的改善ガス設備工事	空調・ 衛生	6,778,000	6,778,000	東京ガス 株式会社	6,778,000
50	新殿下橋水管橋防食工事	塗装	6,140,000	5,780,000	(株)アール・エヌ・ゴトー	5,950,000
51	登戸地区下水管きよ移設工事	下水 管きよ	5,998,800	5,900,000	鉄建・宮地建設工業 共同企業体	5,900,000
52	川縦整備 川縦共同溝配水管布設替 その19工事に伴うアンカーフレーム製 作及び設置工事	水道 施設	5,930,000	5,900,000	西松・勝村(高負)KJ132(3) トンネル共同溝特定建設工 事共同企業体	5,900,000

No.	件名	業種名	予定価格	契約金額	業者名	変更後 税込変更 契約金額
53	新川崎地区都市基盤整備（下水道） その1付帯工事	下水 管きよ	4,999,000	4,800,000	東鉄工業株式会社横浜支店	5,320,000
54	給水管維持等路面復旧その5工事 （単価契約）	水道 施設	15,397,126	15,200,000	深谷・横山共同企業体	5,184,750
55	京王稲田堤駅自転車等 第2、第3駐車場撤去工事	土木	4,689,062	4,630,000	京王建設株式会社 相模原支店	4,630,000
56	工業用水道 日本貨物鉄道(株) 他3箇所 電磁流量計修理工事	電気	4,480,000	4,340,000	㈱ティエスジー	4,340,000
57	男女共同参画センターガス設備補修工 事	空調・ 衛生	4,200,000	4,200,000	東京ガス 株式会社	4,200,000
58	古市場住宅新築第1号屋外附帯 その他追加工事	建築	4,054,050	4,000,000	株式会社 横山工務店	4,000,000
59	2号送水管 1200mm・1号送水管 800mm 仕切弁修理工事	機械	4,680,000	4,000,000	㈱前澤エンジニアリングサービス	4,000,000
60	緊急修理等路面復旧その1工事 （単価契約）	水道 施設	16,888,934	16,700,000	石塚・岡村共同企業体	3,908,322
61	浮島処理センター粗大ごみ処理施設 回転破砕機ライナ補修工事	清掃 施設	4,064,940	3,900,000	JFE環境ソリューションズ 株式会社	3,900,000
62	等々力陸上競技場大型映像装置改修工 事	電気	4,049,100	3,600,000	三菱電機プラントエンジニアリ ング株式会社神奈川支社	3,600,000
63	上水4号配水本管仕切弁 700mm修理工 事	水道 施設	3,440,000	3,400,000	㈱前澤エンジニアリングサービス	3,400,000
64	小倉北住宅新築第3号ガス設備工事	空調・ 衛生	3,384,000	3,384,000	東京ガス 株式会社	3,384,000
65	ミュージアム川崎シンフォニーホール 地下1階搬入ロースロープ改修工事	建築	3,369,523	3,300,000	清水建設株式会社 横浜支店	3,300,000
66	堤根処理センター資源化処理施設 ペットボトル減容機補修工事	清掃 施設	3,130,380	3,040,000	極東開発工業株式会社 東京支社	3,040,000
67	有馬小学校給食職員用シャワー室設置 その他工事	建築	3,068,380	3,000,000	大和リース株式会社 横浜支店	3,000,000
68	工業用水道 花王(株)他2箇所 電磁流量計修理工事	電気	3,030,000	3,000,000	㈱山武	3,000,000
69	緊急修理等路面復旧その3工事 （単価契約）	水道 施設	16,829,355	16,500,000	利建設・追川建設共同企業体	2,988,238
70	導水ずい道 電防14号移設その2工 事	電気	2,860,000	2,850,000	㈱ナカボーテック	2,850,000
71	給水管維持等路面復旧その2工事 （単価契約）	水道 施設	14,878,850	14,200,000	工藤・須貝共同企業体	2,811,879
72	渡田雨水滞水池No.2残留水ポンプ整備 その他工事	機械	2,791,800	2,600,000	大平洋機工株式会社 横浜営業所	2,600,000
73	市民ミュージアム冷凍機補修工事	空調・ 衛生	2,812,590	2,600,000	荏原冷熱システム株式会社 神奈川営業所	2,600,000
74	地域衛星通信ネットワーク 遠方監視制御設備工事	通信	2,301,750	2,300,000	株式会社東芝首都圏南支社	2,300,000
75	多摩区内都市計画道路向ヶ丘遊園駅 営生線道路築造（補償）工事	土木	1,959,608	1,850,000	株式会社吉孝土建	1,850,000
76	平間配水所 管理棟空調和設備改良工事	空調・ 衛生	1,624,000	1,600,000	㈱東洋社	1,600,000
77	工業用水道 プレス工業(株) 電磁流量計修理工事	電気	1,350,000	1,327,000	愛知時計電機(株)	1,327,000

08年度 随意契約工事一覧

単位:円

No.	件名	業種名	予定価格	契約金額	業者名	変更後 税込変更 契約金額
1	浮島処理センター基幹改良工事	清掃 施設	5,086,464,582	5,040,000,000	J F E 環境ソリューションズ 株式会社	5,292,000,000
2	江川1号雨水幹線その5工事	下水管	775,765,700	775,000,000	前田・東洋・藤木 共同企業体	813,750,000
3	浮島処理センタークレーン設備基幹改良工事	機械	303,394,410	300,000,000	富士ホイスト工業株式会社	315,000,000
4	堤根処理センター基幹設備改修工事	清掃 施設	265,700,160	260,000,000	三菱重工環境エンジニアリング 株式会社	273,000,000
5	コンテナターミナル荷役設備 補修工事	機械	256,999,562	256,000,000	J F E テクノス株式会社	258,082,650
6	浮島処理センター基幹改良前倒工事	清掃 施設	240,747,210	236,000,000	J F E 環境ソリューションズ 株式会社	247,800,000
7	御幸小学校大規模改修追加工事	建築	172,182,760	171,500,000	喜美代・高橋共同企業体	197,368,500
8	川崎縦貫道路関連施設整備川縦共同溝 配水管布設その18工事	水道 施設	138,280,000	138,250,000	大成・鹿島・戸田(高負) K J 1 2 4 (4) - K J 1 3 2 (1) トンネル特定建 設工事共同企業体	145,162,500
9	橋処理センター1号炉ろ過式集じん器 ろ布その他補修工事	清掃 施設	139,200,761	136,200,000	三菱重工環境エンジニアリング 株式会社	143,010,000
10	大師河原7号雨水幹線その1工事	下水管	94,904,430	94,500,000	西松・勝村(高負) K J 1 3 2 (3) トンネル・共同溝特定建設 工事共同企業体	104,328,000
11	王禅寺処理センター2、3号炉耐火物そ の他補修工事	清掃 施設	60,801,840	60,000,000	三菱重工環境エンジニアリング 株式会社	63,000,000
12	渋川3号雨水幹線その2工事	下水管	59,870,060	59,700,000	青木あすなる・みらい・小 沼共同企業体	62,685,000
13	大島ポンプ場高段NO. 3 汚水ポンプ整備その他工事	機械	55,468,840	55,000,000	株式会社荏原製作所	57,750,000
14	等々力水処理センターNo.3放流ポンプ 用電動機整備その他工事	電気	51,925,500	51,800,000	株式会社東芝	54,390,000
15	御幸小学校大規模改修衛生 その他設備追加工事	空調・ 衛生	50,397,745	50,200,000	吉浜・菱沼共同企業体	52,710,000
16	市道川崎町田線道路改良整備工事	土木	47,467,170	47,200,000	大成ロテック・織戸 共同企業体	49,560,000
17	入江崎水処理センター東系No.2ブロウ 用電動機整備その他工事	電気	46,381,500	45,500,000	メタウォーター株式会社	47,775,000
18	新城小学校大規模改修(改築棟)冷暖房 その他設備追加工事	空調・ 衛生	41,050,715	40,430,000	株式会社富士設備	42,451,500
19	新城小学校大規模改修追加工事	建築	37,597,070	37,500,000	株式会社大藤建設	39,375,000
20	蟹ヶ谷槍ヶ崎住宅新築第5号ガス設備 工事	空調・ 衛生	37,142,000	37,142,000	東京瓦斯株式会社	38,999,100
21	入江崎総合スラッジセンター4系遠心 濃縮機整備工事	機械	34,699,500	34,600,000	月島機械株式会社	38,052,000
22	等々力水処理センター酸素発生装置用 空気圧縮機整備工事	機械	34,788,600	34,200,000	株式会社I H I 回転機械	35,910,000
23	仮称有馬・野川地区生涯学習拠点施設新 築屋外附帯工事	建築	32,357,610	32,300,000	株式会社ハヤカワ	33,915,000
24	谷ヶ原取水所計装設備改良工事	電気	33,910,000	32,000,000	株式会社東芝	33,600,000
25	等々力水処理センター水処理調節計取 替その他工事	電気	30,789,000	30,500,000	メタウォーター株式会社	32,025,000
26	等々力水処理センター3系ほか反応タ ンク曝気機整備工事	機械	30,284,100	30,000,000	日本ギア工業株式会社	31,500,000

No.	件名	業種名	予定価格	契約金額	業者名	変更後 税込変更 契約金額
27	川崎縦貫道路関連施設整備川縦共同溝配水管布設その19工事	水道施設	29,570,000	29,500,000	西松・勝村（高負）K J 1 3 2（3）トンネル・共同溝特定建設工事共同企業体	30,901,500
28	新丸子東三丁目地区人道地下通路内装建築工事	建築	28,634,760	28,600,000	武蔵小杉駅設置南武線工区建設共同企業体	30,030,000
29	川崎縦貫道路関連施設整備川縦共同溝配水管布設その20工事	水道施設	25,800,000	25,700,000	竹中土木・青木あすなろ（高負）K J 1 2 4（2-2）K J 1 2 5（1-1-1）トンネル・共同溝	26,985,000
30	等々力陸上競技場大型映像システム表示処理装置ほか改修工事	電気	25,715,250	25,600,000	三菱電機株式会社	26,880,000
31	仮称有馬・野川地区生涯学習拠点施設新築追加工事	建築	25,571,500	25,500,000	株式会社ハヤカワ	26,775,000
32	生田浄水場特高受変電設備修理工事	電気	22,590,000	22,500,000	株式会社ティエスジー	23,625,000
33	南部リサイクルセンターペットボトル減容機その他補修工事	清掃施設	22,883,850	22,400,000	J F E 環境ソリューションズ株式会社	23,520,000
34	玉禅寺処理センター1号炉耐火物補修工事	清掃施設	19,945,530	19,500,000	三菱重工環境エンジニアリング株式会社	20,475,000
35	入江崎総合スラッジセンター調整槽攪拌機整備その他工事	機械	19,641,600	18,700,000	フリクト日本株式会社	19,635,000
36	古市場住宅新築第2号躯体内電気配管工事	電気	19,324,067	18,550,000	株式会社沖電設	19,477,500
37	加瀬クリーンセンター1系コンパクトラムその他補修工事	清掃施設	18,787,044	18,500,000	三菱重工環境エンジニアリング株式会社	19,425,000
38	渋川ポンプ場監視制御装置設置工事	電気	14,038,200	14,000,000	株式会社東芝	14,700,000
39	生田浄水場高区ポンプ所電気設備修理工事	電気	13,660,000	13,500,000	株式会社ティエスジー	14,175,000
40	田島中学校耐震補強その他追加工事	建築	13,077,900	13,000,000	株式会社銚子塚建設	13,650,000
41	Y T T ビル更生相談所改修工事	建築	12,427,550	11,960,000	株式会社 J B F	12,558,000
42	浮島処理センター1号炉燃焼段天井耐火物補修工事	清掃施設	11,689,920	11,300,000	J F E 環境ソリューションズ株式会社	11,865,000
43	給水管維持等路面復旧その2工事（単価契約）	水道施設	17,366,351	16,950,000	藤和・日東共同企業体	11,365,386
44	野川600mm伸縮管補強工事	水道施設	11,000,000	10,000,000	日本ヴィクトリック株式会社	10,636,500
45	緊急修理等路面復旧その2工事（単価契約）	水道施設	17,103,860	17,150,000	織戸・河合共同企業体	10,067,955
46	本庁舎暖房用ボイラ補修工事	空調・衛生	9,692,100	9,500,000	株式会社前田鉄工所	9,975,000
47	等々力陸上競技場バックスタンドテント補修工事	建築	7,542,450	7,500,000	株式会社大山組	9,607,500
48	橘処理センター資源化処理施設回転式破碎機ライナその他補修工事	清掃施設	8,153,640	8,000,000	J F E 環境ソリューションズ株式会社	8,400,000
49	等々力水処理センターNo.4 酸素製造装置整備その他工事	機械	7,770,950	7,700,000	昭和環境システム株式会社	8,085,000
50	ミュージアム川崎デッキ放送設備設置工事	通信	8,183,340	7,560,000	株式会社きんでん	7,938,000
51	橘処理センター資源化処理施設剪断破碎機一次刃シリンダ補修工事	清掃施設	7,290,360	7,200,000	J F E 環境ソリューションズ株式会社	7,560,000

No.	件名	業種名	予定価格	契約金額	業者名	変更後 税込変更 契約金額
52	川縦整備川縦共同溝配水管布設その2 0工事に伴うアンカーフレーム製作及 び設置工事	水道 施設	6,830,000	6,800,000	竹中土木・青木あすなろ高負) K J 1 2 4 (2 - 2) K J 1 2 5 (1 - 1 - 1) トンネル・共 同溝特定建設工事	7,140,000
53	御幸小学校大規模改修電気その他設備 追加工事	電気	6,277,716	6,250,000	東邦・寿共同企業体	6,562,500
54	入江崎総合スラッジセンター取水ポン プ整備その他工事	機械	6,365,700	6,200,000	新明和アクアテクサービス 株式会社	6,510,000
55	川崎駅東口側東西自由通路エレベータ ー設置その他追加工事	建築	6,029,933	6,000,000	鹿島建設株式会社	6,300,000
56	高齢社会福祉総合センター冷温水発生 機補修工事	機械	6,386,490	5,650,000	株式会社日立ビルシステム	5,932,500
57	堤根処理センター主蒸気圧力調節計ほ か計装設備基幹設備改修工事	電気	4,583,700	4,500,000	横河フィールドエンジニアリン グサービス株式会社	4,725,000
58	岡本太郎美術館冷凍機補修工事	空調・ 衛生	4,568,850	4,170,000	株式会社マエカワ	4,378,500
59	工業用水道日油榊川崎工場他3箇所電 磁流量計修理工事	電気	4,080,000	4,000,000	協同電気株式会社	4,200,000
60	緊急修理等路面復旧その1工事(単価契 約)	水道 施設	17,306,751	16,800,000	小沼・関トウ共同企業体	4,051,747
61	川崎港海底トンネル火災報知設備工事	消防	3,869,555	3,850,000	能美防災株式会社	4,042,500
62	工業用水道東亜石油榊水江工場No.1 No. 2 電磁流量計修理工事	電気	3,660,000	3,600,000	昱株式会社	3,780,000
63	潮見台浄水場非常用自家発電設備排気 消音器修理工事	電気	4,930,000	4,500,000	株式会社カワサキマシンシステ ムズ	3,654,000
64	橋処理センター資源化処理施設No.2 鉄類コンベヤ補修工事	清掃 施設	3,050,190	3,000,000	J F E 環境ソリューションズ 株式会社	3,150,000
65	王禅寺余熱利用市民施設ガス配管切替 工事	空調・ 衛生	3,000,000	3,000,000	東京瓦斯株式会社	3,150,000
66	鷺沼配水所土橋送水ポンプ1号電動機 二次側機構部修理工事	電気	1,830,000	1,800,000	株式会社ティエスジー	1,890,000
67	工業用水道日鉦金属榊電磁流量計修理 工事	電気	1,550,000	1,500,000	株式会社ティエスジー	1,575,000
68	工水1号送水管950mm仕切弁修理工 事	機械	1,240,000	1,100,000	株式会社前澤エンジニアリング サービス	1,155,000
69	緊急修理等路面復旧その3工事(単価契 約)	水道 施設	17,284,750	17,080,000	黒川・追川共同企業体	815,584

別表2 2008年度川崎市建設業協会受注業者ランキング 単位:百万円

ランク	業者名	所在地	会員・ 非会員	件数	契約 金額
2	株式会社小沼工務店	市内	会員	17	1,501
3	株式会社大藤建設	市内	会員	12	1,429
4	株式会社大山組	市内	会員	8	1,416
8	株式会社重田組	市内	会員	8	1,062
10	株式会社織戸組	市内	会員	12	1,024
12	株式会社北島工務店	市内	会員	1	895
14	幸伸工業株式会社	市内	会員	11	842
15	藤木工業株式会社	市内	会員	4	730
16	株式会社喜美代建設	市内	会員	3	664
17	トモエコーポレーション	市内	会員	25	639
18	大恵建設株式会社	市内	会員	5	633
20	野州工業株式会社	市内	会員	1	626
22	株式会社横山工務店	市内	会員	6	612
25	株式会社銚子塚建設	市内	会員	5	531
27	藤原建設株式会社	市内	会員	6	509
29	株式会社吉孝土建	市内	会員	5	494
31	露木建設株式会社	市内	会員	1	488
32	岡村建興株式会社	市内	会員	5	480
34	重田造園土木株式会社	市内	会員	11	454
36	株式会社澤田組	市内	会員	6	443
40	株式会社ハヤカワ	市内	会員	3	378
42	株式会社ヤマチョウ	市内	会員	5	371
43	株式会社渡辺土木	市内	会員	5	361
47	河合土木株式会社	市内	会員	5	338
48	河崎組建設業株式会社	市内	会員	7	337
49	藤和建興株式会社	市内	会員	9	327
50	大道産業株式会社	市内	会員	12	316
53	浅川建設工業株式会社	市内	会員	7	307
54	株式会社丸栄建設	市内	会員	7	305
55	株式会社興建	市内	会員	4	298
56	株式会社石塚土木	市内	会員	9	295
58	小田土木株式会社	市内	会員	5	274
71	千代田建設工業株式会社	市内	会員	3	221
72	株式会社八木工務店	市内	会員	2	220
73	大栄建設株式会社	市内	会員	4	215
74	宮田土建工業株式会社	市内	会員	4	211
75	株式会社村松工務店	市内	会員	1	209
76	山澄建設株式会社	市内	会員	1	209
78	ヤナギ建工株式会社	市内	会員	9	193
83	株式会社飯尾工業	市内	会員	4	180
87	株式会社堀一組	市内	会員	4	174
90	追川建設株式会社	市内	会員	6	171
95	清生土木有限会社	市内	会員	6	162
98	株式会社鈴重建設	市内	会員	6	157
101	株式会社三秀	市内	会員	8	154
105	株式会社P B S	市内	会員	4	147
106	神明建設株式会社	市内	会員	4	146
113	東聖建設株式会社	市内	会員	6	132
114	正宗産業株式会社	市内	会員	2	129
124	株式会社邦松工務店	市内	会員	3	116
125	株式会社美栄工業	市内	会員	7	114
126	月野建設株式会社	市内	会員	2	112
129	株式会社黒川土木	市内	会員	6	108
130	東生建設株式会社	市内	会員	3	107

ランク	業者名	所在地	会員・ 非会員	件数	契約 金額
133	株式会社浅野建設	市内	会員	4	104
134	長栄興業株式会社	市内	会員	6	103
153	株式会社深瀬工務店	市内	会員	4	80
154	大川原建設株式会社	市内	会員	1	80
162	黒川工業株式会社	市内	会員	2	72
166	株式会社佐藤工務店	市内	会員	3	68
173	大都建設株式会社	市内	会員	2	64
176	利建設株式会社	市内	会員	1	61
177	株式会社田辺工務店	市内	会員	10	60
179	森田建材株式会社	市内	会員	2	58
189	矢島建設工業株式会社	市内	会員	3	51
191	有限会社工藤組	市内	会員	9	50
192	河島建設有限公司	市内	会員	6	49
196	株式会社吉忠工務所	市内	会員	1	47
197	株式会社トビキク	市内	会員	6	46
202	株式会社星野和建設	市内	会員	1	42
203	高橋建設興業株式会社	市内	会員	1	41
214	高岸建設工業株式会社	市内	会員	3	39
221	第一工営株式会社	市内	会員	4	37
227	株式会社河原工務店	市内	会員	7	35
234	加図建設株式会社	市内	会員	2	32
241	シンヨー株式会社	市内	会員	2	30
243	丸和建设株式会社	市内	会員	3	30
252	秀建工業株式会社	市内	会員	4	28
254	深谷建設株式会社	市内	会員	2	27
287	株式会社大隅興業	市内	会員	3	21
305	株式会社笹久保建設	市内	会員	1	16
314	ケイ・アイ株式会社	市内	会員	1	16
332	古谷建設工業株式会社	市内	会員	1	12
346	有限会社濃沼工業	市内	会員	2	11
359	株式会社藤島工務店	市内	会員	1	9
364	野村建設株式会社	市内	会員	1	9
365	株式会社伸栄工事	市内	会員	1	9
380	松元工事株式会社	市内	会員	1	8
445	関トウ株式会社	市内	会員	1	2

別表3 2008年度 非会員市内受注業者ランキング 単位:百万円

ランク	業者名	所在地	会員・ 非会員	件数	契約 金額
44	加藤土建株式会社	市内	非会員	4	346
45	京浜メンテナンス株式会社	市内	非会員	4	345
52	株式会社千年水道工業所	市内	非会員	3	311
57	株式会社原電光社	市内	非会員	1	280
61	佐田建設株式会社	市内	非会員	2	264
67	株式会社丸井電設	市内	非会員	1	237
82	株式会社三興水道商会	市内	非会員	1	184
84	株式会社稲田水道工務店	市内	非会員	2	177
85	株式会社富士設備	市内	非会員	3	175
86	株式会社研空社	市内	非会員	2	174
91	明和工業株式会社	市内	非会員	2	171
92	有限会社丸善興業	市内	非会員	3	171
93	川崎工苑建設株式会社	市内	非会員	7	167
94	株式会社マミヤ	市内	非会員	2	166
96	株式会社ロードカワサキ	市内	非会員	19	160
97	熱研プラント工業株式会社	市内	非会員	2	159
99	熊谷建設株式会社	市内	非会員	1	156
100	麻生建設株式会社	市内	非会員	3	155
102	有限会社山崎設備工業	市内	非会員	2	153
107	株式会社由貴工務店	市内	非会員	7	146
108	株式会社玉川設備	市内	非会員	1	142
109	J F E ジーエス株式会社	市内	非会員	6	141
110	株式会社富士電気商会	市内	非会員	1	138
111	株式会社吉浜工業所	市内	非会員	2	136
112	東都熱工業株式会社	市内	非会員	1	135
115	株式会社確井設備	市内	非会員	1	123
116	井野建設株式会社	市内	非会員	7	123
117	トヨオカ電気株式会社	市内	非会員	1	122
120	大同産業株式会社	市内	非会員	1	120
121	株式会社大師鉄工所	市内	非会員	7	119
123	テルヤ電工株式会社	市内	非会員	1	118
127	株式会社大和園	市内	非会員	2	110
128	株式会社小滝建設工業	市内	非会員	4	110
131	株式会社光正工務店	市内	非会員	3	107
132	株式会社ミカセ	市内	非会員	1	105
135	川崎緑土株式会社	市内	非会員	9	100
139	日東工業株式会社	市内	非会員	3	97
141	昌栄電設株式会社	市内	非会員	3	96
142	都市造園建設株式会社	市内	非会員	3	92
143	篠原電機工業株式会社	市内	非会員	1	91
144	鹿島環境設備株式会社	市内	非会員	1	88
148	東伸建設株式会社	市内	非会員	2	83
149	若井工業株式会社	市内	非会員	2	82
152	千代田電気株式会社	市内	非会員	3	81
155	有限会社横浜ベイサイドサービス	市内	非会員	6	79
156	株式会社エンドーエンジニアリング	市内	非会員	7	78
159	株式会社東洋社	市内	非会員	2	76
160	須藤工業株式会社	市内	非会員	3	75
161	株式会社京浜ライン	市内	非会員	14	73
163	三田調温工業株式会社	市内	非会員	2	70
164	信号器材株式会社	市内	非会員	9	69
165	南武造園建設株式会社	市内	非会員	2	69
167	有限会社柳商店	市内	非会員	6	66
168	寺尾サッシ工業株式会社	市内	非会員	2	65
169	株式会社寿電興	市内	非会員	2	65

ランク	業者名	所在地	会員・ 非会員	件数	契約 金額
170	コジマペイント株式会社	市内	非会員	3	65
171	株式会社イマムラ	市内	非会員	3	64
172	八巧機電設備株式会社	市内	非会員	2	64
174	株式会社村田塗装工業所	市内	非会員	3	63
175	甲信電気株式会社	市内	非会員	5	61
178	京急電機株式会社	市内	非会員	2	59
181	真成開発株式会社	市内	非会員	1	58
182	株式会社タイトー	市内	非会員	2	58
183	光和電機株式会社	市内	非会員	2	55
185	横堀電機工業株式会社	市内	非会員	3	52
187	道路交通株式会社	市内	非会員	11	51
188	柴崎工業株式会社	市内	非会員	2	51
190	新電工株式会社	市内	非会員	2	50
193	末広電業株式会社	市内	非会員	1	49
194	富士工業株式会社	市内	非会員	2	48
195	北條建設株式会社	市内	非会員	7	47
198	株式会社シンヤ	市内	非会員	1	46
200	有限会社大川原工務店	市内	非会員	1	42
206	株式会社村瀬造園	市内	非会員	4	41
207	株式会社シンケン	市内	非会員	3	41
208	有限会社中神	市内	非会員	7	41
209	株式会社ミヤ設備	市内	非会員	9	40
211	本田工業株式会社	市内	非会員	4	40
212	大和塗装株式会社	市内	非会員	1	39
213	株式会社神野	市内	非会員	1	39
215	横山設備工業株式会社	市内	非会員	1	39
217	有限会社イースト・コーポレーション	市内	非会員	2	38
219	株式会社ロードテック	市内	非会員	10	37
220	有限会社ひかり建設	市内	非会員	2	37
222	株式会社今村建設	市内	非会員	7	36
223	京浜管理株式会社	市内	非会員	2	36
224	交安株式会社	市内	非会員	11	36
226	コトブキテックレックス株式会社	市内	非会員	1	36
228	上田工務店株式会社	市内	非会員	2	34
229	ヨコタ塗装株式会社	市内	非会員	1	34
230	上田動力工業株式会社	市内	非会員	6	33
232	川又電機工事株式会社	市内	非会員	3	32
233	日出磨電工株式会社	市内	非会員	3	32
236	株式会社佐野建設	市内	非会員	4	31
237	薩摩舗道工業株式会社	市内	非会員	4	31
238	株式会社スズコウ	市内	非会員	2	31
239	国際電工株式会社	市内	非会員	2	30
240	株式会社川崎空調サービス	市内	非会員	2	30
242	株式会社モトヨシ	市内	非会員	2	30
244	島田電設工業株式会社	市内	非会員	1	29
245	株式会社小野崎電業	市内	非会員	2	29
246	有限会社建塗工業	市内	非会員	1	29
247	株式会社丸一設備	市内	非会員	2	29
248	株式会社告工務店	市内	非会員	1	29
249	高津建材興業株式会社	市内	非会員	6	29
250	株式会社尾作住宅	市内	非会員	3	29
251	米澤建設株式会社	市内	非会員	5	29
255	株式会社鷹姫	市内	非会員	2	27
256	有限会社川善工業	市内	非会員	3	27
258	保安産業株式会社	市内	非会員	12	26
259	小泉土木建設	市内	非会員	5	26

ランク	業者名	所在地	会員・ 非会員	件数	契約 金額
260	三和緑化株式会社	市内	非会員	1	26
261	有限会社一興業	市内	非会員	1	26
262	アイ通信工事株式会社	市内	非会員	3	26
263	新鋼工業株式会社	市内	非会員	1	26
265	有限会社菅沼塗装店	市内	非会員	1	25
266	菅生建設株式会社	市内	非会員	1	25
267	三嶋塗装株式会社	市内	非会員	1	25
268	株式会社カワシマ	市内	非会員	3	25
269	株式会社沖電設	市内	非会員	2	25
270	工都電業株式会社	市内	非会員	3	24
272	有限会社伸隆技建	市内	非会員	3	24
273	株式会社山形電設	市内	非会員	1	24
274	株式会社電工舎	市内	非会員	1	24
275	有限会社タナカ塗装工業	市内	非会員	2	23
276	株式会社中商	市内	非会員	1	23
277	鳥本塗工株式会社	市内	非会員	1	23
278	株式会社三宝緑地	市内	非会員	2	23
279	有限会社マルカワ	市内	非会員	5	22
280	有限会社吉浜設備	市内	非会員	1	22
283	有限会社榎本鉄工	市内	非会員	4	21
284	有限会社菱沼工業所	市内	非会員	1	21
285	御幸建設工業株式会社	市内	非会員	4	21
288	松崎鐵工株式会社	市内	非会員	2	20
289	有限会社山善工務店	市内	非会員	1	20
291	株式会社山室電機	市内	非会員	2	20
293	川崎建鉄株式会社	市内	非会員	1	19
295	ミツハマ防災設備株式会社	市内	非会員	1	19
296	荻原住宅設備機器株式会社	市内	非会員	3	19
298	須藤開発興業株式会社	市内	非会員	3	19
300	株式会社井上植木	市内	非会員	1	18
301	大三建設企画株式会社	市内	非会員	2	18
302	株式会社飯塚工務店	市内	非会員	3	17
303	株式会社笠倉工業	市内	非会員	2	17
304	共成電気株式会社	市内	非会員	1	17
306	大司建設有限会社	市内	非会員	2	16
307	株式会社山口塗装	市内	非会員	2	16
308	玉井設備工業株式会社	市内	非会員	2	16
309	鈴木緑化建設株式会社	市内	非会員	1	16
310	株式会社オリト	市内	非会員	3	16
312	株式会社日政	市内	非会員	2	16
313	有限会社梶井水道工業所	市内	非会員	3	16
315	有限会社小島建設工業所	市内	非会員	2	15
317	有限会社城南防災電気工業	市内	非会員	1	15
320	株式会社坂下電業社	市内	非会員	2	14
321	有限会社荒川電気工事	市内	非会員	2	14
322	有限会社落合水道工務店	市内	非会員	1	14
323	有限会社深谷電気工事	市内	非会員	5	14
324	有限会社山佐塗装店	市内	非会員	1	14
325	株式会社一本松工業	市内	非会員	1	13
326	株式会社南信社	市内	非会員	2	13
327	株式会社イスズ	市内	非会員	2	13
330	株式会社テクノアート・インヤマ	市内	非会員	1	13
334	株式会社岡電機	市内	非会員	1	12
335	宮川電機株式会社	市内	非会員	1	12
337	日栄塗装工業株式会社	市内	非会員	1	12
338	株式会社柴田土木	市内	非会員	3	11

ランク	業者名	所在地	会員・ 非会員	件数	契約 金額
339	株式会社S & S エンジニアリング	市内	非会員	1	11
340	和光建設株式会社	市内	非会員	2	11
341	弘電業株式会社	市内	非会員	2	11
342	河野電気工事株式会社	市内	非会員	3	11
343	有限会社日東商会	市内	非会員	1	11
344	福吉塗装株式会社	市内	非会員	1	11
345	協成電気株式会社	市内	非会員	1	11
347	富双電気株式会社	市内	非会員	1	11
349	株式会社岡田電設	市内	非会員	1	10
350	住吉電機株式会社	市内	非会員	1	10
352	三装工業株式会社	市内	非会員	1	10
353	三協電機株式会社	市内	非会員	1	10
354	株式会社横山造園	市内	非会員	1	10
355	株式会社赤塚建設	市内	非会員	2	10
356	有限会社丹野電気商会	市内	非会員	1	10
357	株式会社明和住建	市内	非会員	1	10
358	有限会社川田産業	市内	非会員	2	10
360	有限会社原島工業所	市内	非会員	1	9
361	株式会社春日建設	市内	非会員	1	9
363	株式会社ユニ機工	市内	非会員	1	9
366	協立建設工業株式会社	市内	非会員	1	9
367	有限会社タカモト塗装店	市内	非会員	1	9
368	株式会社中山防災	市内	非会員	2	9
369	有限会社阿部電気商会	市内	非会員	1	9
370	日機テクノス株式会社	市内	非会員	2	9
371	株式会社神奈川クリーン	市内	非会員	1	9
373	株式会社みつや園	市内	非会員	1	8
374	有限会社安藤雄建設	市内	非会員	3	8
375	有限会社井上塗装	市内	非会員	1	8
377	株式会社手塚組	市内	非会員	1	8
381	田島電業株式会社	市内	非会員	1	8
382	木下土木株式会社	市内	非会員	1	8
383	株式会社大島電機商会	市内	非会員	1	7
387	猿渡冷暖房株式会社	市内	非会員	1	7
388	大塚建設株式会社	市内	非会員	2	7
389	愛知電業株式会社	市内	非会員	1	7
392	福山産業株式会社	市内	非会員	1	7
393	株式会社金盛園	市内	非会員	1	6
394	有限会社さくら建設	市内	非会員	1	6
396	有限会社堀一設備	市内	非会員	2	6
398	有限会社志村電設工業	市内	非会員	2	6
400	有限会社石井電気商会	市内	非会員	2	5
401	株式会社加瀬建設	市内	非会員	1	5
403	株式会社佐藤電機	市内	非会員	1	5
405	旭ポリマー株式会社	市内	非会員	1	5
408	有限会社島屋商店	市内	非会員	1	5
409	立川興産株式会社	市内	非会員	1	5
410	株式会社栗田屋	市内	非会員	1	5
411	榎本工務店	市内	非会員	1	5
414	長谷川燃料店	市内	非会員	1	4
415	有限会社阿部燃料店	市内	非会員	1	4
416	株式会社山崎茂商店	市内	非会員	1	4
418	株式会社昭栄電工社	市内	非会員	1	4
419	株式会社平井工装	市内	非会員	1	4
420	株式会社川西海事	市内	非会員	1	4
421	早川プロパン株式会社	市内	非会員	1	4

ランク	業者名	所在地	会員・ 非会員	件数	契約 金額
422	東邦電業株式会社	市内	非会員	1	4
423	株式会社田中泰治商店	市内	非会員	1	4
424	中村商店	市内	非会員	1	4
427	株式会社浦野工務店	市内	非会員	1	4
428	株式会社日伸	市内	非会員	1	4
429	大門建設株式会社	市内	非会員	1	3
431	有限会社三輪電工	市内	非会員	1	3
432	株式会社今井造園	市内	非会員	1	3
433	株式会社相光園	市内	非会員	1	3
435	株式会社石井塗装	市内	非会員	1	3
438	松村塗装工業株式会社	市内	非会員	1	3
439	株式会社濃沼植木	市内	非会員	1	2
440	有限会社幸ロードライン	市内	非会員	2	2
441	株式会社ジェー・エヌ・エス	市内	非会員	1	2
442	有限会社阿部設備	市内	非会員	1	2
443	株式会社高橋電気工事	市内	非会員	1	2
444	有限会社安達工務店	市内	非会員	1	2
448	株式会社浅谷興業	市内	非会員	1	1
449	有限会社小林電設工業社	市内	非会員	1	1
450	有限会社森商店	市内	非会員	1	1

別表4 2008年度 市外受注業者ランキング 単位:百万円

ランク	業者名	所在地	会員・ 非会員	件数	契約 金額
1	J F E環境ソリューションズ株式会社	市外	非会員	10	5,892
6	荏原環境プラント株式会社	市外	非会員	3	1,159
26	三菱重工環境エンジニアリング株式会社	市外	非会員	5	519
28	株式会社デック	市外	非会員	4	498
30	メタウォーター株式会社	市外	非会員	4	492
33	扶桑建設工業株式会社	市外	非会員	2	466
37	株式会社正興電機製作所	市外	非会員	3	442
38	株式会社荏原由倉ハイドロテック	市外	非会員	2	410
51	富士ホイスト工業株式会社	市外	非会員	1	315
59	川崎重工工業株式会社	市外	非会員	1	273
60	株式会社ノバック	市外	非会員	1	265
62	J F Eテクノス株式会社	市外	非会員	1	258
69	株式会社大原鉄工所	市外	非会員	1	227
77	大和リース株式会社	市外	非会員	3	198
79	東芝プラントシステム株式会社	市外	非会員	2	193
80	株式会社西島製作所	市外	非会員	1	190
89	クボタ機工株式会社	市外	非会員	1	173
104	昱株式会社	市外	非会員	3	148
118	日立プラントテクノ株式会社	市外	非会員	1	120
119	コスモ工機株式会社	市外	非会員	1	120
137	中央エレベーター工業株式会社	市外	非会員	3	99
146	月島テクノメンテサービス株式会社	市外	非会員	5	84
150	東海リース株式会社	市外	非会員	3	81
151	日成ビルド工業株式会社	市外	非会員	4	81
157	株式会社オービス	市外	非会員	3	78
158	コマツハウス株式会社	市外	非会員	2	76
180	株式会社荏原製作所	市外	非会員	1	58
205	株式会社ティエスジー	市外	非会員	4	41
210	株式会社前澤エンジニアリングサービス	市外	非会員	2	40
216	月島機械株式会社	市外	非会員	1	38
225	株式会社I H I回転機械	市外	非会員	1	36
231	株式会社ディベロップ	市外	非会員	1	33
235	日本ギア工業株式会社	市外	非会員	1	32
257	三菱電機株式会社	市外	非会員	1	27
264	荏原エンジニアリングサービス株式会社	市外	非会員	2	26
271	株式会社ハタノシステム	市外	非会員	1	24
281	株式会社クリモトテクノス	市外	非会員	1	22
290	フリクト日本株式会社	市外	非会員	1	20
292	日立造船鉄構株式会社	市外	非会員	1	20
297	協同プラント工事株式会社	市外	非会員	2	19
311	富士建設工業株式会社	市外	非会員	1	16
318	株式会社第一テクノ	市外	非会員	1	15
328	高砂炉材工業株式会社	市外	非会員	1	13
329	株式会社J B F	市外	非会員	1	13
331	東芝電機サービス株式会社	市外	非会員	1	13
333	勝村建設株式会社	市外	非会員	1	12
348	日本ヴィクトリック株式会社	市外	非会員	1	11
351	株式会社前田鉄工所	市外	非会員	1	10
362	株式会社ケアコム	市外	非会員	1	9
372	日立プラント建設サービス株式会社	市外	非会員	2	8

ランク	業者名	所在地	会員・ 非会員	件数	契約 金額
378	株式会社きんでん	市外	非会員	1	8
379	ユニオン建設株式会社	市外	非会員	1	8
384	森平舞台機構株式会社	市外	非会員	1	7
385	大出産業株式会社	市外	非会員	1	7
386	新泉産業株式会社	市外	非会員	1	7
390	株式会社永光	市外	非会員	2	7
391	新明和アクアテクサービス株式会社	市外	非会員	1	7
395	荏原冷熱システム株式会社	市外	非会員	1	6
399	株式会社東京舞台照明	市外	非会員	1	6
404	ロードアート株式会社	市外	非会員	2	5
412	株式会社水機テクノス	市外	非会員	2	4
413	株式会社マエカワ	市外	非会員	1	4
425	新和企業株式会社	市外	非会員	1	4
426	株式会社カワサキマシンシステムズ	市外	非会員	1	4
434	横浜日電工業株式会社	市外	非会員	1	3
437	シンク・エンジニアリング株式会社	市外	非会員	1	3
446	横浜ユアサ産業電池株式会社	市外	非会員	1	2
447	日本防蝕工業株式会社	市外	非会員	1	2

別表5 2008年度 準市内業者ランキング 単位:百万円

ランク	業者名	所在地	会員・ 非会員	件数	契約金額
5	鹿島建設株式会社	準市内	非会員	6	1,350
7	東洋建設株式会社	準市内	非会員	2	1,123
9	東亜建設工業株式会社	準市内	非会員	4	1,038
11	株式会社竹中土木	準市内	非会員	4	999
13	大成ロテック株式会社	準市内	非会員	6	880
19	五洋建設株式会社	準市内	非会員	3	628
21	飛島建設株式会社	準市内	非会員	1	618
23	株式会社東芝	準市内	非会員	6	582
24	アイサワ工業株式会社	準市内	非会員	1	576
35	前田建設工業株式会社	準市内	非会員	1	448
39	大林道路株式会社	準市内	非会員	2	403
41	若築建設株式会社	準市内	非会員	1	377
46	清水建設株式会社	準市内	非会員	1	340
63	東鉄工業株式会社	準市内	非会員	2	256
64	青木あすなる建設株式会社	準市内	非会員	5	256
65	株式会社不動テトラ	準市内	非会員	1	254
66	深田サルベージ建設株式会社	準市内	非会員	1	253
68	株式会社大本組	準市内	非会員	1	233
70	戸田建設株式会社	準市内	非会員	3	226
81	株式会社鴻池組	準市内	非会員	1	185
88	株式会社フジタ	準市内	非会員	1	173
103	坪井工業株式会社	準市内	非会員	1	151
122	荏原実業株式会社	準市内	非会員	7	118
136	鉄建建設株式会社	準市内	非会員	1	100
138	株式会社NIPPONコーポレーション	準市内	非会員	1	99
140	大和小田急建設株式会社	準市内	非会員	3	96
145	大成建設株式会社	準市内	非会員	1	87
147	みらい建設工業株式会社	準市内	非会員	2	83
184	東芝エレベータ株式会社	準市内	非会員	3	55
186	株式会社NIPPON	準市内	非会員	1	52
199	株式会社青木組	準市内	非会員	2	45
201	東京瓦斯株式会社	準市内	非会員	2	42
204	吉川海事興業株式会社	準市内	非会員	1	41
218	株式会社内藤ハウス	準市内	非会員	1	37
253	日本電気株式会社	準市内	非会員	1	28
286	協同電気株式会社	準市内	非会員	4	21
294	富士電機システムズ株式会社	準市内	非会員	1	19
299	西松建設株式会社	準市内	非会員	1	19
316	京浜港湾工事株式会社	準市内	非会員	1	15
319	松浦企業株式会社	準市内	非会員	1	15
376	昭和環境システム株式会社	準市内	非会員	1	8
397	株式会社日立ビルシステム	準市内	非会員	1	6
402	五栄土木株式会社	準市内	非会員	1	5
406	株式会社日立プラントテクノロジー	準市内	非会員	1	5
407	横河フィールドエンジニアリングサービス株式会社	準市内	非会員	1	5
417	能美防災株式会社	準市内	非会員	1	4
430	都築電気株式会社	準市内	非会員	1	3
436	エービーサービス株式会社	準市内	非会員	1	3

過去4年間の入札・発注データに基づく
川崎市発注公共工事分析報告書（2005年度～2008年度）

発行日：2010年3月31日

発行：特定非営利活動法人 建設政策研究所

連絡先：特定非営利活動法人 建設政策研究所

〒169-0074 東京都新宿区北新宿 1-8-16

けんせつプラザ東京 601号

TEL：03-5332-7820 FAX：03-5332-7821

E-mail：JDS04066@nifty.ne.jp

URL：<http://homepage2.nifty.com/kenseiken/index.html>